

道東自動車道 トマム I C 工事

設 計 図  
(橋 梁 工)  
久我の沢川橋  
下部工

令和 6 年 8 月

東日本高速道路株式会社  
北海道支社 帯広工事事務所

<図面目録>  
 (橋梁工)  
 久我の沢川橋(下り線)  
 下部工

図面番号	図面名称	縮尺	備考
1	数量表	—	
2～4	橋梁一般図(その1)～(その3)	図示	
5	下部工座標図	1:500	
6～7	A 1 橋台構造一般図(その1)～(その2)	図示	
8	P 1 橋脚構造一般図	図示	
9	P 2 橋脚構造一般図	図示	
10～11	A 2 橋台構造一般図(その1)～(その2)	図示	
12～23	A 1 橋台配筋図(その1)～(その12)	図示	
24	A 1 橋台場所打ち杭配筋図	図示	
25～30	P 1 橋脚配筋図(その1)～(その6)	図示	
31	P 1 橋脚場所打ち杭配筋図	図示	
32～37	P 2 橋脚配筋図(その1)～(その6)	図示	
38	P 2 橋脚場所打ち杭配筋図	図示	
39～51	A 2 橋台配筋図(その1)～(その13)	図示	
52	A 2 橋台場所打ち杭配筋図	図示	
53	A 1 橋台裏込め詳細図	図示	
54～55	A 2 橋台裏込め詳細図(その1)～(その2)	図示	
56～60	A 1 橋台土留め工計画図(その1)～(その5)	図示	
61～62	P 1 橋脚土留め工計画図(その1)～(その2)	図示	
63～65	P 2 橋脚土留め工計画図(その1)～(その3)	図示	
66～72	A 2 橋台土留め工計画図(その1)～(その7)	図示	
73	はく落防止対策工詳細図	1:250	

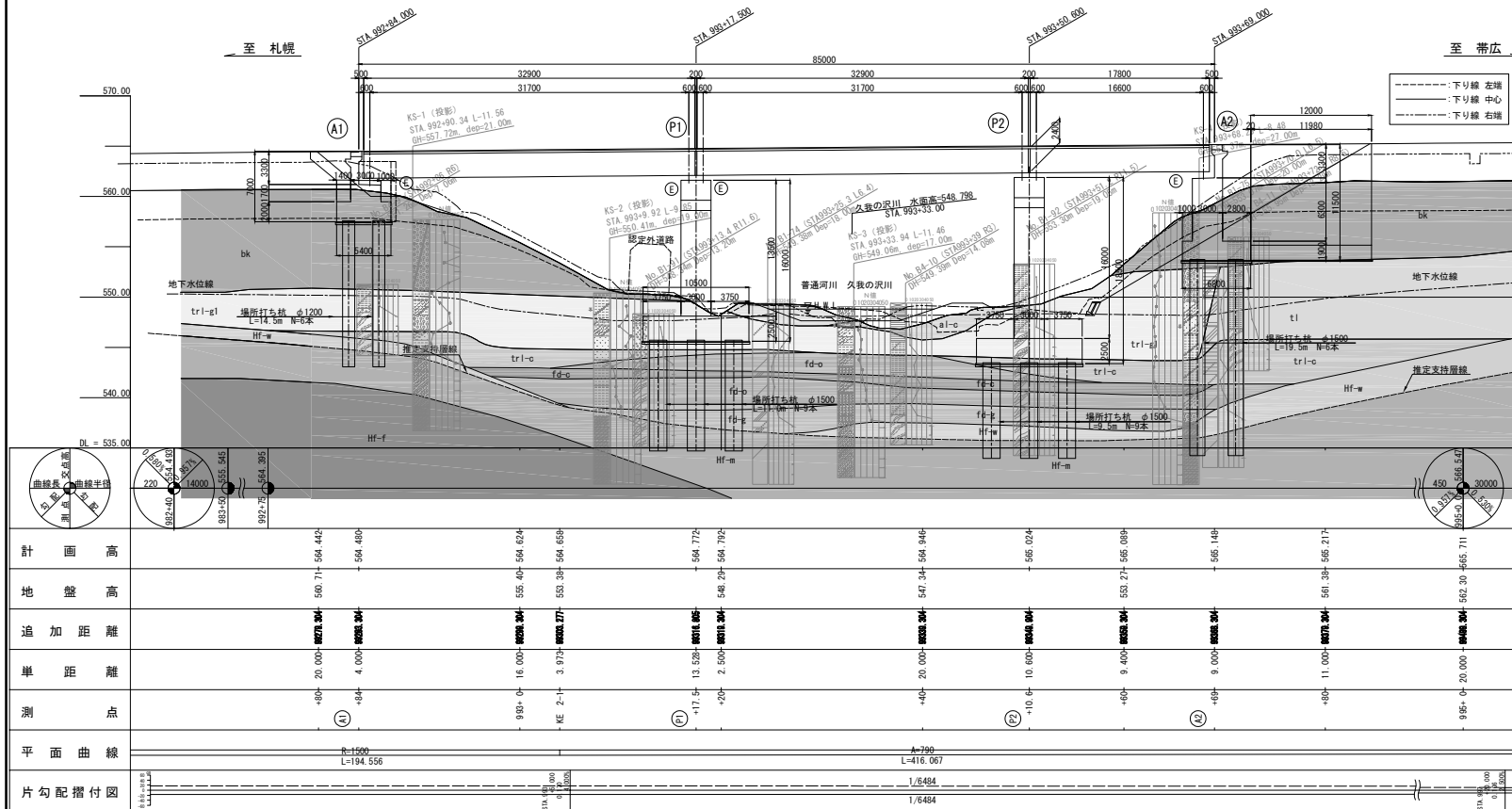
項目	種別	区分		単位	A1橋台	P1橋脚	P2橋脚	A2橋台	合計	摘 要
構造物掘削	特殊部	C2-1		m3	445.9	-	-	-	445.9	
		C2-2		m3	-	885.5	-	-	885.5	
		C2-3		m3	-	-	1076.0	-	1076.0	
		C2-4		m3	-	-	2060.2	-	2060.2	
客土掘削	土砂C	埋戻し		m3	144.9	561.4	726.8	1229.4	2662.5	
		裏込材A		m3	340.5	-	-	1006.2	1346.7	
		合計		m3	485.4	561.4	726.8	2235.6	4009.2	
基礎材	B1			m3	11.5	19.7	19.7	13.2	64.1	
	A1-3			m3	107.6	203.3	233.3	266.7	810.9	σ <sub>ok</sub> =30N/mm2
コンクリート	B2-1			m3	114.7	274.0	274.0	137.8	800.5	σ <sub>ok</sub> =24N/mm2
	D1-1			m3	5.9	9.9	9.9	6.8	32.5	σ <sub>ok</sub> =18N/mm2
型わく	C			m2	242.6	333.1	368.1	424.9	1368.7	
	D			m2	3.9	4.3	4.3	4.1	16.6	
鉄筋工	A	SD345	D13	t	0.201	-	-	0.219	0.420	
			D16～D25	t	4.186	7.189	9.990	8.609	29.974	
			D29～D32	t	4.730	5.701	-	5.773	16.204	
			D35	t	-	-	7.019	-	7.019	
			D38	t	-	8.417	8.417	-	16.834	
			D41	t	-	5.040	-	-	5.040	
			合計	t	9.117	26.347	25.426	14.601	75.491	
			D13	t	0.083	-	-	0.197	0.280	エポキシ樹脂塗装鉄筋
			D16	t	1.555	-	-	1.312	2.867	〃
			D19	t	0.739	-	-	2.130	2.869	〃
			D22	t	0.454	-	-	1.092	1.546	〃
			D25	t	-	-	-	4.323	4.323	〃
	A(E)	SD345	合計	t	2.831	-	-	9.054	11.885	〃
			D29～D32	t	-	6.161	1.915	-	8.076	機械継手
			D35	t	-	-	4.574	-	4.574	〃
			D38	t	-	5.385	5.389	-	10.774	〃
			合計	t	-	11.546	11.878	-	23.424	〃
			D29	箇所	-	-	30	-	30	
	B	SD345	D32	箇所	-	72	-	-	72	
			D35	箇所	-	-	42	-	42	
			D38	箇所	-	42	42	-	84	
			合計	箇所	-	114	114	-	228	
			D29	箇所	-	-	30	-	30	
			D32	箇所	-	72	-	-	72	
			D35	箇所	-	-	42	-	42	
			D38	箇所	-	42	42	-	84	
			合計	箇所	-	114	114	-	228	
			D29	箇所	-	-	30	-	30	
	B(H)	SD490	D61	t	-	23.820	27.542	-	51.362	機械継手
			合計	t	-	23.820	27.542	-	51.362	
			D61	箇所	-	94	94	-	188	
			D16～D25	t	0.111	10.545	10.175	0.170	21.001	機械式定着
			D16	箇所	39	46	46	60	191	
			D19	箇所	-	612	1452	-	2064	
			D22	箇所	-	704	-	-	704	
			合計	箇所	39	1362	1498	60	2959	
			D16	t	0.353	-	-	0.321	0.674	エポキシ樹脂塗装鉄筋 機械式定着
			D19	t	0.216	-	-	0.765	0.981	〃
			合計	t	0.569	-	-	1.086	1.655	〃
	C(E)	SD345	D16	箇所	74	-	-	147	221	
			D19	箇所	108	-	-	110	218	
			合計	箇所	182	-	-	257	439	

項目	種別	区分		単位	A1橋台	P1橋脚	P2橋脚	A2橋台	合計	摘 要			
基礎杭	場所打ちコンクリート杭 (機械掘削、φ1,200)	杭長		m	87.0	-	-	-	87.0				
		本数		本	6	-	-	-	6				
		掘削長	N値<20		m	21.3	-	-	-	21.3			
			N値<50		m	68.2	-	-	-	68.2			
			軟岩		m	8.3	-	-	-	8.3			
			合計		m	97.8	-	-	-	97.8			
		掘削土量		m3	110.5	-	-	-	110.5				
		埋戻し		m	2.6	-	-	-	2.6				
		残土		m	107.9	-	-	-	107.9	本線流用			
		コンクリート		m3	98.4	-	-	-	98.4	σ <sub>ok</sub> =24N/mm2			
		Y1-1		m3	98.4	-	-	-	98.4				
		場所打ちコンクリート杭 (機械掘削、φ1,500)	杭長		m	-	99.0	85.5	117.0	301.5			
	本数		本	-	9	9	6	24					
	掘削長		N値<20		m	-	53.6	85.1	109.7	248.4			
			N値<50		m	-	39.0	21.6	-	60.6			
			軟岩		m	-	27.8	29.0	18.7	75.5			
			合計		m	-	120.4	135.7	128.4	384.5			
	掘削土量		m3	-	212.7	239.7	226.8	679.2					
	埋戻し		m	-	11.0	61.8	20.1	92.9					
	残土		m	-	201.7	177.9	206.7	586.3	本線流用				
	コンクリート		m3	-	174.6	151.2	207.0	532.8	σ <sub>ok</sub> =24N/mm2				
	Y1-1		m3	-	174.6	151.2	207.0	532.8					
	A		SD345	D16～D25		m	0.684	1.098	1.071	0.678	3.531		
				D13		t	0.078	0.171	0.171	0.114	0.534		
				D16～D25		m	5.370	5.157	4.500	8.304	23.331		
				D29～D32		m	12.306	-	-	11.640	23.946		
		D35		m	-	26.766	23.913	-	50.679				
SD345		合計		m	17.754	32.094	28.584	20.058	98.490				
		Y	1段目	1本当り質量		kg	11.7	15.8	15.8	15.9	-	L-6×50×50	
				箇所数		箇所	36	45	45	30	120		
				固定Uボルト	質量		kg	420.0	711.0	711.0	480.0	1902.0	
					D35用 個		個	-	1260	1260	-	2520	
2段目	補強リグ		D29用 個		個	924	-	-	756	840			
		1本当り質量		kg	-	-	-	16.0	-	L-6×50×50			
		箇所数		箇所	-	-	-	18	18				
		質量		kg	-	-	-	288.0	288.0				
	固定Uボルト	補強リグ 個数		D25用 個	個	-	-	-	252	270			

## 久我の沢川橋 橋梁一般図 (その1)

2 / 73

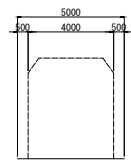
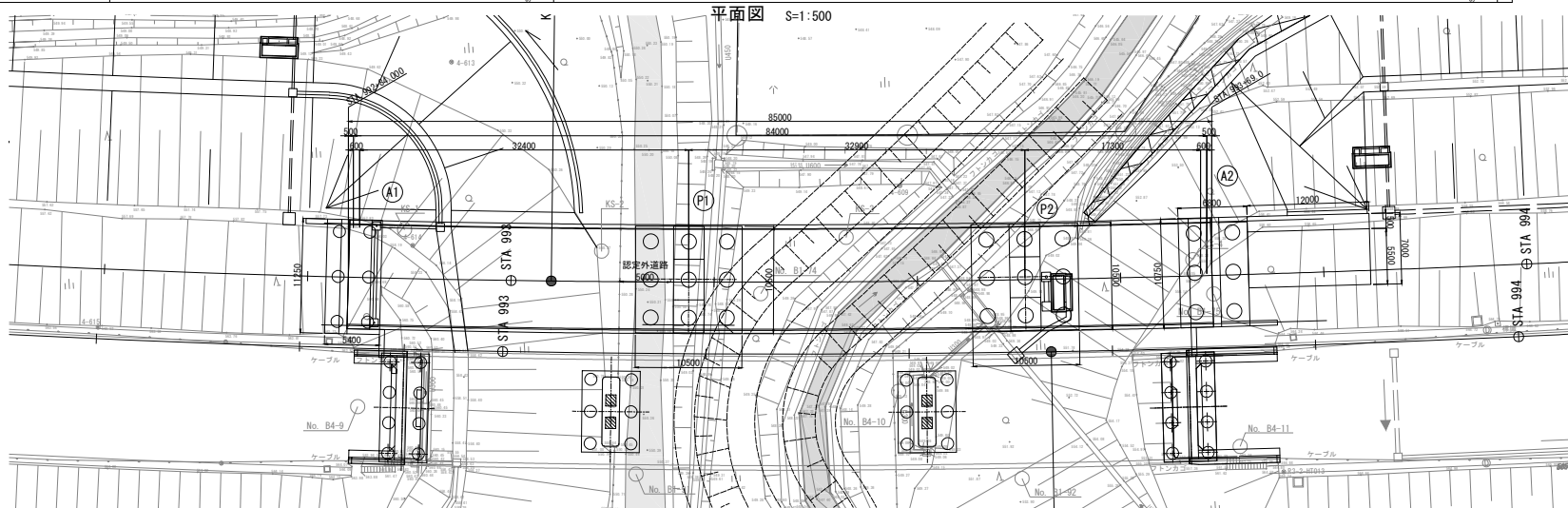
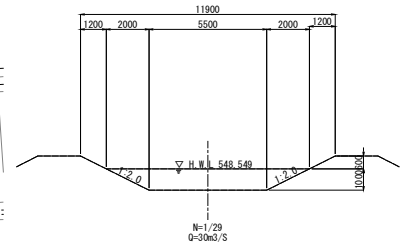
側面図 S=1:500



設 計 条 件			
橋 長	85.000 m	桁 長	2432.900 m + 17.800m
道路規格	第1種 2 級 B 規格 設計速度 V = 100 km/h		
活 荷 重	B 活 荷 重		
支 間 割	2831.700m+16.600m		
有効幅員	9.810 m		
斜 角	A1 90° 00' 00" A2 90° 00' 00"		
平面線形	R= 1500 m ~ A = 790 m		
横断勾配	4.000%~3.742%		
縦断勾配	0.957%		
設計水平度	Ⅱ種地盤 kh = Cz・kno = 0.85 × 0.25 = 0.21		
構造形式	上部構造 : PC 3径間連結成桁		
	下部構造 : 逆 T 式橋台 (A1, A2橋台), 柱式橋脚 (P1, P2橋脚)		
	基礎構造 : A1橋台 場所打ち杭φ1200 (N=6本), A2橋台 場所打ち杭φ1500 (N=6本)		
支 持 層	日高層群ホルンフェルス中風化部 (Hf-m)		
支保構造	免震支承 (免震構造)		
架設工法	架設桁架設工法		
材 料	上 部 工	コンクリート	σ <sub>ck</sub> = 50 N/mm <sup>2</sup> (主桁, PC板)
			σ <sub>ck</sub> = 36 N/mm <sup>2</sup> (橋桁)
		P C 鋼 材	σ <sub>ck</sub> = 30 N/mm <sup>2</sup> (床版, 壁高脚)
			SWFR78B 12S15.2 (縦締めケーブル) (E <sub>G</sub> 鋼材)
	下 部 工	鉄 筋	SWFR19L 12S28.6 (橋脚のケーブル) (〃 <sub>レ</sub> グ <sub>レ</sub> 鋼材)
			SD345 (普通鉄筋, エポキシ樹脂塗装鉄筋)
		コンクリート	σ <sub>ck</sub> = 30 N/mm <sup>2</sup> [躯体]
			σ <sub>ck</sub> = 24.30 N/mm <sup>2</sup> [底版]
	基 礎 工	鉄 筋	SD345, SD490 (普通鉄筋, エポキシ樹脂塗装鉄筋)
			SD345, SD490 (普通鉄筋, エポキシ樹脂塗装鉄筋)
適用示方書	道路橋示方書・同解説 (平成29年11月) 設計要領第二集 (平成28年8月)		

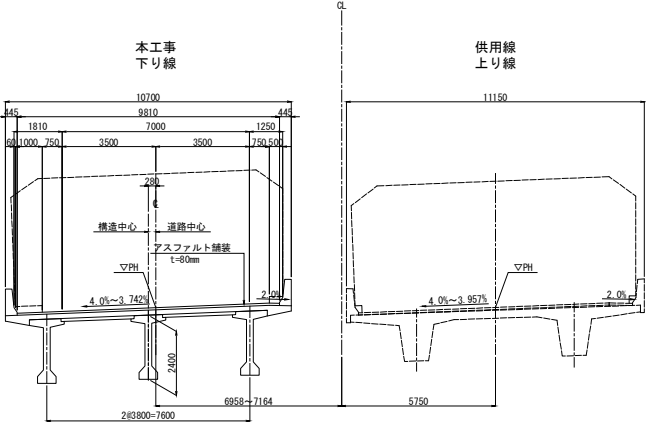
交差条件 S=1:250

側 道

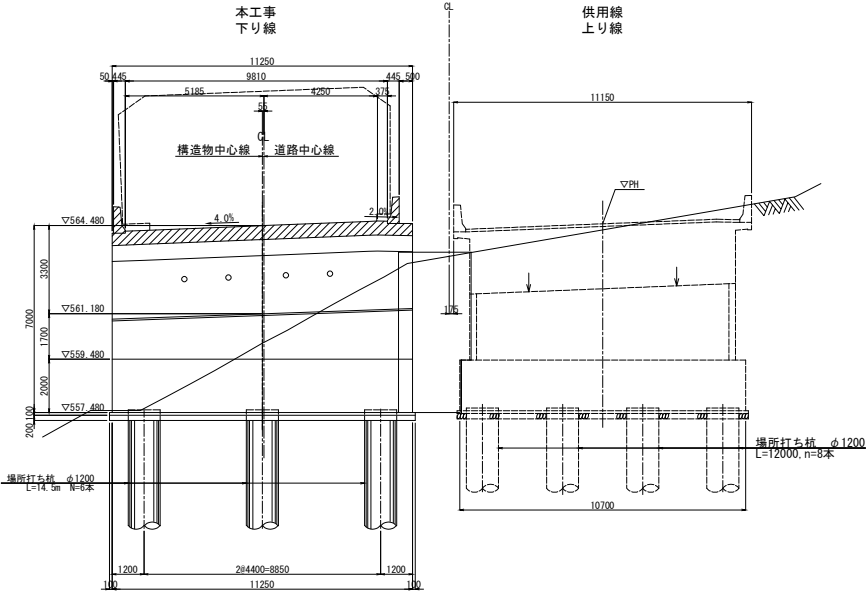
普通河川 久我の沢川  
(STA. 993+33.0)

道 東 自 動 車 道 ト マ ム イ C 工 事			
図面の種類	久我の沢川橋 (下り線)		
	橋梁一般図 (その1)		
縮 尺	図示	図面番号	2 / 73
設計会社名	株式会社 日本橋建設研究所		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 北海道支社		
事務所名	帯広工事事務所		

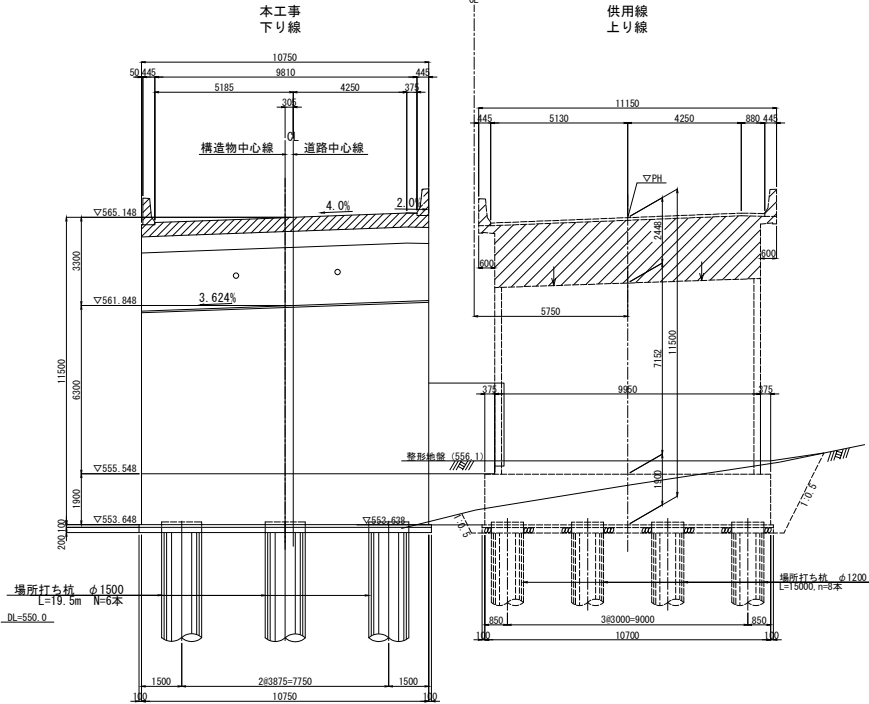
上部工標準断面図 S=1:200



下部工正面図 S=1:200  
A 1 橋台

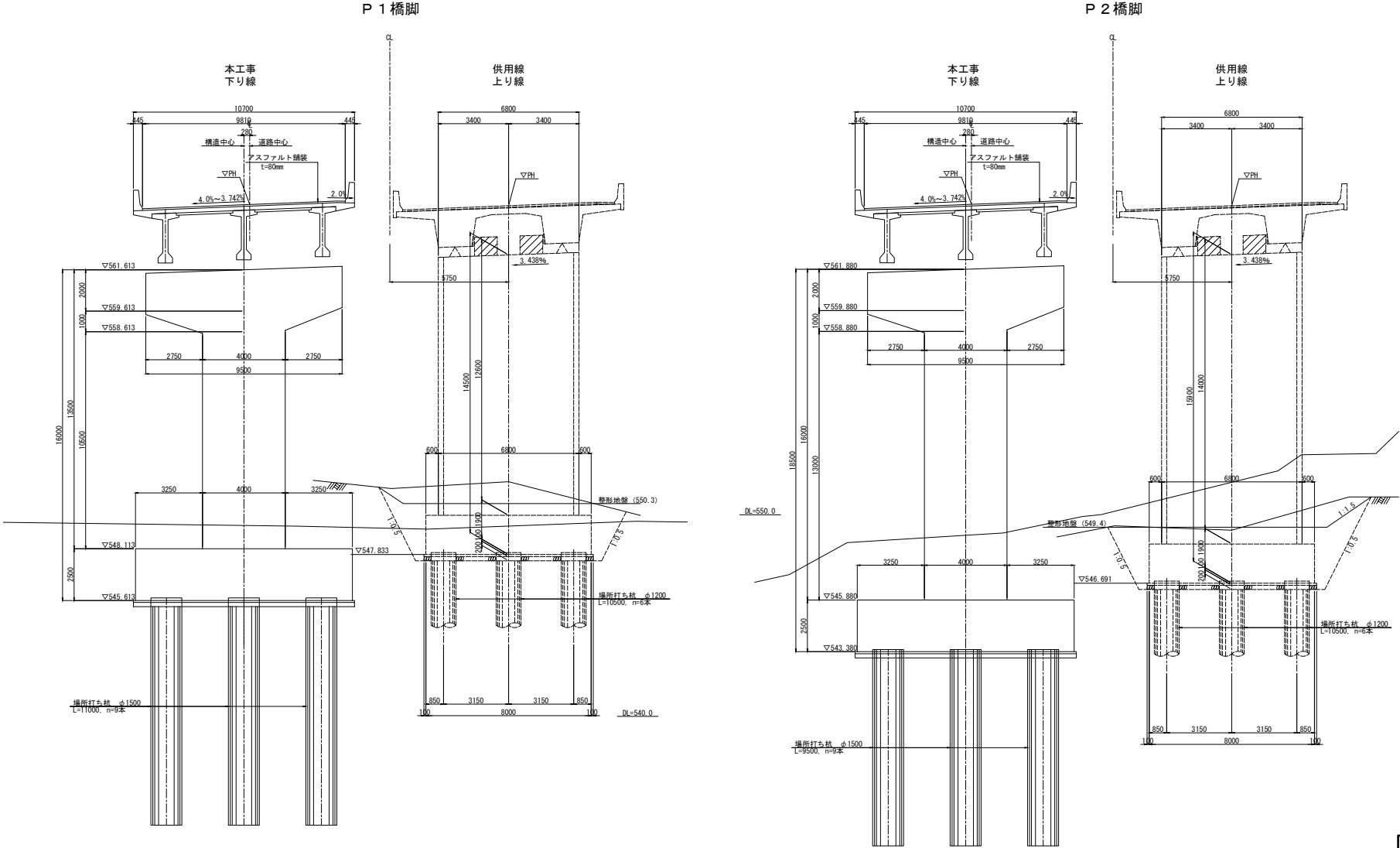


A 2 橋台



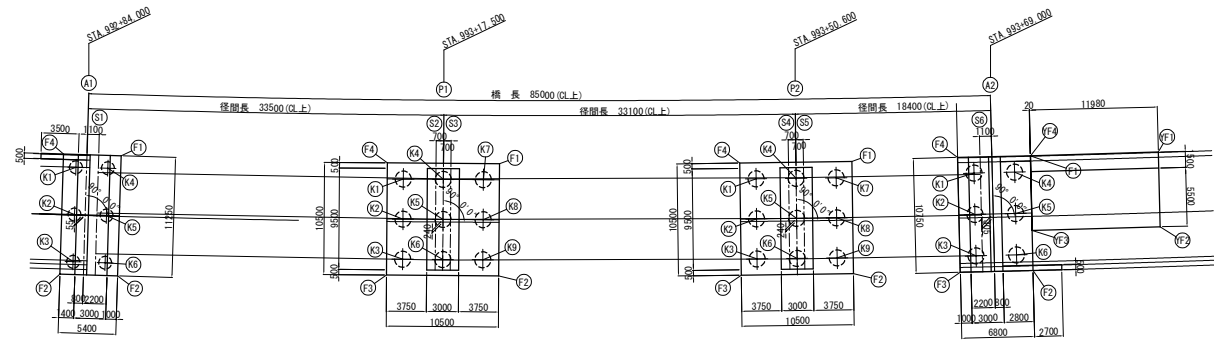
道東自動車道 トマムIC工事			
久我の沢川橋（下り線） 橋梁一般図（その2）			
図面の種類	縮尺	図面番号	3 / 73
設計会社名	株式会社	日本橋梁研究	
施工会社名	東日本高速道路株式会社	北海道支社	
事務所名	帯広工務事務所		

下部工正面図 S=1:200

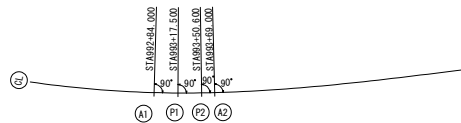


道 東 自 動 車 道 ト マ ム イ C 工 事			
久我の沢川橋 (下り線)			
図面の種類	橋梁一般図 (その3)		
縮 尺	1:200	図面番号	4 / 73
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工務事務所		

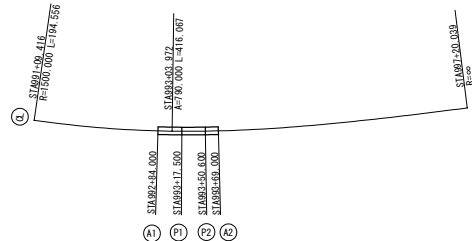
平面図



橋台・橋脚設定方法



平面線形



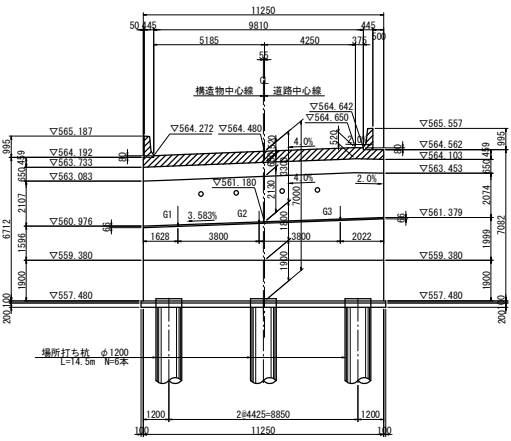
下部工座標値

位置	番号	A1橋台		P1橋脚		P2橋脚		A2橋台	
		X	Y	X	Y	X	Y	X	Y
道路中心	(CL)	-105263.8136	30691.7926	-105262.5923	30725.2696	-105260.6773	30758.3136	-105259.3292	30776.6640
	(L1)	-	-	-105258.5821	30724.3782	-105256.6869	30757.3403	-105255.3820	30775.2498
	(L2)	-	-	-105262.3781	30724.5587	-105260.4783	30757.5984	-105259.1705	30775.5481
支承位置	(L3)	-	-	-105266.1740	30724.7391	-105264.2697	30757.8566	-105262.9589	30775.8465
	(R1)	-105259.7346	30692.7895	-105258.5161	30725.7766	-105256.5951	30758.7373	-	-
	(R2)	-105263.5336	30692.8858	-105262.3120	30725.9570	-105260.3865	30758.9954	-	-
	(R3)	-105267.3326	30692.9820	-105266.1080	30726.1375	-105264.1779	30759.2535	-	-
底版	(F1)	-105258.0544	30694.8477	-105256.8592	30730.2530	-105254.8433	30763.1785	-105253.3840	30779.8069
	(F2)	-105269.3008	30695.1326	-105267.3473	30730.7516	-105265.3191	30763.8918	-105264.1008	30780.6510
	(F3)	-105269.4375	30689.7343	-105267.8459	30720.2634	-105266.0323	30753.4160	-105264.6348	30773.8720
	(F4)	-105258.1911	30689.4495	-105257.3578	30719.7648	-105255.5566	30752.7028	-105253.9179	30773.0279
杭	(K1)	-105259.3604	30690.6795	-105258.7849	30721.3343	-105256.9512	30754.3012	-105255.2955	30774.6411
	(K2)	-105263.7839	30690.7915	-105262.5306	30721.5124	-105260.6925	30754.5559	-105259.1586	30774.9453
	(K3)	-105268.2075	30690.9035	-105266.2764	30721.6905	-105264.4339	30754.8107	-105263.0216	30775.2496
	(K4)	-105259.2844	30693.6785	-105258.6088	30725.0801	-105256.6965	30758.0426	-105254.9972	30778.4293
	(K5)	-105263.7080	30693.7905	-105262.3525	30725.2582	-105260.4378	30758.2973	-105258.8602	30778.7336
	(K6)	-105268.1316	30693.9026	-105266.0983	30725.4363	-105264.1792	30758.5520	-105262.7232	30779.0379
	(K7)	-	-	-105258.4287	30728.8259	-105256.4418	30761.7839	-	-
	(K8)	-	-	-105262.1745	30729.0040	-105260.1831	30762.0366	-	-
	(K9)	-	-	-105265.9202	30729.1821	-105263.9244	30762.2933	-	-
	(K10)	-	-	-	-	-	-	-	-
擁壁底版	(F5)	-	-	-	-	-	-	-105252.3744	30791.7646
	(F6)	-	-	-	-	-	-	-105259.3528	30792.3142
	(F7)	-	-	-	-	-	-	-105260.3608	30780.3765
	(F8)	-	-	-	-	-	-	-105253.3825	30779.8269

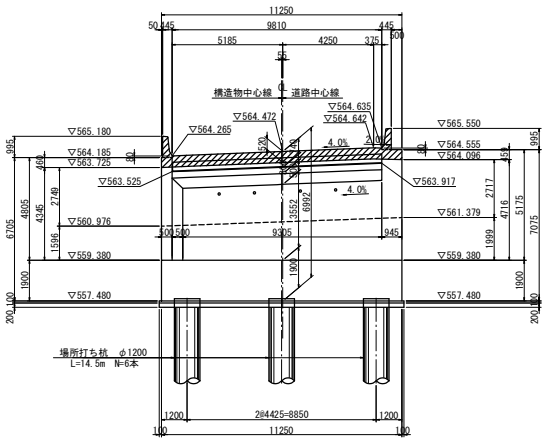
変位点	測点	X座標	Y座標	要素
KE 2-1	991+09.416	-105258.0784	30517.4016	R= -1500.000
KE 2-1	993+03.972	-105263.1751	30711.7544	A= 790.000
KA 2-1	997+20.039	-105208.8308	31123.8981	

道 京 自 動 車 道 ト マ ム イ シ 工 事			
図面の種類	久我の沢川橋（下り線） 下部工座標図		
	縮 尺	図 示	図面番号 5 / 73
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

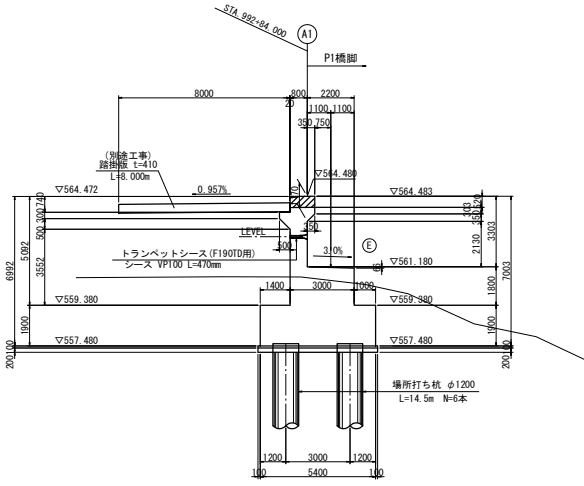
正面図 (1-1)



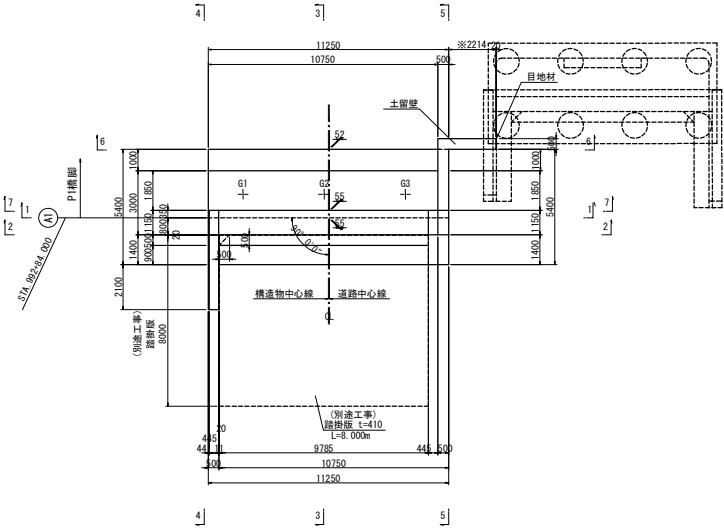
背面図 (2-2)



断面図 (3-3)

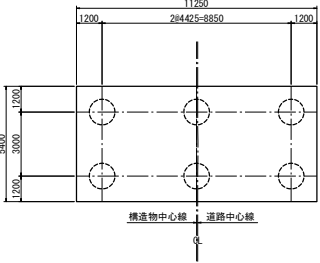


平面図

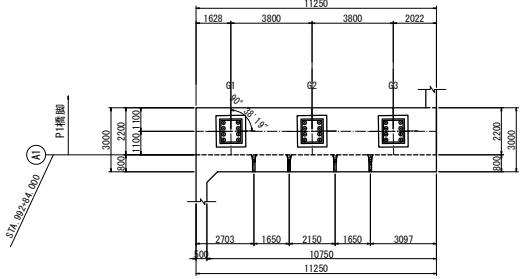


供用線

杭配置図



支承配置図



注) 斜線 : 上部工施工

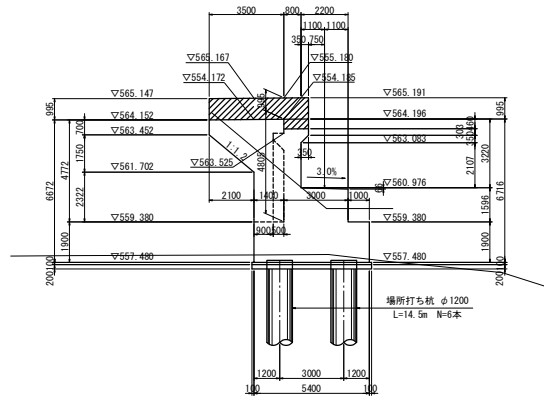
材料表

	コンクリート	鉄 筋
躯体・翼壁・土留壁	$\sigma_{ck}=30N/mm^2$	S0345
底版	$\sigma_{ck}=24N/mm^2$	S0345
場所打ち杭	$\sigma_{ck}=24N/mm^2$	S0345

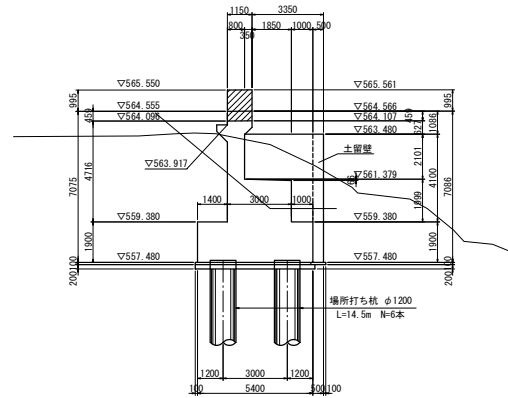
道 京 自 動 車 道 ト マ ム イ シ 工 事			
久我の沢川橋（下り線） A1橋台構造図（その 1）			
図面の種類	図示	図面番号	6 / 73
縮 尺	株式会社 日本構造橋梁研究所		
設計会社名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		
施工会社名			
事務所名			



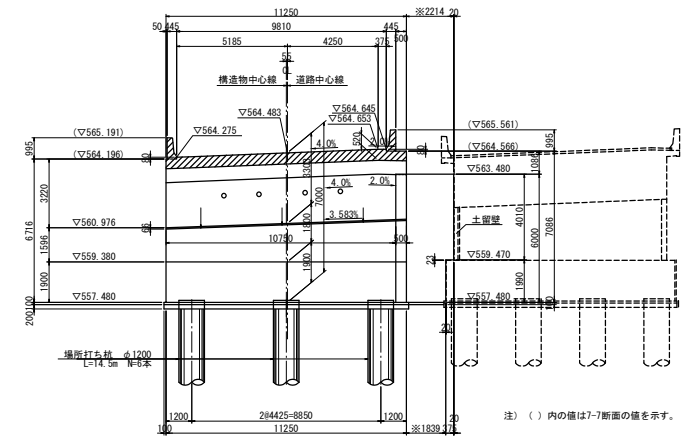
4 - 4



5 - 5

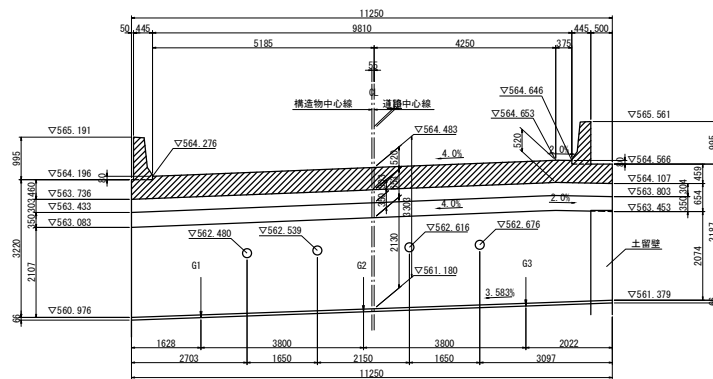


6 - 6

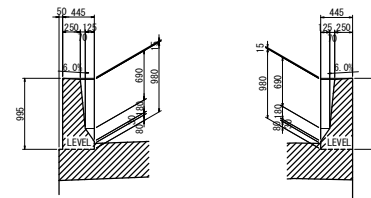


7-7  
(伸縮装置受台先端)

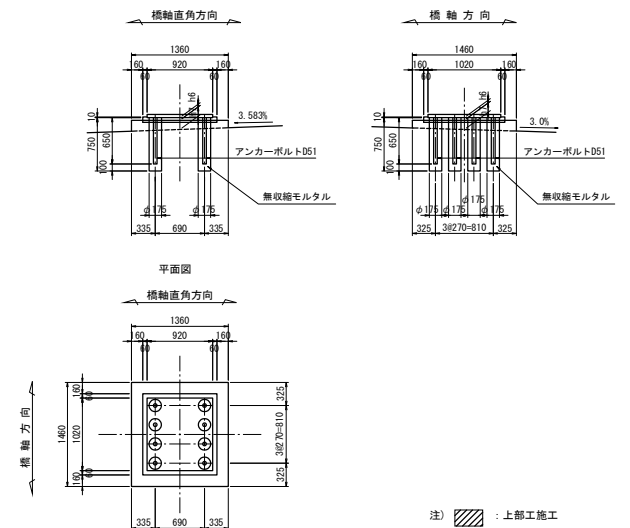
S=1:125



壁高欄詳細図 S=1:75



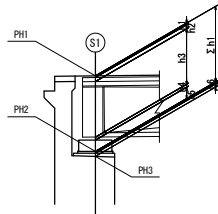
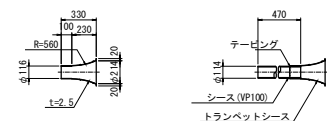
支承詳細図 S=1:75



トランペットシース及び箱抜き詳細図 S=1:50

トランペットシース  
(ポリエチレン)

箱抜き詳細図

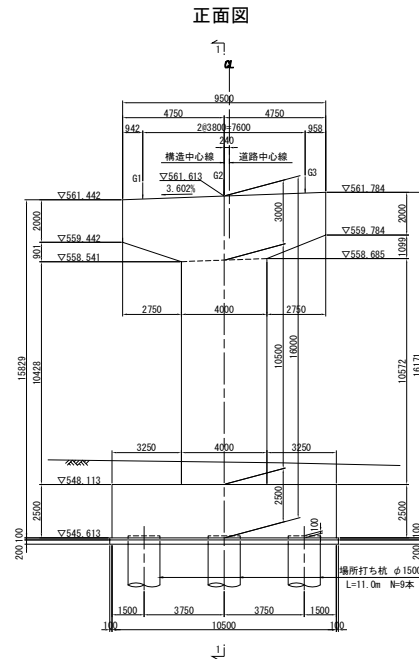


構造高表

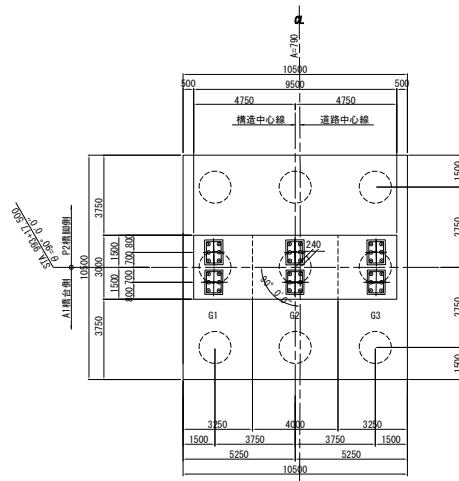
		S1 (A1) 支承断面ライン		
		G1	G2	G3
計画高	PH1	564.328	564.480	564.632
舗装厚	h1	0.085	0.101	0.117
床版厚	h2	0.200	0.200	0.200
析高	h3	2.400	2.400	2.400
レアー厚	h4	0.040	0.040	0.040
支承高	h5	0.436	0.436	0.436
小計	Σh1	3.161	3.177	3.193
モルタル天端高	PH2	561.167	561.303	561.439
モルタル厚	h6	0.037	0.036	0.036
台座コンクリート	h7	0.130	0.130	0.130
下部工天端高	PH3	561.000	561.137	561.273

注：斜線：上部工施工

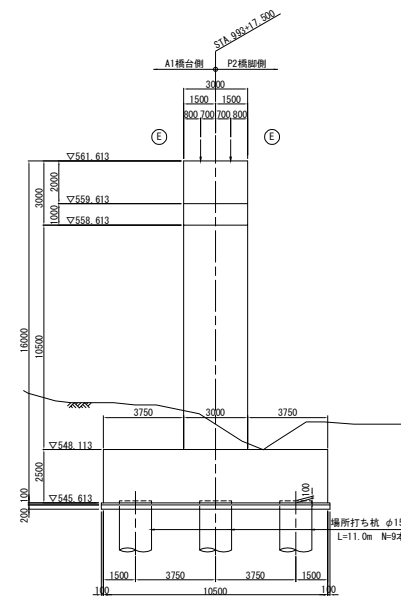
道東自動車道 トマムIC工事			
久我の沢川橋（下り線） A1橋台構造図（その2）			
図面の種類	図示	図面番号	7 / 73
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		
事務所名			



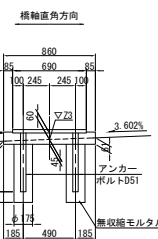
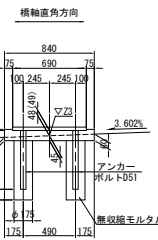
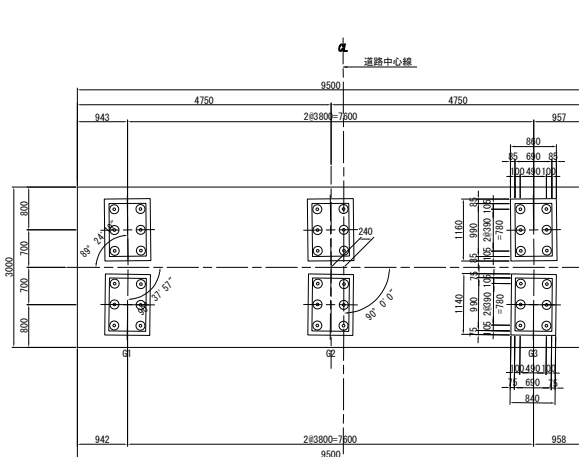
平面図



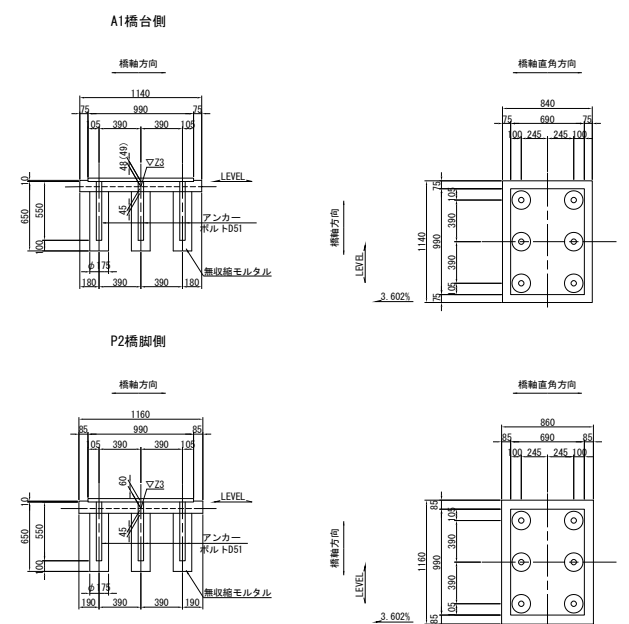
側面図 (1-1)



支保配置図 S= 1:100



支保部詳細図 S= 1:50

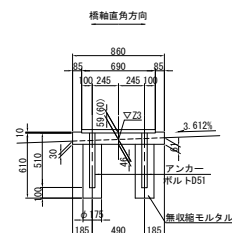
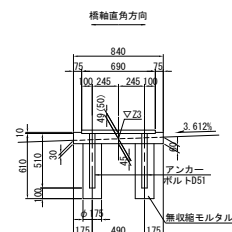
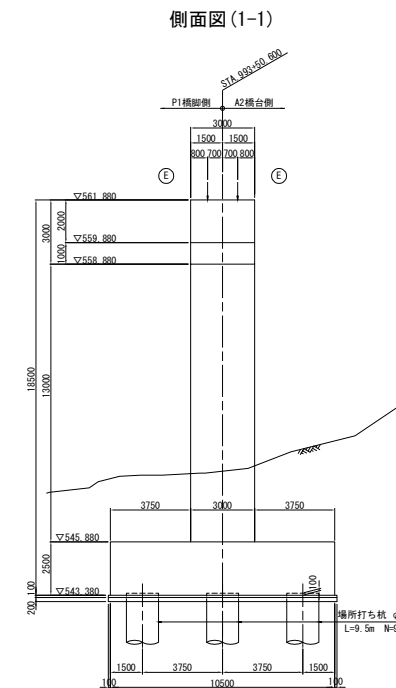
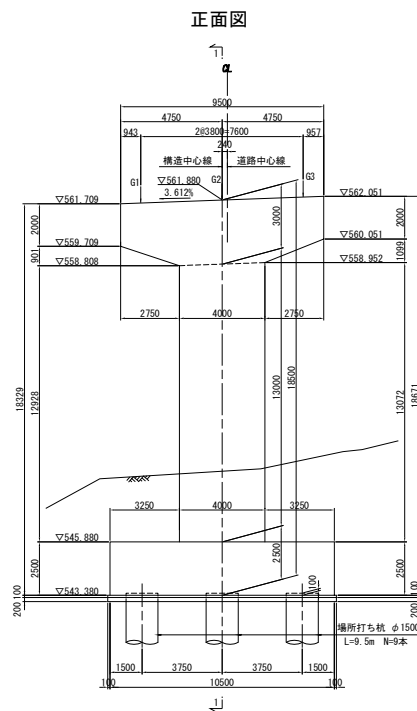


構造高表

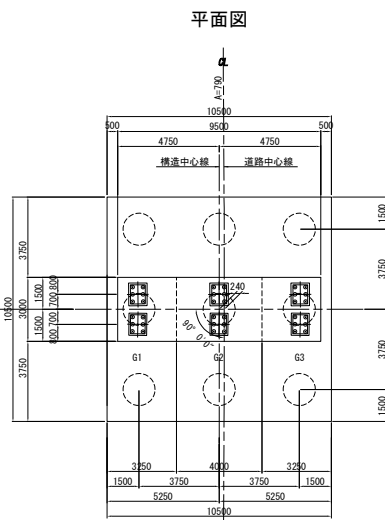
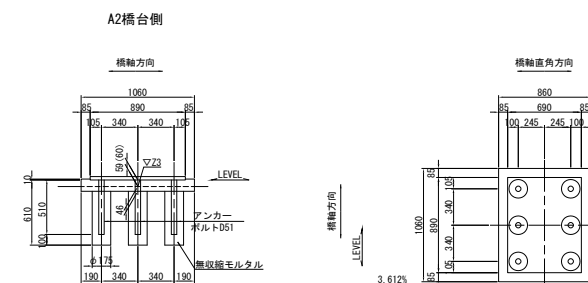
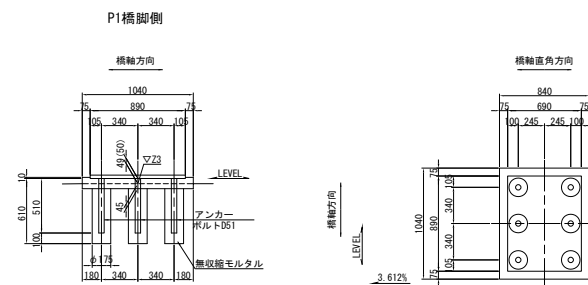
		P1橋脚					
		A1橋台側			P2橋脚側		
		G1	G2	G3	G1	G2	G3
路面計画高	Z1	564.606	564.756	564.907	564.617	564.768	564.918
橋脚厚	H1	0.084	0.098	0.111	0.084	0.098	0.111
床版厚	H2	0.200	0.200	0.200	0.200	0.200	0.200
桁高	H3	2.400	2.400	2.400	2.400	2.400	2.400
桁下地高 (レアー含む)	Z2	561.922	562.058	562.196	561.933	562.070	562.207
レアー厚	t1	0.040	0.040	0.040	0.040	0.040	0.040
支保高	H4	0.357	0.357	0.357	0.357	0.357	0.357
モルタル厚	t2	0.049	0.048	0.049	0.060	0.060	0.060
台座コンクリート厚	H5	-	-	-	-	-	-
下部工天端高	Z3	561.476	561.613	561.750	561.476	561.613	561.750
支保の方向	θ	90° 37' 57"			89° 24' 19"		

使用材料

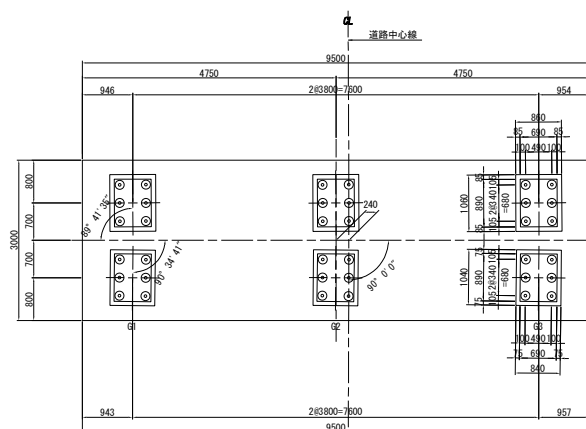
コンクリート	躯体	σ <sub>ck</sub> =30N/mm <sup>2</sup>
	底版	σ <sub>ck</sub> =24N/mm <sup>2</sup>
	均しコンクリート	σ <sub>ck</sub> =18N/mm <sup>2</sup>
	場所打ち杭	σ <sub>ck</sub> =24N/mm <sup>2</sup>
鉄筋	梁	S345
	柱	S490
	主鉄筋	S345
	その他	S345



支承部詳細図 S= 1:50



支承配置図 S= 1:100



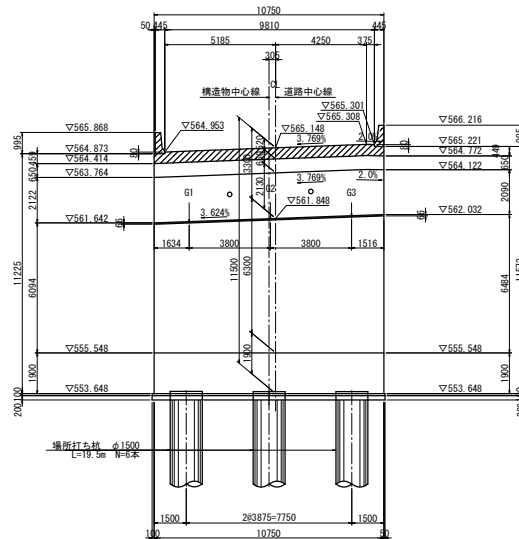
構造高表

		P1橋脚側			P2橋脚		
		G1	G2	G3	G1	G2	G3
路面計画高	Z1	564.863	565.009	565.155	564.874	565.019	565.165
橋脚厚	H1	0.083	0.092	0.100	0.083	0.092	0.100
床版厚	H2	0.200	0.200	0.200	0.200	0.200	0.200
桁高	H3	2.400	2.400	2.400	2.400	2.400	2.400
桁下床高 (レアー含む)	Z2	561.180	562.317	562.455	561.191	562.327	562.465
レアー厚	t1	0.040	0.040	0.040	0.040	0.040	0.040
支承高	H4	0.348	0.348	0.348	0.348	0.348	0.348
モルタル厚	t2	0.049	0.049	0.050	0.060	0.059	0.060
台座コンクリート厚	H5	-	-	-	-	-	-
下部工天端高	Z3	561.743	561.880	562.017	561.743	561.880	562.017
支承の方向	θ	90° 34' 41"			89° 41' 35"		

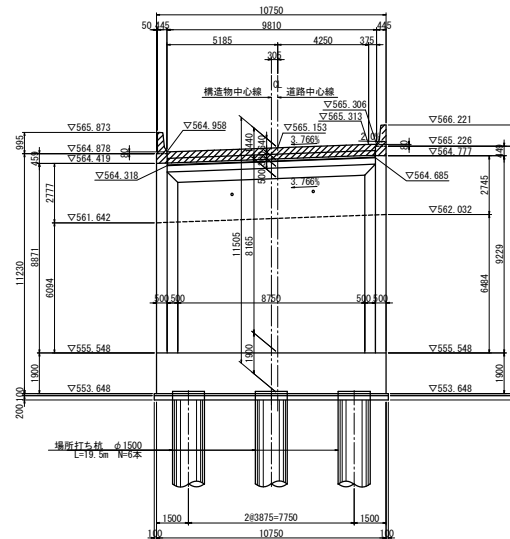
使用材料

コンクリート	躯体	$\sigma_{ck}=30\text{N/mm}^2$
	底版	$\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$
	均しコンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$
	場所打ち杭	$\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$
鉄 筋	梁	SD345
	柱	主鉄筋 SD490 その他 SD345
	底版	SD345
	場所打ち杭	SD345

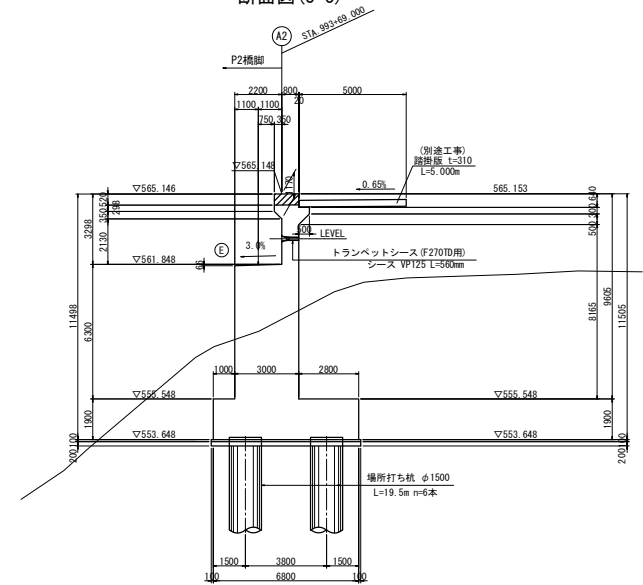
正面図 (1-1)



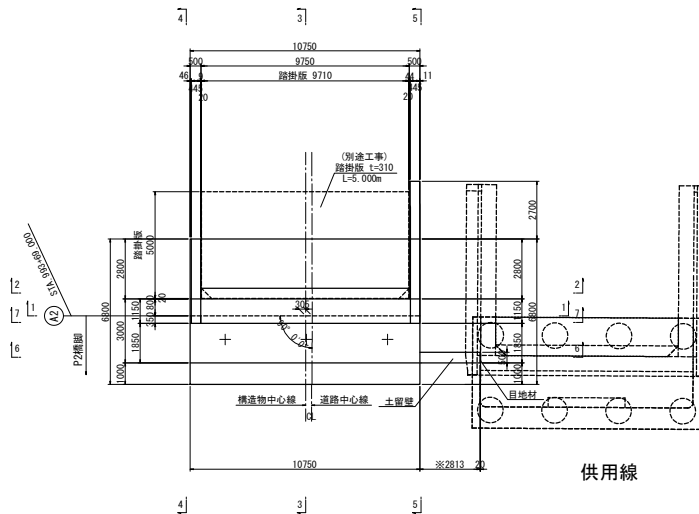
背面図 (2-2)



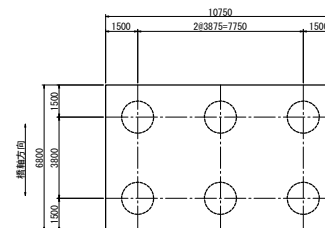
断面図 (3-3)



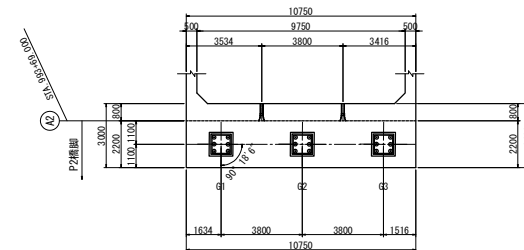
平面図



杭配置図



支承配置図



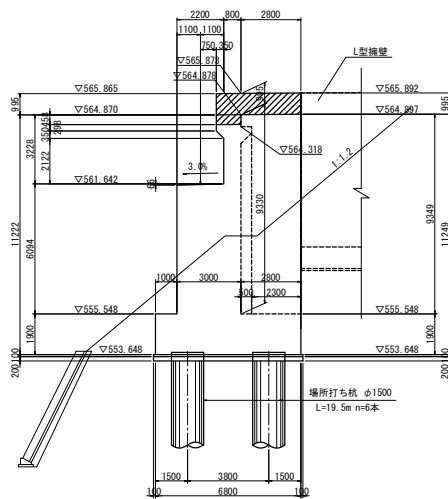
注) 上部工施工

材料表

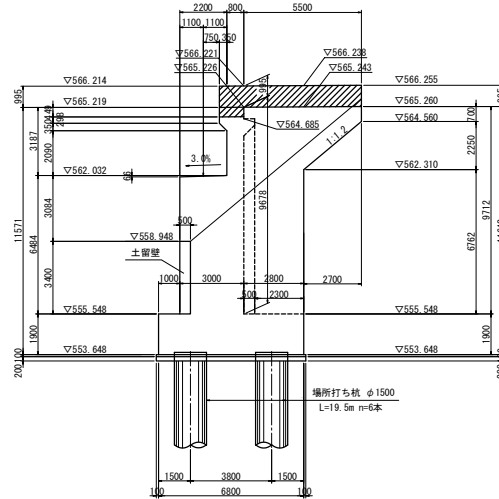
	コンクリート	鉄 筋
躯体・翼壁・土留壁	$\sigma_{ck}=30\text{N/mm}^2$	S0345
底版	$\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$	S0345
場所打ち杭	$\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$	S0345

道 交 自 動 車 道 ト マ ム イ シ 工 事			
久我の沢川橋（下り線） A2橋台構造図（その 1）			
縮 尺	図示	図面番号	10 / 73
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

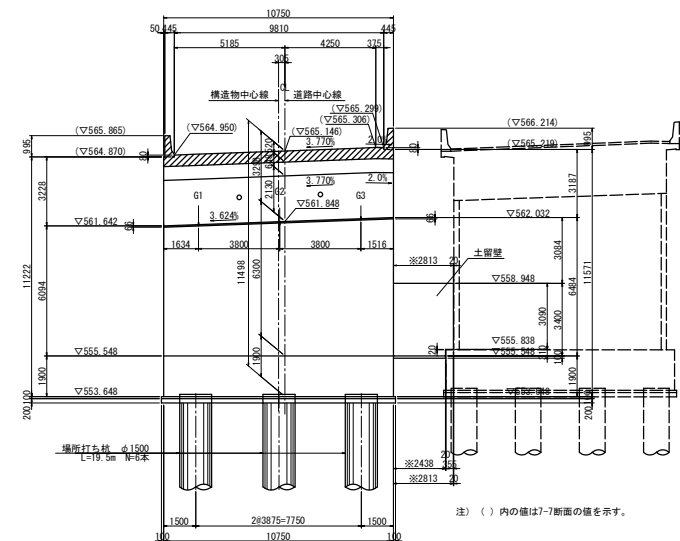
4 - 4



5 - 5

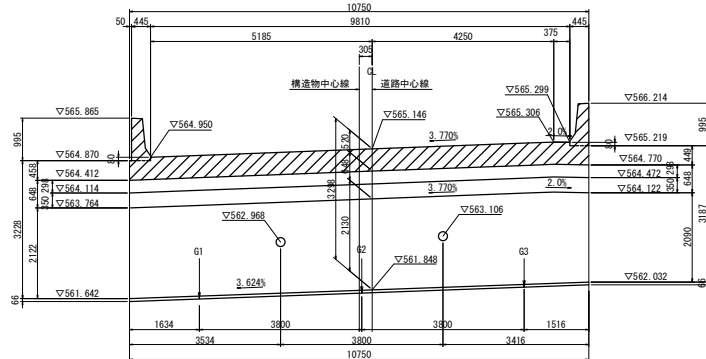


6 - 6



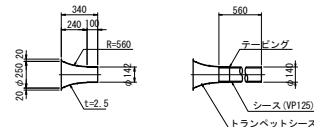
7-7  
(伸縮装置受台先端)

S=1:125

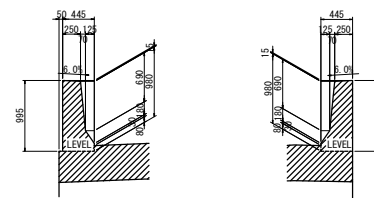


トランペットシース及び箱抜き詳細図 S=1:50

トランペットシース 箱抜き詳細図  
(ポリエチレン)

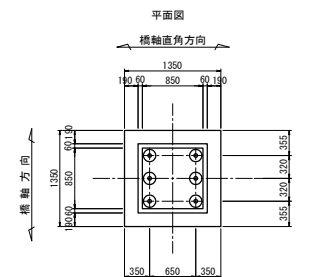


壁高欄詳細図 S=1:75



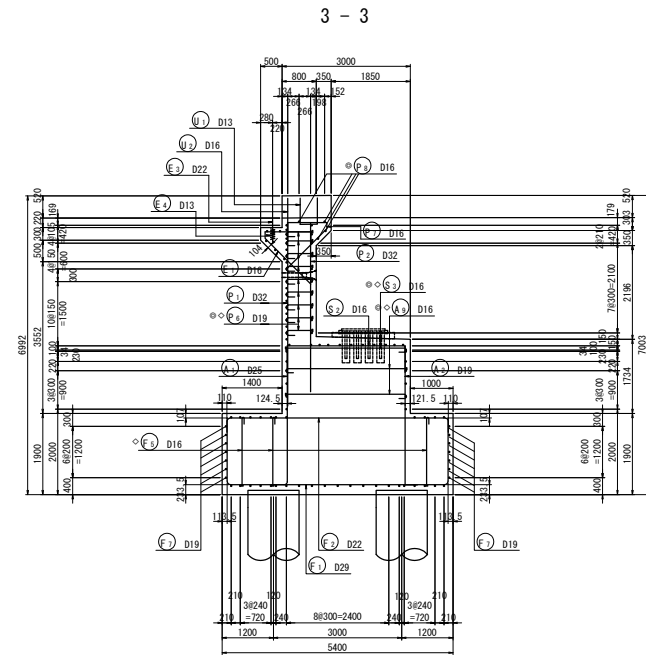
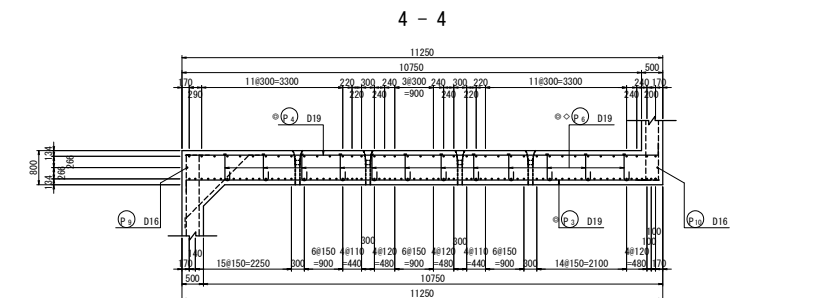
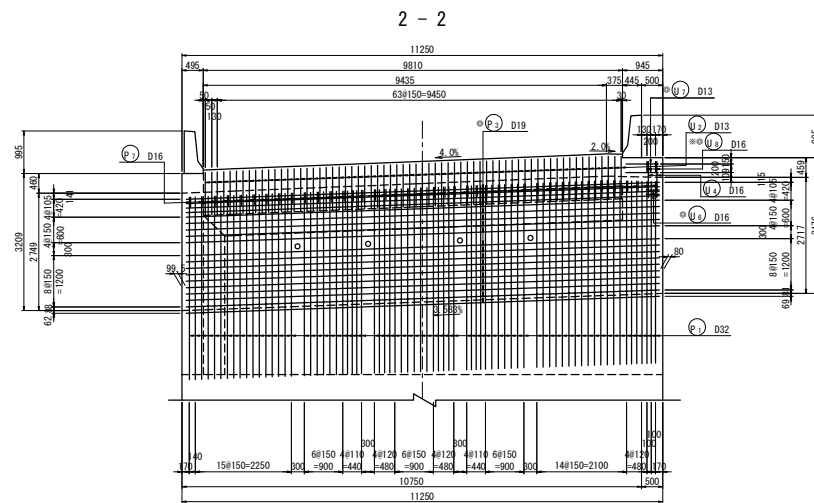
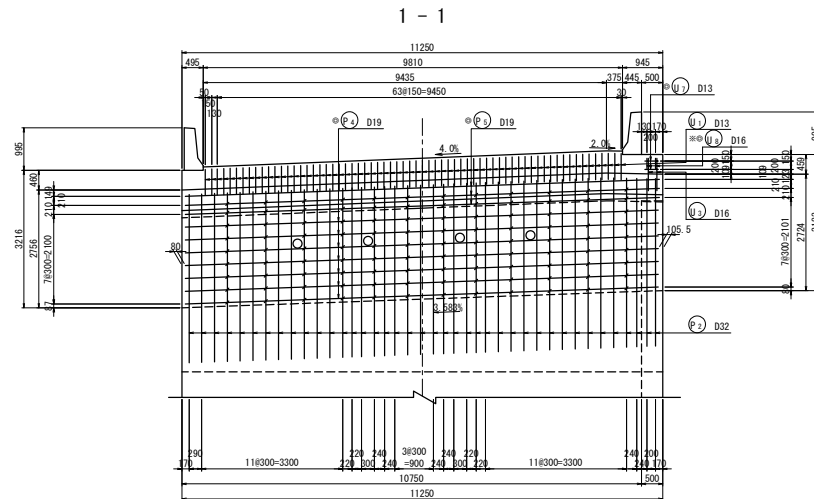
構造高表

計画高	PH1	S6 (A2支保橋断面ライン)		
		G1	G2	G3
舗装厚	h1	0.089	0.094	0.100
床版厚	h2	0.200	0.200	0.200
桁高	h3	2.400	2.400	2.400
レアー厚	h4	0.040	0.040	0.040
支保高	h5	0.389	0.389	0.389
小計	Σh1	3.118	3.123	3.129
モルタル天端高	PH2	561.870	562.009	562.146
モルタル厚	h6	0.032	0.033	0.032
台座コンクリート	h7	0.170	0.170	0.170
下部工天端高	PH3	561.668	561.806	561.944

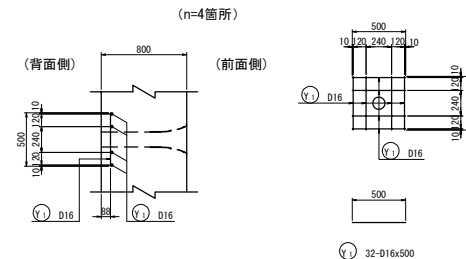


注) 斜線: 上部工施工

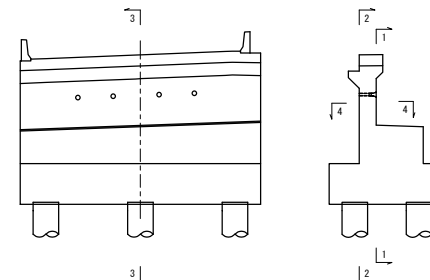
道東自動車道 トマムIC工事			
久我の沢川橋（下り線） A2橋台構造図（その2）			
縮尺	図示	図面番号	11 / 73
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		
事務所名			



落橋防止装置用心鉄筋 S=1:50

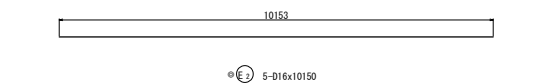
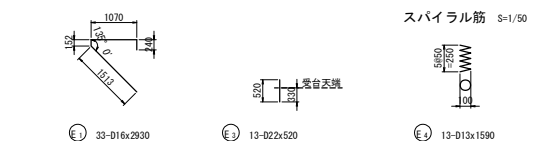
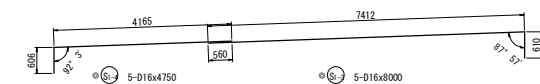
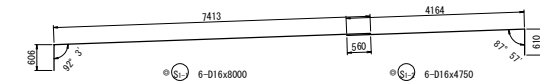
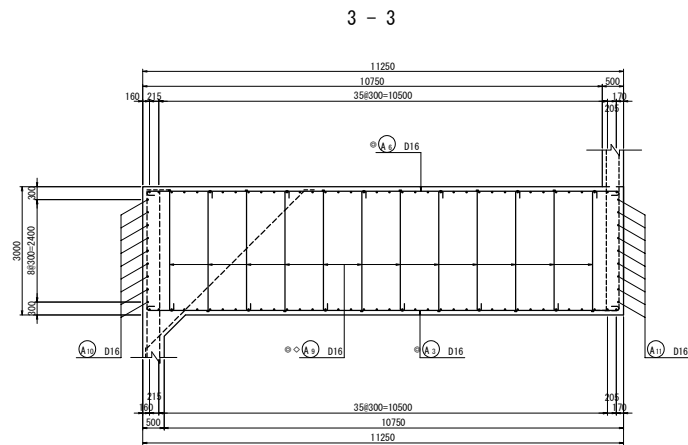
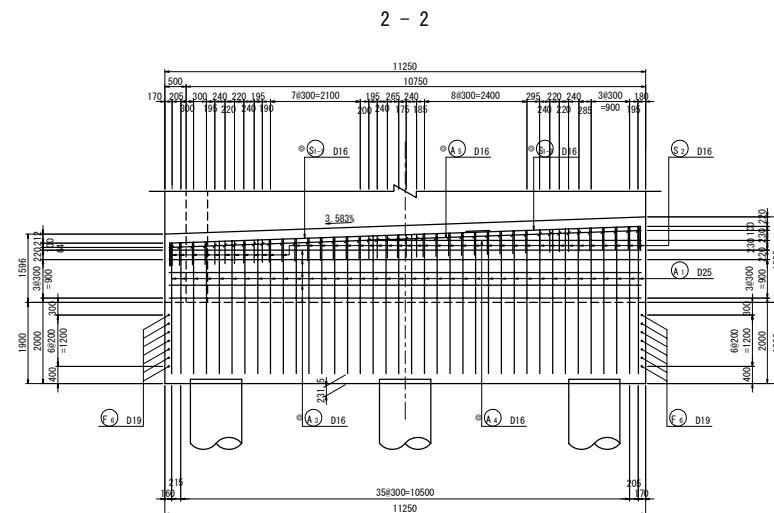
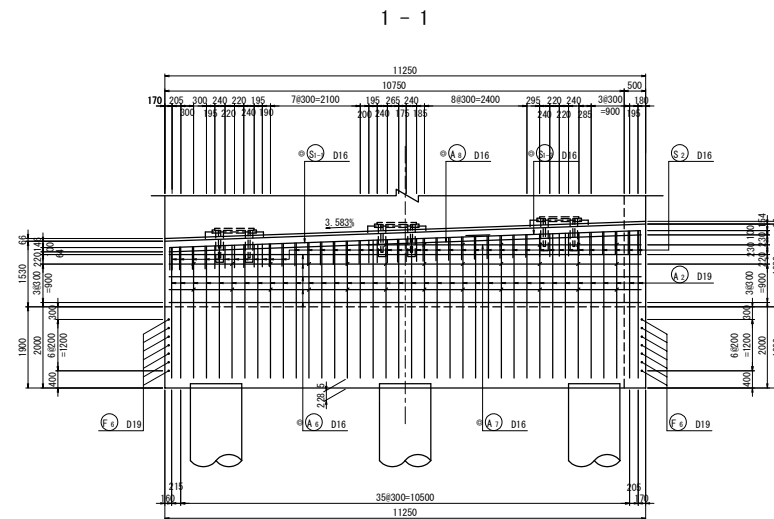


位置図

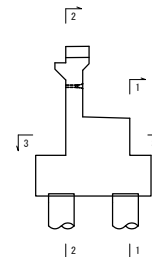


注1) ◇印表記は機械式鉄筋定着工法を示す。  
 注2) ◎印鉄筋はエポキシ樹脂塗装鉄筋とする。  
 注3) 鉄筋長は四捨五入の10mm丸めとする。

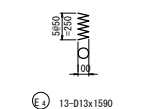
道 東 自 動 車 道 ト マ ム イ シ 工 事			
久我の沢川橋（下り線） A1橋台配筋図（その1）			
縮 尺	図示	図面番号	12 / 73
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		
事務所名			



位置図



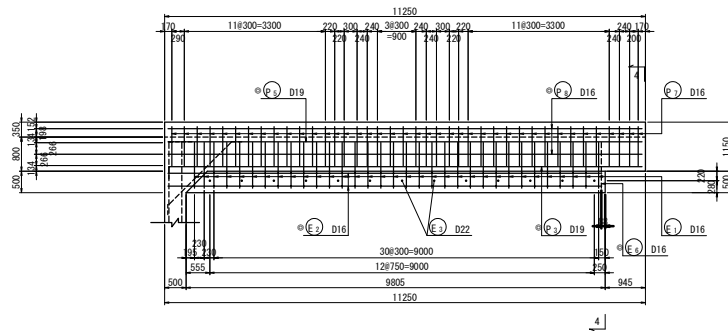
スパイラル筋 S=1/50



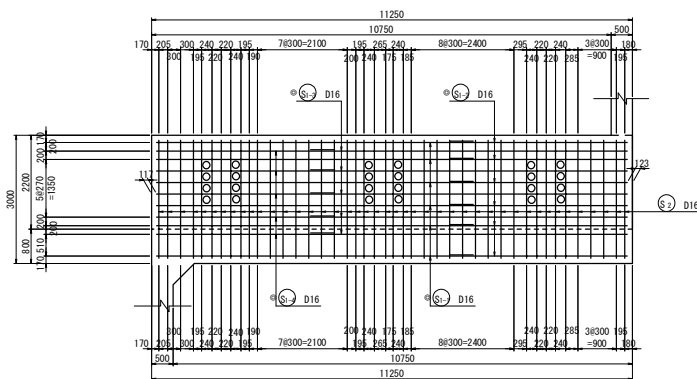
注1) ◇印表記は機械式鉄筋定着工法を示す。  
 注2) ◎印鉄筋はエポキシ樹脂塗装鉄筋とする。  
 注3) 鉄筋長は四捨五入の10mm丸めとする。

道 東 自 動 車 道 ト マ ム イ C 工 事			
図面の種類	久我の沢川橋（下り線） A1橋台配筋図（その2）		
縮 尺	図示	図面番号	13 / 73
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

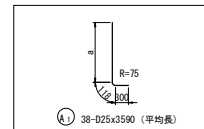
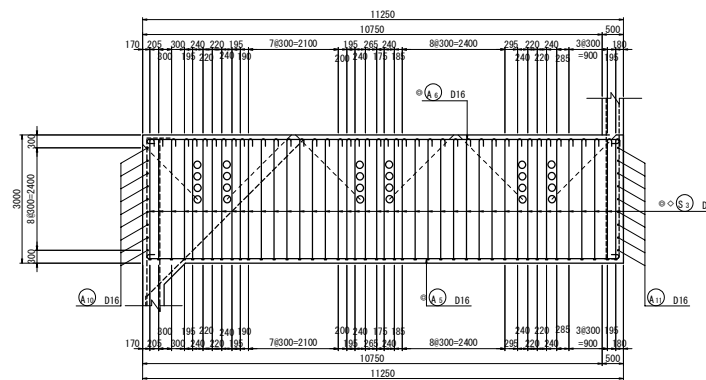
1 - 1



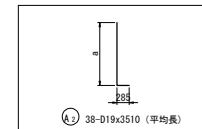
2 - 2



3 - 3

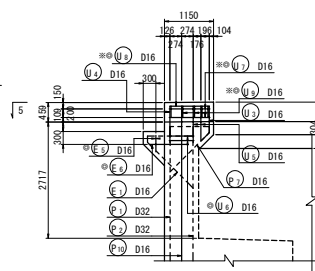


記号	径	本数	a	L
1	D25	1	2980	3400
2	D25	1	2987	3410
3	D25	1	2998	3420
4	D25	1	3009	3430
5	D25	1	3020	3440
6	D25	1	3030	3450
7	D25	1	3041	3460
8	D25	1	3052	3470
9	D25	1	3063	3480
10	D25	1	3073	3490
11	D25	1	3084	3500
12	D25	1	3095	3510
13	D25	1	3106	3520
14	D25	1	3116	3530
15	D25	1	3127	3550
16	D25	1	3138	3560
17	D25	1	3149	3570
18	D25	1	3159	3580
19	D25	1	3170	3590
20	D25	1	3181	3600
21	D25	1	3192	3610
22	D25	1	3202	3620
23	D25	1	3213	3630
24	D25	1	3224	3640
25	D25	1	3235	3650
26	D25	1	3245	3660
27	D25	1	3256	3670
28	D25	1	3267	3680
29	D25	1	3278	3700
30	D25	1	3288	3710
31	D25	1	3299	3720
32	D25	1	3310	3730
33	D25	1	3321	3740
34	D25	1	3331	3750
35	D25	1	3342	3760
36	D25	1	3353	3770
37	D25	1	3364	3780
38	D25	1	3371	3790
平均長		38		3590

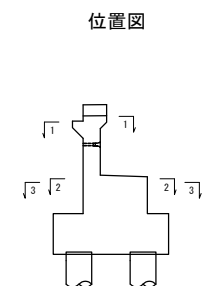
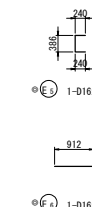
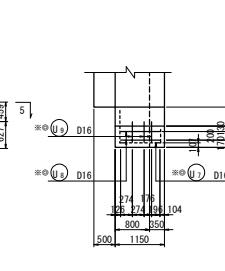


記号	径	本数	a	L
1	D19	1	3058	3320
2	D19	1	3065	3330
3	D19	1	3076	3340
4	D19	1	3087	3350
5	D19	1	3098	3360
6	D19	1	3108	3370
7	D19	1	3119	3380
8	D19	1	3130	3390
9	D19	1	3141	3400
10	D19	1	3151	3410
11	D19	1	3162	3420
12	D19	1	3173	3430
13	D19	1	3184	3440
14	D19	1	3194	3450
15	D19	1	3205	3470
16	D19	1	3216	3480
17	D19	1	3227	3490
18	D19	1	3237	3500
19	D19	1	3248	3510
20	D19	1	3259	3520
21	D19	1	3270	3530
22	D19	1	3280	3540
23	D19	1	3291	3550
24	D19	1	3302	3560
25	D19	1	3313	3570
26	D19	1	3323	3580
27	D19	1	3334	3590
28	D19	1	3345	3610
29	D19	1	3356	3620
30	D19	1	3366	3630
31	D19	1	3377	3640
32	D19	1	3388	3650
33	D19	1	3399	3660
34	D19	1	3409	3670
35	D19	1	3420	3680
36	D19	1	3431	3690
37	D19	1	3442	3700
38	D19	1	3449	3710
平均長		38		3510

4 - 4



5 - 5

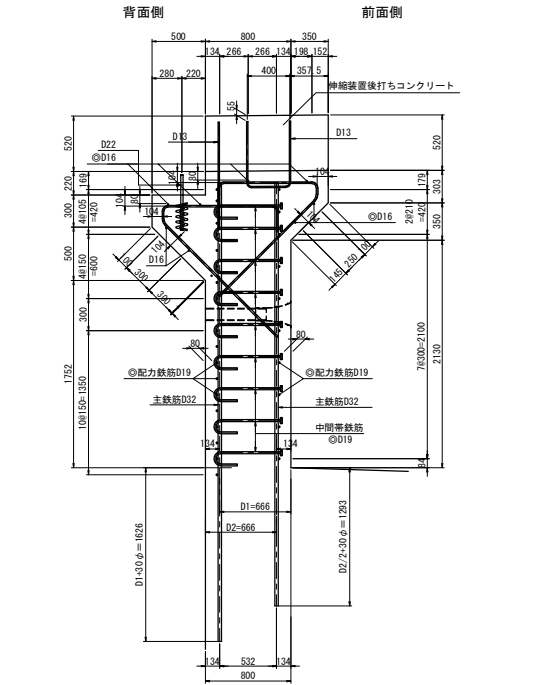


注1) ◇印裏記は機械式鉄筋定着工法を示す。  
 注2) ◎印鉄筋は工部キヤンボウ建築鉄筋とする。  
 注3) 鉄筋長は四捨五入の10mm丸めとする。  
 注4) ※印鉄筋は上部工施工鉄筋を示す。

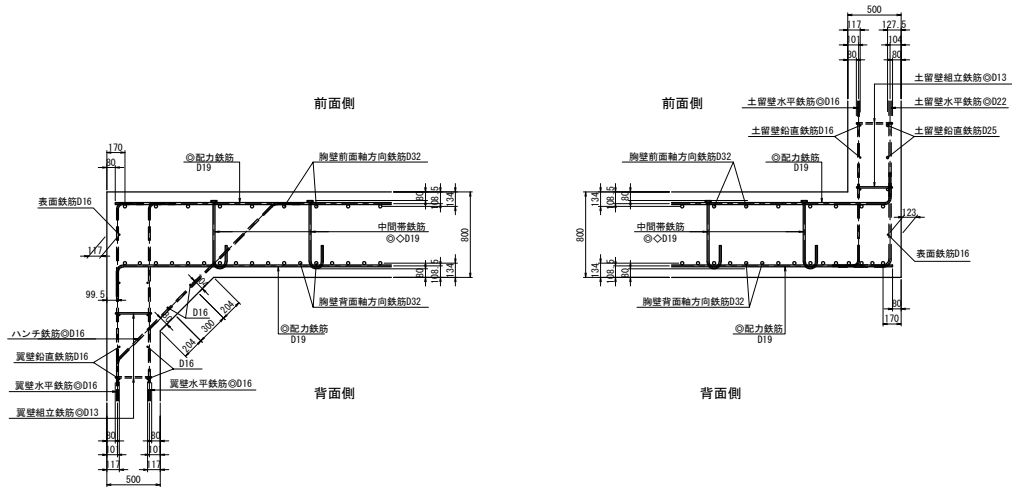
道 交 自 動 車 道 ト マ ム イ C 工 事			
図面の種類	久我の沢川橋（下り線） A1橋台配筋図（その3）		
縮 尺	図示	図面番号	14 / 73
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工務事務所		



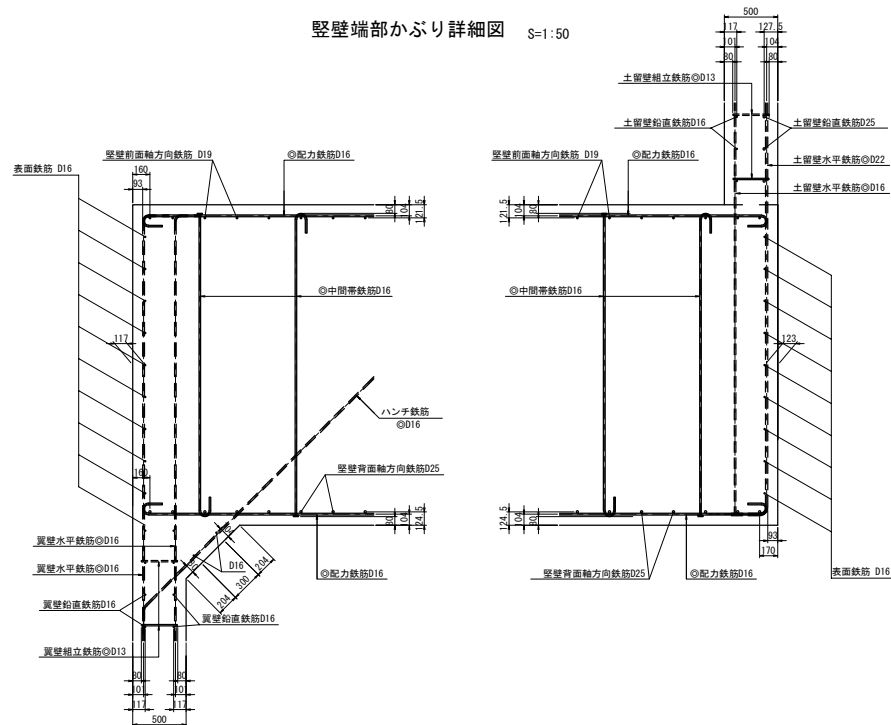
胸壁かぶり詳細図 S=1:50



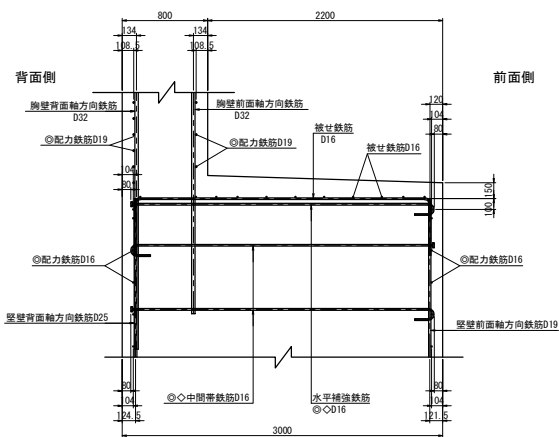
胸壁端部かぶり詳細図 S=1:50



縦壁端部かぶり詳細図 S=1:50



縦壁かぶり詳細図 S=1:50

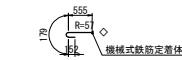
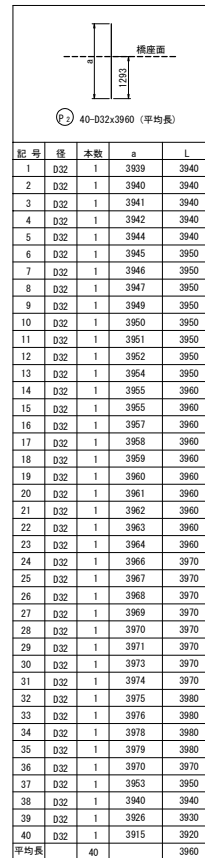
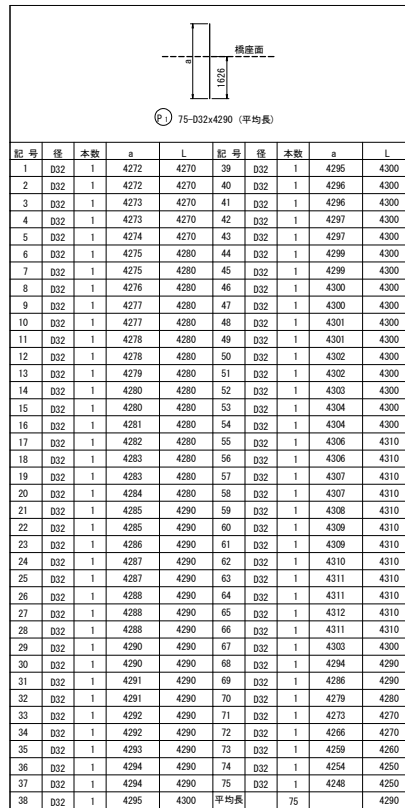


注1) ◇印表記は機械式鉄筋定着工法を示す。  
注2) ◎印鉄筋はエボキシ樹脂塗装鉄筋とする。  
注3) 鉄筋長は四捨五入の10mm丸めとする。

道 東 自 動 車 道 ト マ ム イ シ ャ 工 事			
図面の種類	久我の沢川橋（下り線） A1橋台配筋図（その4）		
縮 尺	図示	図面番号	15 / 73
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

S=1 : 50

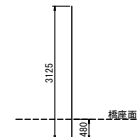
(n=3箇所)



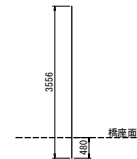
©◇(P6) 108-D19x890



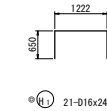
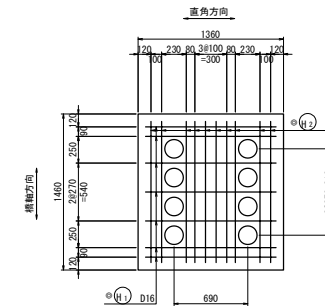
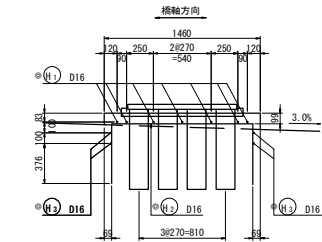
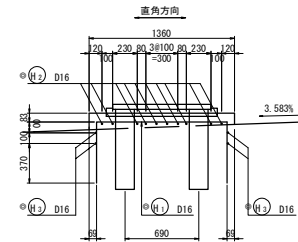
⑦ 40-D16x2560



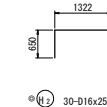
Ⓟ 1-D16x3130



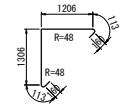
Ⓟ 1-D16x3560



Ⓢ H 1 21-D16x2480



©  $\text{H}_2$  30-D16x2580



③ H<sub>3</sub> 12-D16x3040



① 66-D13x1600



① 66-D13x1000



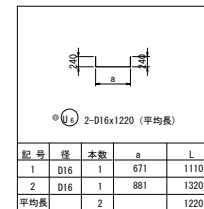
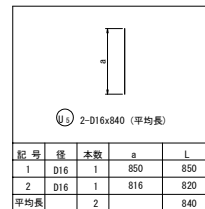
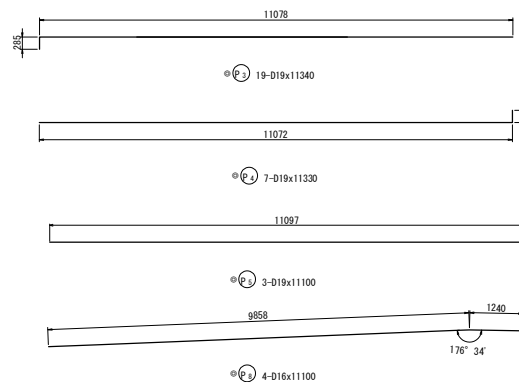
④ 2-D16x860



※ ⑧ 2-D16x1360



⑨ 3-D16x700



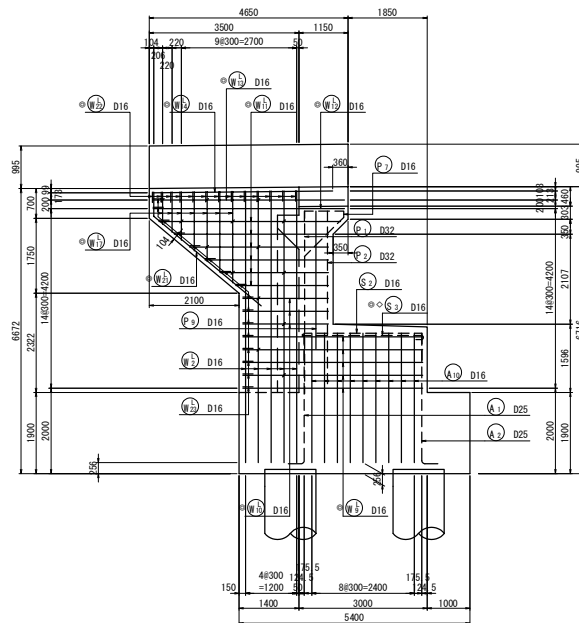
注1) ◇印表記は機械式鉄筋定着工法を示す。  
注2) ◎印鉄筋はエポキシ樹脂塗装鉄筋とする。  
注3) 鉄筋長は四捨五入の10mm丸めとする。

道 東 自 動 車 道 ト マ ム イ C 工 事			
図面の種類	久我の沢川橋（下り線） A1橋台配図（その5）		
縮 尺	図示	図面番号	16 / 73
設計会社名	株式会社 日本橋構造梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支 帯広工事事務所		

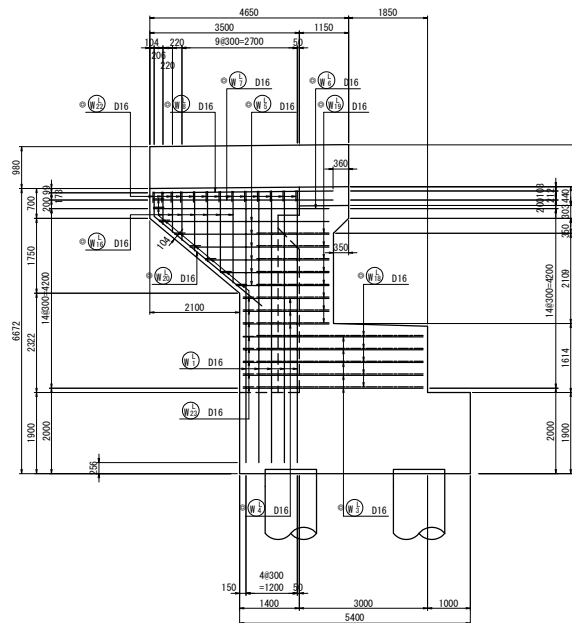


左側ウイング

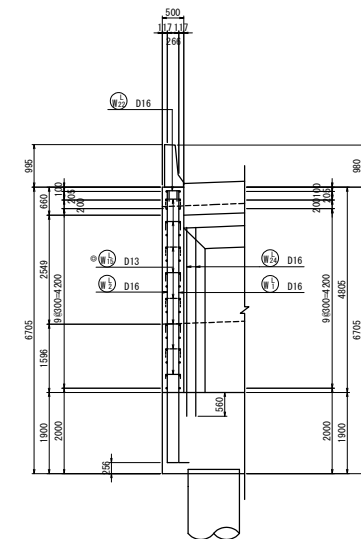
1 - 1（外側）



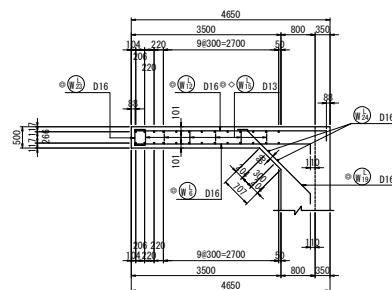
2 - 2（内側）



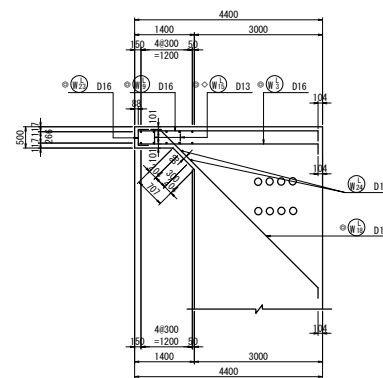
3 - 3



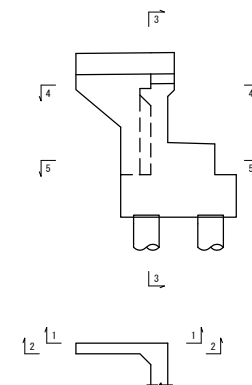
4 - 4



5 - 5

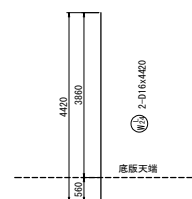
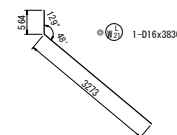
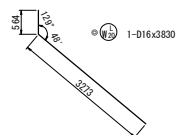
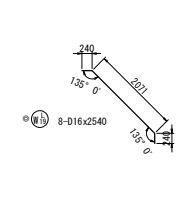
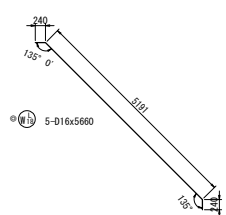
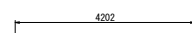
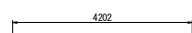
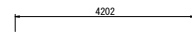
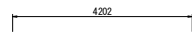
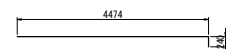
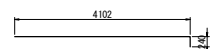
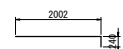
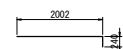
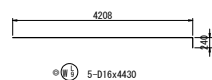


位置図

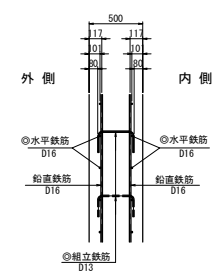


注1) ◎印鉄筋はエポキシ樹脂塗装鉄筋とする。  
 注2) 鉄筋長は四捨五入の10mm丸めとする。

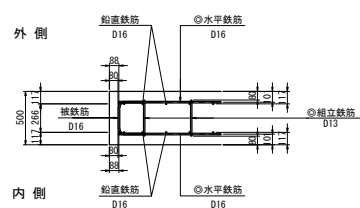
道 交 自 動 車 道 ト マ ム イ シ ャ 工 事			
図面の種類	久我の沢川橋（下り線） A1橋台配筋図（その7）		
	縮 尺	図面番号	18 / 73
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		



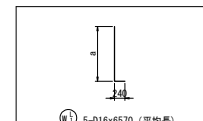
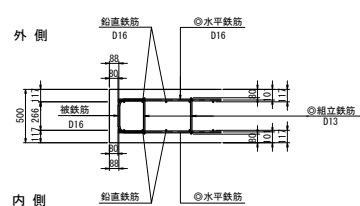
かぶり詳細図 S=1:50



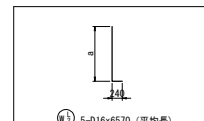
フルウィング端部



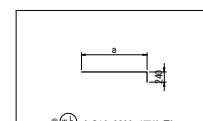
パラレルウィング端部



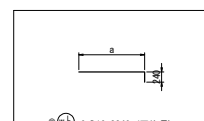
記号	径	本数	a	L
1	D16	1	6350	6570
2	D16	1	6352	6570
3	D16	1	6355	6570
4	D16	1	6358	6590
5	D16	1	6361	6580
平均長		5		6570



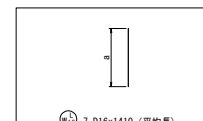
記号	径	本数	a	L
1	D16	1	6350	6570
2	D16	1	6352	6570
3	D16	1	6355	6570
4	D16	1	6358	6590
5	D16	1	6361	6580
平均長		5		6570



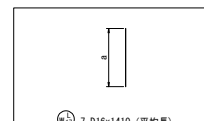
記号	径	本数	a	L
1	D16	1	3966	4190
2	D16	1	3606	3830
3	D16	1	3246	3470
4	D16	1	2886	3110
5	D16	1	2526	2750
6	D16	1	2166	2390
平均長		6		3290



記号	径	本数	a	L
1	D16	1	4248	4470
2	D16	1	3606	3830
3	D16	1	3246	3470
4	D16	1	2886	3110
5	D16	1	2526	2750
6	D16	1	2166	2390
平均長		6		3340



記号	径	本数	a	L
1	D16	1	759	760
2	D16	1	944	940
3	D16	1	1130	1130
4	D16	1	1382	1380
5	D16	1	1635	1640
6	D16	1	1888	1890
7	D16	1	2141	2140
平均長		7		1410



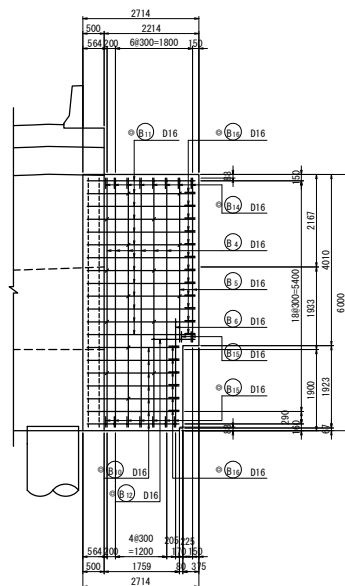
記号	径	本数	a	L
1	D16	1	759	760
2	D16	1	944	940
3	D16	1	1130	1130
4	D16	1	1382	1380
5	D16	1	1635	1640
6	D16	1	1888	1890
7	D16	1	2141	2140
平均長		7		1410

注1) ◎印鉄筋はエポキシ樹脂塗装鉄筋とする。  
注2) 鉄筋長は四捨五入の10mm丸めとする。

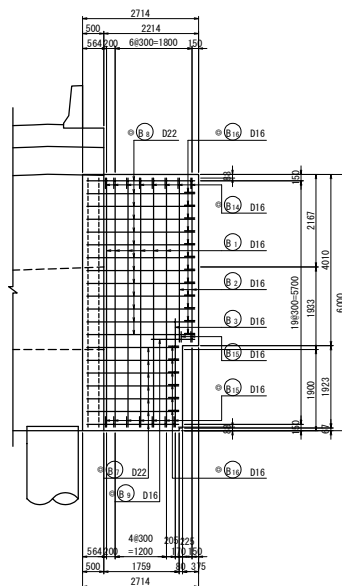


## 土留め壁②

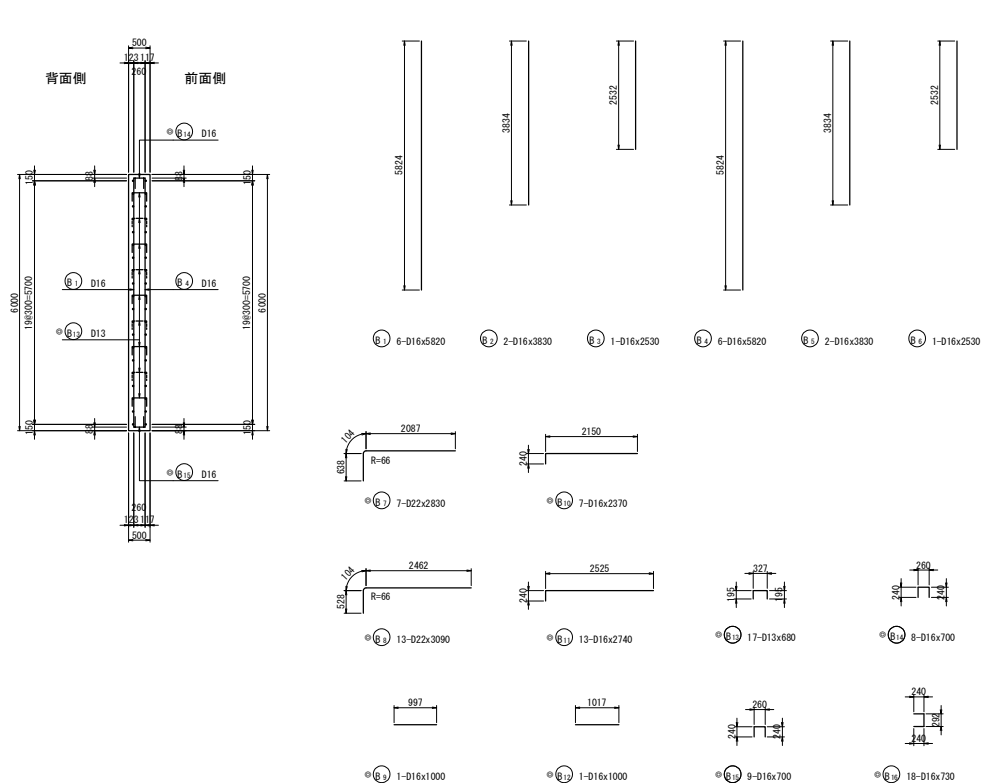
1 - 1 (前面側)



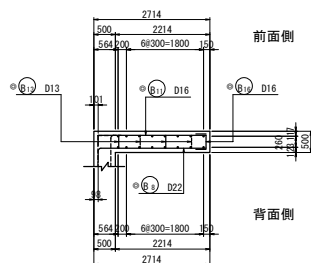
2 - 2(背面側)



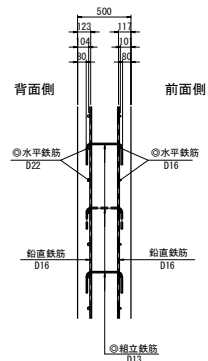
3 - 3



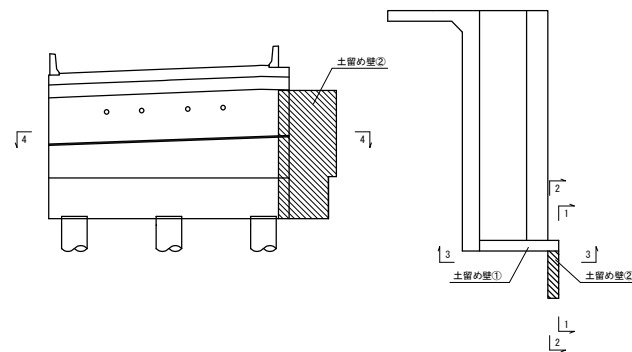
4 - 4



かぶり詳細図 S=1:50



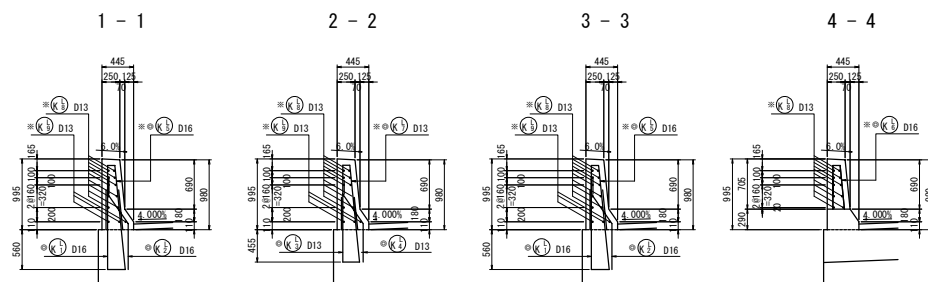
位置図



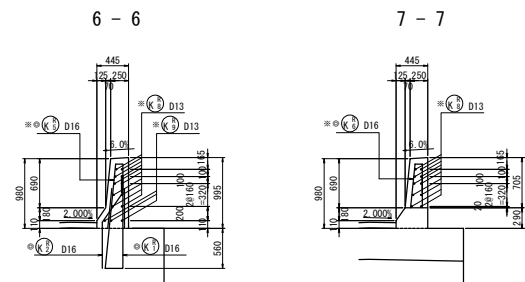
注1) ◎印鉄筋はエポキシ樹脂塗装鉄筋とする。  
注2) 鉄筋長は四捨五入の10mm丸めとする。

道 東 自 動 車 道 ト マ ム ! C I 工 事			
図面の種類	久我の沢川橋(下り線) A1橋台配筋図(その10)		
縮 尺	図示	図面番号	21 / 73
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

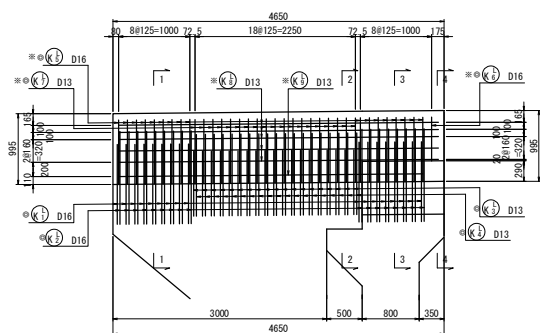
左側壁高欄断面図



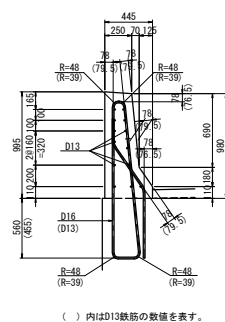
右側壁高欄断面図



5-5

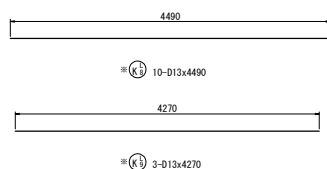
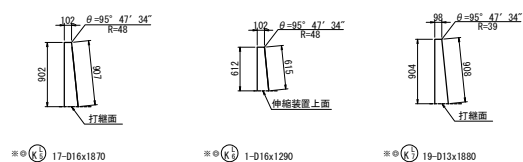
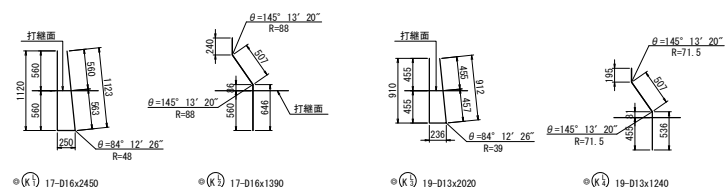
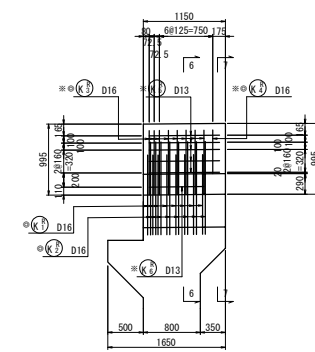


かぶり詳細図 S=1:50

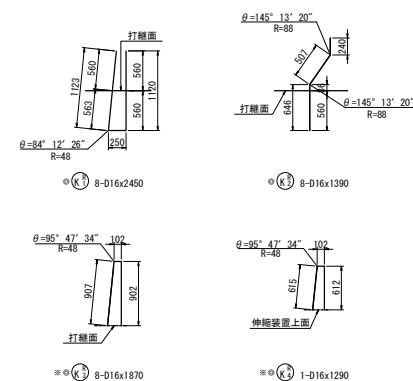
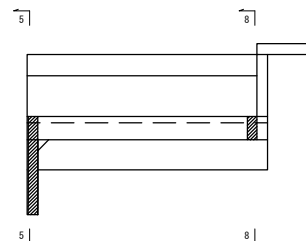


( ) 内はD13鉄筋の数を表す。

8-8



位置図



注1) ◎印鉄筋はエポキシ樹脂塗装鉄筋とする。  
 注2) ※印鉄筋は上部工施工鉄筋を示す。  
 注3) 鉄筋長は四捨五入の10mm丸とする。

道 交 自 動 車 道 ト マ ム イ シ 工 事			
図面の種類	久我の沢川橋（下り線） A1橋台配筋図（その 1 1）		
縮 尺	図示	図面番号	22 / 73
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		



鉄筋表（下部工施工）

符号	径	長さ(mm)	本数	単筋重量(kg)	本数×重量(kg)	総重量(kg)	摘要
P	1	D32	4290	75	6.23	26.7	2003
2	D32	3960	40	6.23	24.7	988	└ 平均長
3	D19	11340	19	2.25	25.5	485	└ 平均長
4	D19	11330	7	2.25	25.5	179	└ 平均長
5	D19	11100	3	2.25	25.0	75	└ 平均長
6	D19	890	108	2.25	2.00	216	C 平均長 [108]
7	D16	2560	40	1.56	3.99	160	└ 平均長
8	D16	11100	4	1.56	17.3	69	└ 平均長
9	D16	3130	1	1.56	4.88	5	└ 平均長
10	D16	3560	1	1.56	5.55	6	└ 平均長
							4186 kg
A	1	D25	3590	38	3.98	14.3	543
2	D19	3510	38	2.25	7.90	300	└ 平均長
3	D16	11510	5	1.56	18.0	90	└ 平均長
4	D16	6650	1	1.56	10.4	10	└ 平均長
5	D16	11510	1	1.56	18.0	18	└ 平均長
6	D16	11510	5	1.56	18.0	90	└ 平均長
7	D16	6650	1	1.56	10.4	10	└ 平均長
8	D16	11510	1	1.56	18.0	18	└ 平均長
9	D16	3050	31	1.56	4.76	148	C 平均長 [31]
10	D16	3250	9	1.56	5.07	46	└ 平均長
11	D16	3640	9	1.56	5.68	51	└ 平均長
							1324 kg
F	1	D29	8220	42	5.04	41.4	1739
2	D22	5780	42	3.04	17.6	739	└ 平均長
3	D19	11090	21	2.25	25.0	525	└ 平均長
4	D16	11090	11	1.56	17.3	190	└ 平均長
5	D16	1820	39	1.56	2.84	111	C 平均長 [39]
6	D19	5740	14	2.25	12.9	181	└ 平均長
7	D19	11070	14	2.25	24.9	349	└ 平均長
8	D16	2040	4	1.56	3.18	13	└ 平均長
9	D16	2040	6	1.56	3.18	19	└ 平均長
							3866 kg
E	1	D16	2930	33	1.56	4.57	151
2	D16	10150	5	1.56	15.8	79	└ 平均長
3	D22	520	13	3.04	1.58	21	└ 平均長
4	D13	1590	13	0.995	1.58	21	└ 平均長
5	D16	820	1	1.56	1.28	1	└ 平均長
6	D16	910	1	1.56	1.42	1	└ 平均長
							274 kg
D	1	D25	5820	2	3.98	23.2	46
2	D25	5260	3	3.98	20.9	63	└ 平均長
3	D25	3210	8	3.98	12.8	102	└ 平均長
4	D16	5820	2	1.56	9.08	18	└ 平均長
5	D16	4570	3	1.56	7.13	21	└ 平均長
6	D16	2570	8	1.56	4.01	32	└ 平均長
7	D22	2240	7	3.04	6.91	46	└ 平均長
8	D22	5170	6	3.04	15.7	94	└ 平均長
9	D22	5330	8	3.04	16.2	130	└ 平均長
10	D16	1260	7	1.56	1.97	14	└ 平均長
11	D16	4730	6	1.56	7.38	44	└ 平均長
12	D16	4730	8	1.56	7.38	59	└ 平均長
13	D13	680	15	0.995	0.677	10	└ 平均長
14	D16	700	11	1.56	1.09	12	└ 平均長
							693 kg

機械式鉄筋定着工法数量表（箇所数）-下部工施工（普通鉄筋）

鉄筋径	0<L≤1m	1m<L≤2m	2m<L≤3m	3m<L≤4m	4m<L≤5m	5m<L≤6m	6m<L≤7m	7m<L≤8m	8m<L≤9m	9m<L≤10m
D13										
D16		39								
D19										
D22										
D25										
小計		39								
合計										39

鉄筋表（下部工施工）

符号	径	長さ(mm)	本数	単筋重量(kg)	本数×重量(kg)	総重量(kg)	摘要
WL	1	D16	6570	5	1.56	10.2	51
2	D16	6570	5	1.56	10.2	51	└ 平均長
3	D16	4430	5	1.56	6.91	35	└ 平均長
4	D16	2220	3	1.56	3.46	10	└ 平均長
5	D16	3290	6	1.56	5.13	31	└ 平均長
6	D16	4320	1	1.56	6.74	7	└ 平均長
7	D16	4200	1	1.56	6.55	7	└ 平均長
8	D16	4200	1	1.56	6.55	7	└ 平均長
9	D16	4430	5	1.56	6.91	35	└ 平均長
10	D16	2220	3	1.56	3.46	10	└ 平均長
11	D16	3340	6	1.56	5.21	31	└ 平均長
12	D16	4690	1	1.56	7.32	7	└ 平均長
13	D16	4200	1	1.56	6.55	7	└ 平均長
14	D16	4200	1	1.56	6.55	7	└ 平均長
15	D13	680	14	0.995	0.677	9	└ 平均長
16	D16	1410	7	1.56	2.20	15	└ 平均長
17	D16	1410	7	1.56	2.20	15	└ 平均長
18	D16	5660	5	1.56	8.83	44	└ 平均長
19	D16	2540	8	1.56	3.96	32	└ 平均長
20	D16	3830	1	1.56	5.97	6	└ 平均長
21	D16	3830	1	1.56	5.97	6	└ 平均長
22	D16	700	13	1.56	1.09	14	└ 平均長
23	D16	740	16	1.56	1.15	18	└ 平均長
24	D16	4420	2	1.56	6.90	14	└ 平均長
							469 kg
B	1	D16	5820	6	1.56	9.08	54
2	D16	3830	2	1.56	5.97	12	└ 平均長
3	D16	2530	1	1.56	3.95	4	└ 平均長
4	D16	5820	6	1.56	9.08	54	└ 平均長
5	D16	3830	2	1.56	5.97	12	└ 平均長
6	D16	2530	1	1.56	3.95	4	└ 平均長
7	D22	2830	7	3.04	8.60	60	└ 平均長
8	D22	3090	13	3.04	9.39	122	└ 平均長
9	D16	1000	1	1.56	1.56	2	└ 平均長
10	D16	2370	7	1.56	3.70	26	└ 平均長
11	D16	2740	13	1.56	4.27	56	└ 平均長
12	D16	1000	1	1.56	1.56	2	└ 平均長
13	D13	680	17	0.995	0.677	12	└ 平均長
14	D16	700	8	1.56	1.09	9	└ 平均長
15	D16	700	9	1.56	1.09	10	└ 平均長
16	D16	730	18	1.56	1.14	21	└ 平均長
							460 kg
S	1-1	D16	8000	6	1.56	12.5	75
1-2	D16	4750	6	1.56	7.41	44	└ 平均長
1-3	D16	8000	5	1.56	12.5	63	└ 平均長
1-4	D16	4750	5	1.56	7.41	37	└ 平均長
2	D16	3770	43	1.56	5.88	263	└ 平均長
3	D16	3050	43	1.56	4.76	205	C 平均長 [43]
							677 kg
H	1	D16	2480	21	1.56	3.87	81
2	D16	2580	30	1.56	4.02	121	└ 平均長
3	D16	3040	12	1.56	4.74	57	└ 平均長
							259 kg
Y	1	D16	500	32	1.56	0.780	25
							25 kg

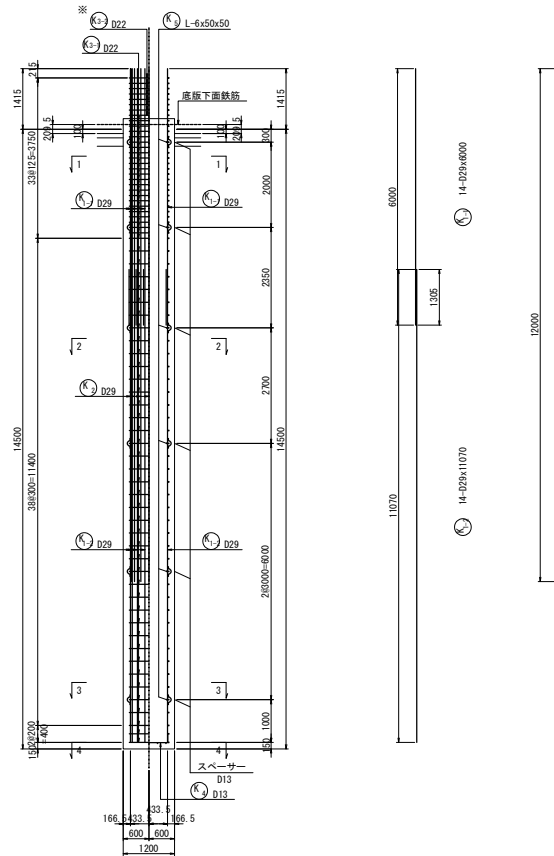
機械式鉄筋定着工法数量表（箇所数）-下部工施工（エポキシ樹脂塗装鉄筋）

鉄筋径	0<L≤1m	1m<L≤2m	2m<L≤3m	3m<L≤4m	4m<L≤5m	5m<L≤6m	6m<L≤7m	7m<L≤8m	8m<L≤9m	9m<L≤10m
D13										
D16				74						
D19		108								
D22										
D25										
小計		108		74						
合計										182

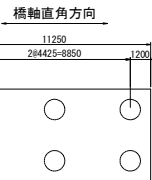
鉄筋表（下部工施工）

符号	径	長さ (mm)	本数	単筋重量 (kg)	本数×重量 (kg)	総重量 (kg)	換算
U	1	D13	1600	66	0.995	1.59	105 U
2	D13	1000	66	0.995	0.995	66	I
3	D16	860	2	1.56	1.34	3	J
4	D16	850	2	1.56	1.33	3	I
5	D16	840	2	1.56	1.31	3	I
6	D16	1220	2	1.56	1.90	4	L
							184 kg
KL	1	D16	2450	17	1.56	3.82	65 U
2	D16	1390	17	1.56	2.17	37	J
3	D13	2020	19	0.995	2.01	38	U
4	D13	1240	19	0.995	1.23	23	U
							163 kg
KR	1	D16	2450	8	1.56	3.82	31 J
2	D16	1390	8	1.56	2.17	17	I
							48 kg
下部工施工鉄筋重量							
普通鉄筋							
SD34S		A種鉄筋	B種鉄筋	C種鉄筋	合計	(機械継手) (機械定着)	
D35						kg	
D32		2991			2991	kg	
D29		1739			1739	kg	
D25		754			754	kg	
D22		760			760	kg	
D19		1355			1355	kg	
D16		1317	111	1428	kg	[39]	
D13		201		201	kg		
合 計		9117	111	9228	kg	[39]	
下部工施工鉄筋重量							
エポキシ樹脂塗装鉄筋							
SD34S		A種鉄筋	B種鉄筋	C種鉄筋	合計	(機械継手) (機械定着)	
D35						kg	
D32						kg	
D29						kg	
D25						kg	
D22		454			454	kg	
D19		739	216	955	kg	[108]	
D16		1555	353	1908	kg	[174]	
D13		83		83	kg		
合 計		2831	569	3400	kg	[182]	
下部工施工鉄筋総重量							
総合計							
SD34S		A種鉄筋	B種鉄筋	C種鉄筋	合計	(機械継手) (機械定着)	
D35						kg	
D32		2991			2991	kg	
D29		1739			1739	kg	
D25		754			754	kg	
D22		1214			1214	kg	
D19		2094	216	2310	kg	[108]	
D16		2872	464	3336	kg	[113]	
D13		284		284	kg		
合 計		11948	680	12628	kg	[221]	

4 - 4 5 - 5

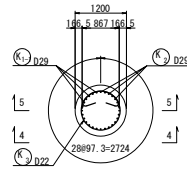


位置図

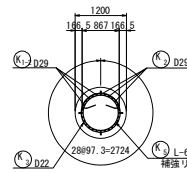


橋軸方向

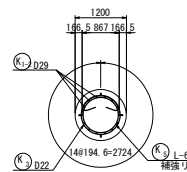
1 - 1



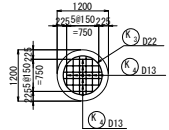
2 - 2



3 - 3

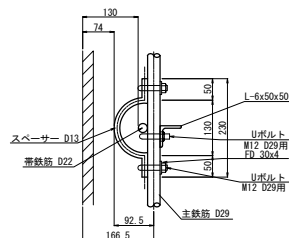


4 - 4

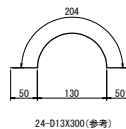


記号	径	本数	a	L
1	D13	4	466	820
2	D13	4	760	1120
3	D13	4	870	1230
平均長		12		1060

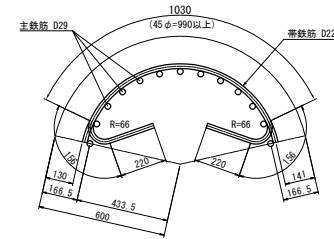
スパーサー詳細図 S=1:5



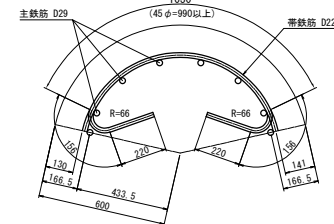
スパーサー詳細図 S=1:10



かぶり詳細図 S=1:25

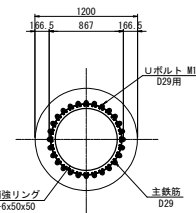
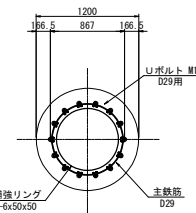


注) 帯鉄筋の重ね継手は一段毎に180°ずらして配置するものとする。



注) 帯鉄筋の重ね継手は一段毎に180°ずらして配置するものとする。

固定金具配置図 S=1:50

主鉄筋 (D29=28本)  
(n=5箇所)主鉄筋 (D29=14本)  
(n=1箇所)

鉄筋表

符号	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	総質量 (kg)	摘要
主鉄筋							
K 1-1	D29	6000	14	5.04	30.2	423	—
K 1-2	D29	11070	14	5.04	55.8	781	—
K 2	D29	12000	14	5.04	60.5	847	—
K 3-1	D22	4670	63	3.04	14.2	895	○
K 4	D13	1060	12	0.995	1.05	13	— (平均長)
						2959	kg

杭本体部合計 (SD345)		1本当たり		1基当たり	
D29	2051	kg	× 6 =	12306	kg
D22	895	kg	× 6 =	5370	kg
D13	13	kg	× 6 =	78	kg
合計	2959	kg	× 6 =	17754	kg

A鉄筋 (SD345)								
※	K 3-2	D22	4670	8	3.04	14.2	114	⊙
							114	kg

杭頭部合計		1本当たり		1基当たり	
D22	114	kg	× 6 =	684	kg
合計	114	kg	× 6 =	684	kg

補強リング・固定金具

(杭1本当り)

種別	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
K4 L-6x50x50	2633	6	4.43	11.67	70	補強リング (D29用)
Uボルト	154	—	—	—	—	主鉄筋と補強リングの固定 (D29用)

注) Uボルト規格

D29用、S5400、変形時荷重30kN以上

場所打ち杭コンクリート鉄筋かご無溶接工法 設計・施工に関するガイドラインに準拠

スパーサー・固定金具

(杭1本当り)

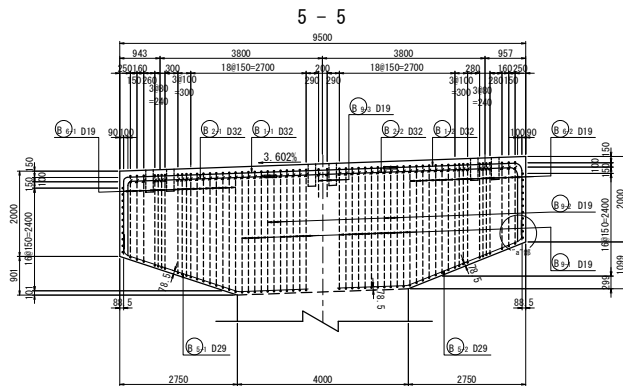
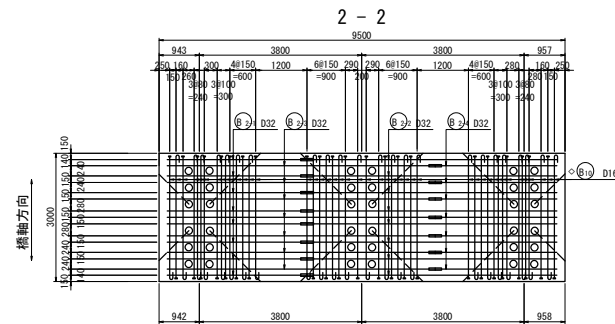
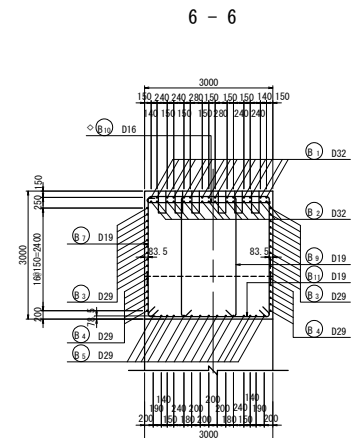
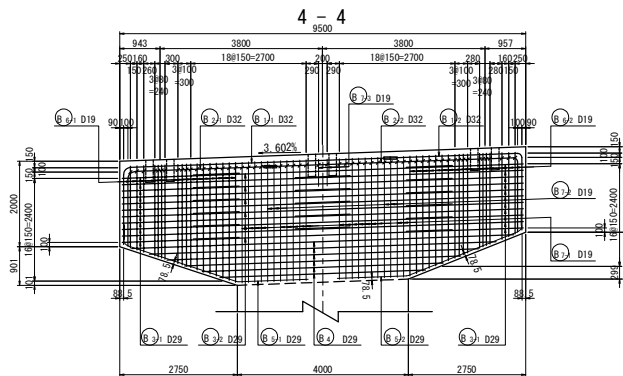
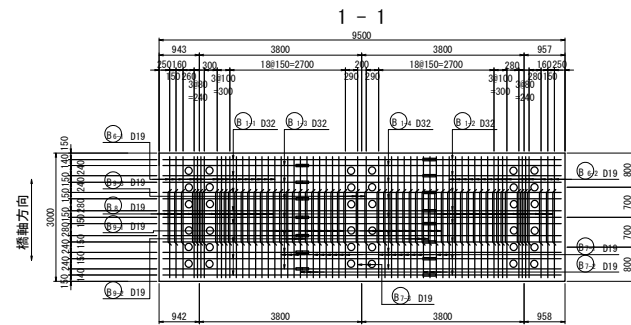
種別	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
スパーサー-D13	300	24	0.995	0.238	7	SD345 (D29用)
Uボルト	48	—	—	—	—	スパーサーと主鉄筋の固定 (D29用)
FD30x4	—	48	—	—	—	—

鉄筋加工寸法表 (SD345)

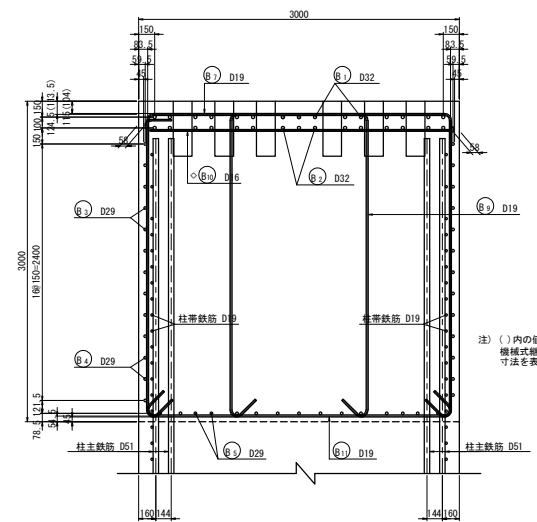
主筋		中間帯フック		直角フック		
主筋		中間帯フック		直角フック		
径	$\theta \leq 90^\circ$ $R=3.5\phi$	$\theta > 90^\circ$ $R=5.5\phi$	$\theta = 45^\circ$	$\theta = 60^\circ$	$\theta = 90^\circ$	$\theta = 135^\circ$
	a	a	a	a	a	a
	$\Delta L$	$\Delta L$	$\Delta L$	$\Delta L$	$\Delta L$	$\Delta L$
D13	39	71.5	92	53	61	17
D16	48	88	113	119	100	21
D19	57	104.5	134	141	119	78
D22	66	121	155	164	138	91
D25	75	137.5	177	185	157	103
D29	87	159.5	205	215	182	119
D32	96	176	226	237	201	132
D35	105	192.5	247	260	220	144
D38	114	209	269	281	239	156
D41	123	225.5	290	304	258	168
主筋		中間帯フック		直角フック		
径	a	a	a	a	a	
	$\Delta L$	$\Delta L$	$\Delta L$	$\Delta L$	$\Delta L$	
D13	39	92	123	61	17	
D16	48	113	151	75	21	
D19	57	134	179	89	25	
D22	66	156	207	104	28	
D25	75	177	236	118	32	
D29	87	205	273	137	37	

注) ※はA鉄筋を示し、○はY鉄筋を示す。  
注) 鉄筋長は四捨五入の10mm丸とする。

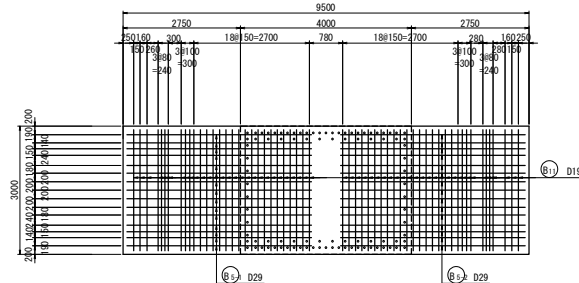
道 交 自 動 車 道 ト マ ム イ C 工 事			
図面の種類	久我の沢川橋 (下り線) A1橋台場所打ち杭配筋図		
縮 尺	図示	図面番号	24 / 73
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		



かぶり詳細図 S= 1:50

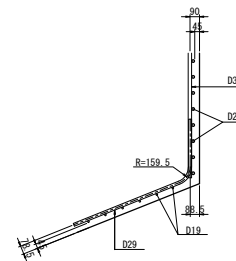
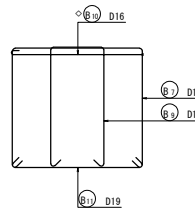


3 - 3

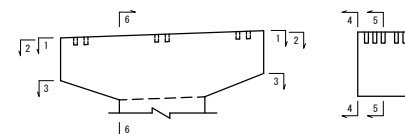


"a"部詳細図 S= 1:50

帯鉄筋組立図

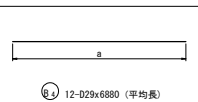
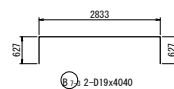
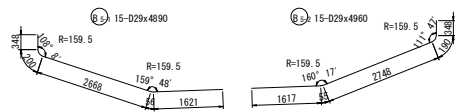
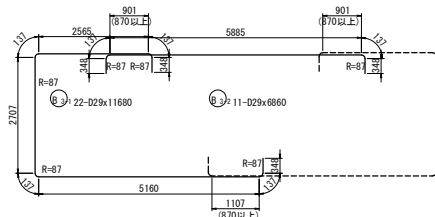
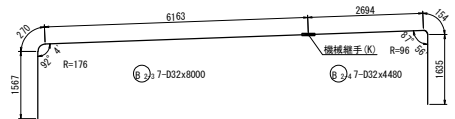
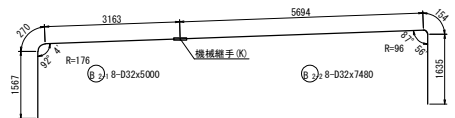
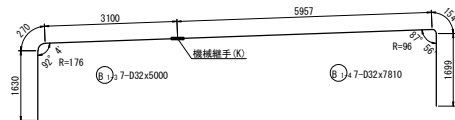
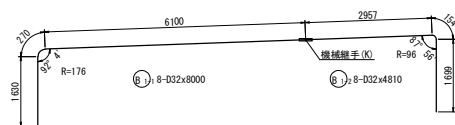


位置図

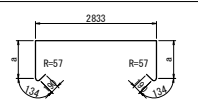


注1) ◇印表記は機械式鉄筋定着工法を示す。  
 注2) 鉄筋長は四捨五入の10mm丸めとする。

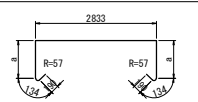
道 交 自 動 車 道 ト マ ム イ シ 工 事			
久我の沢川橋（下り線） P1橋脚配筋図（その1）			
縮 尺	図 示	図面番号	25 / 73
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工務事務所		



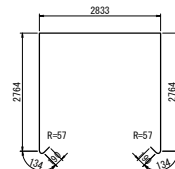
記号	径	本数	a	L
1	D29	2	4814	4810
2	D29	2	5638	5640
3	D29	2	6464	6460
4	D29	2	7289	7290
5	D29	2	8114	8110
6	D29	2	8939	8940
平均長		12		6880



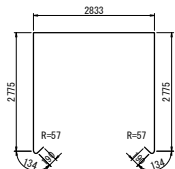
記号	径	本数	a	L
1	D19	1	1852	7140
2	D19	1	1907	7250
3	D19	1	1965	7360
4	D19	1	2059	7550
5	D19	1	2088	7610
6	D19	1	2117	7670
7	D19	1	2147	7720
8	D19	1	2256	7940
9	D19	1	2292	8020
10	D19	1	2328	8090
11	D19	1	2365	8160
12	D19	1	2419	8270
13	D19	1	2474	8380
14	D19	1	2528	8490
15	D19	1	2583	8600
16	D19	1	2637	8710
17	D19	1	2692	8820
18	D19	1	2747	8930
平均長		18		8040



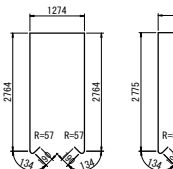
記号	径	本数	a	L
1	D19	1	1851	7130
2	D19	1	1905	7240
3	D19	1	1963	7360
4	D19	1	2067	7570
5	D19	1	2095	7620
6	D19	1	2124	7680
7	D19	1	2153	7740
8	D19	1	2254	7940
9	D19	1	2291	8010
10	D19	1	2327	8090
11	D19	1	2363	8160
12	D19	1	2418	8270
13	D19	1	2472	8380
14	D19	1	2527	8490
15	D19	1	2581	8590
16	D19	1	2636	8700
17	D19	1	2691	8810
18	D19	1	2745	8920
平均長		18		8040



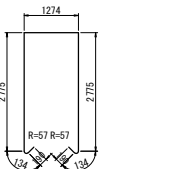
⑧ 18-D19x8960



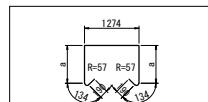
⑧ 4-D19x8980



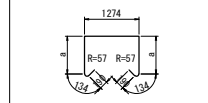
⑧ 18-D19x7400



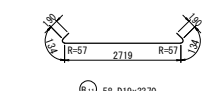
⑧ 4-D19x7420



記号	径	本数	a	L
1	D19	1	1852	5580
2	D19	1	1907	5690
3	D19	1	1965	5800
4	D19	1	2059	5990
5	D19	1	2088	6050
6	D19	1	2117	6110
7	D19	1	2147	6170
8	D19	1	2256	6380
9	D19	1	2292	6460
10	D19	1	2328	6530
11	D19	1	2365	6600
12	D19	1	2419	6710
13	D19	1	2474	6820
14	D19	1	2528	6930
15	D19	1	2583	7040
16	D19	1	2637	7150
17	D19	1	2692	7260
18	D19	1	2747	7370
平均長		18		6480



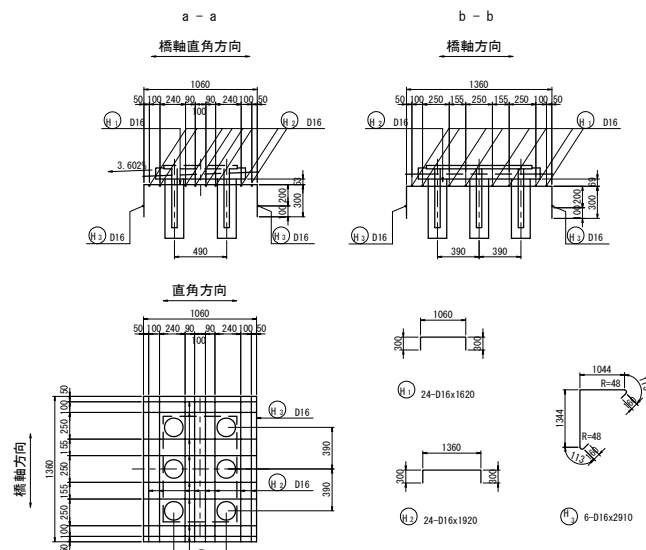
記号	径	本数	a	L
1	D19	1	1851	5570
2	D19	1	1905	5680
3	D19	1	1963	5800
4	D19	1	2067	6010
5	D19	1	2095	6060
6	D19	1	2124	6120
7	D19	1	2153	6180
8	D19	1	2254	6380
9	D19	1	2291	6450
10	D19	1	2327	6530
11	D19	1	2363	6600
12	D19	1	2418	6710
13	D19	1	2472	6820
14	D19	1	2527	6930
15	D19	1	2581	7030
16	D19	1	2636	7140
17	D19	1	2691	7250
18	D19	1	2745	7360
平均長		18		6480



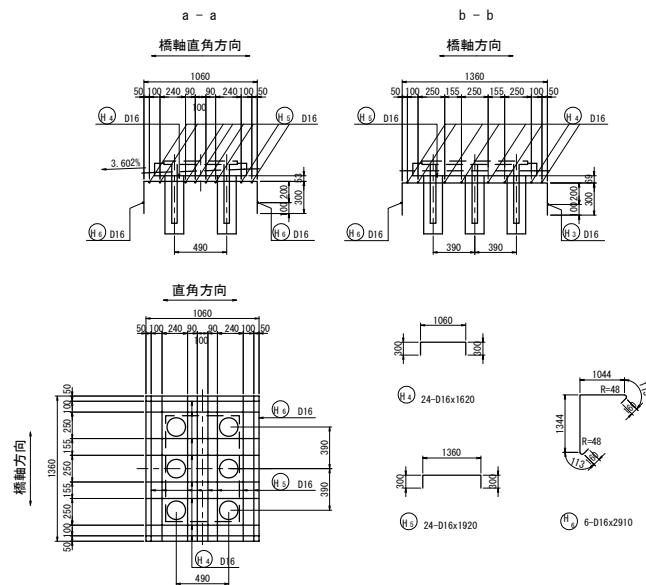
⑧ 58-D19x3370

支承销抜き補強配筋図

A1橋台側(3箇所)

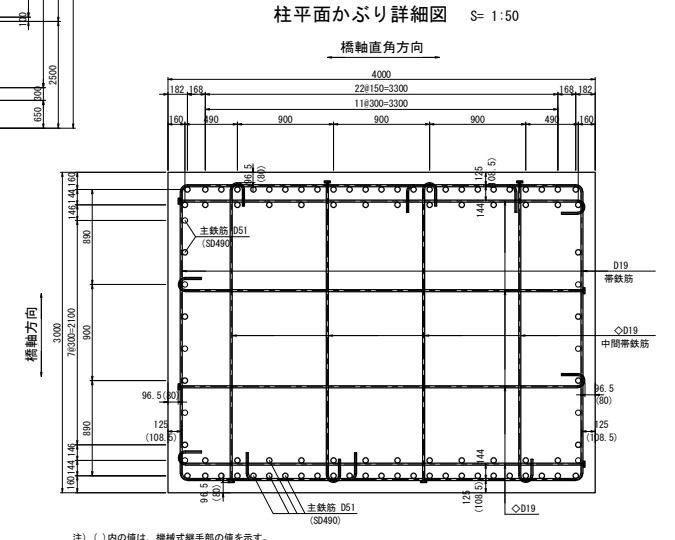
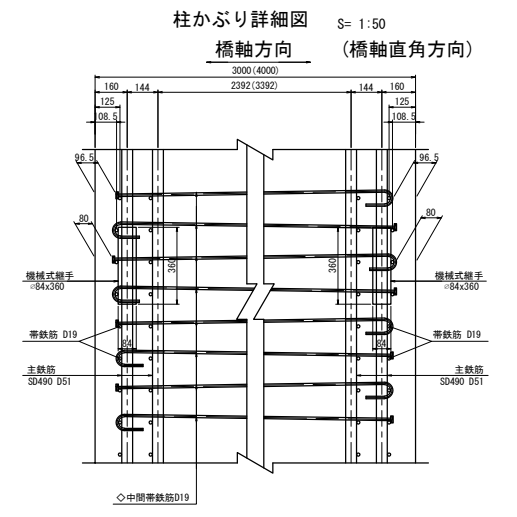
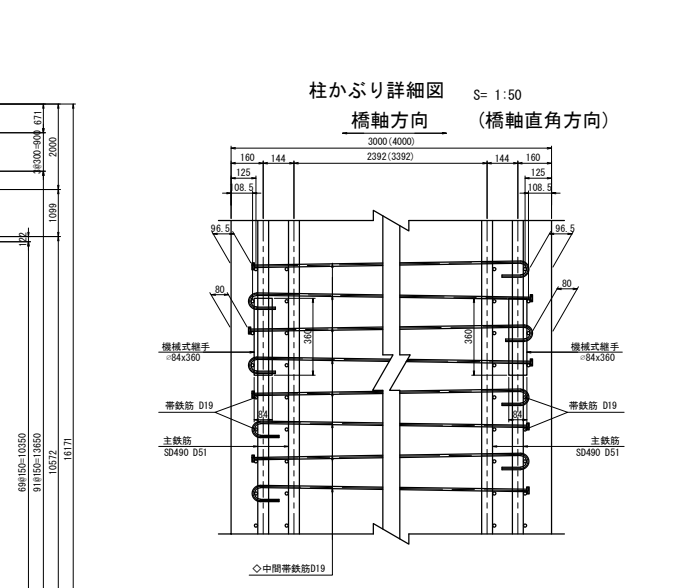
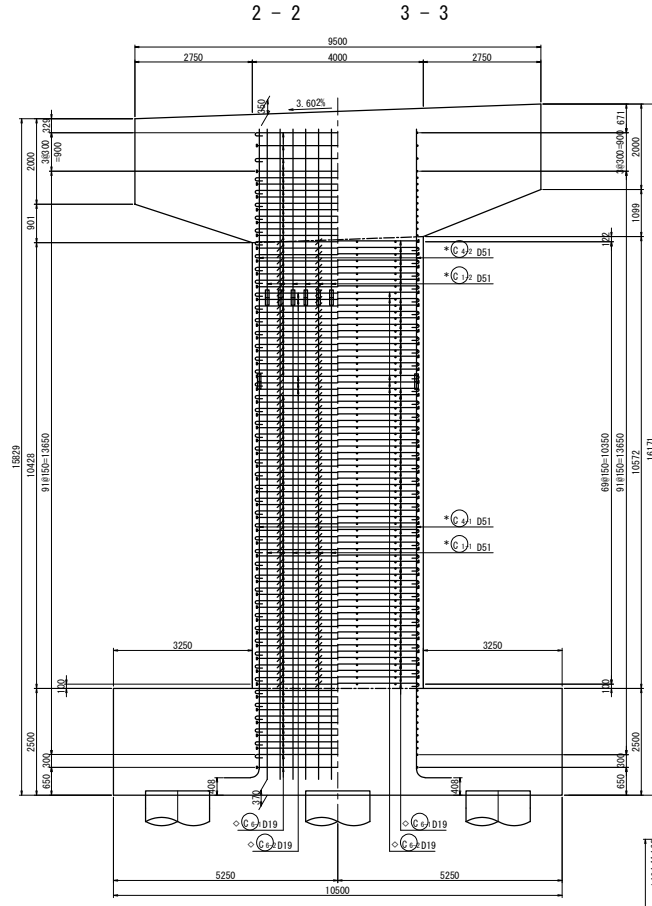
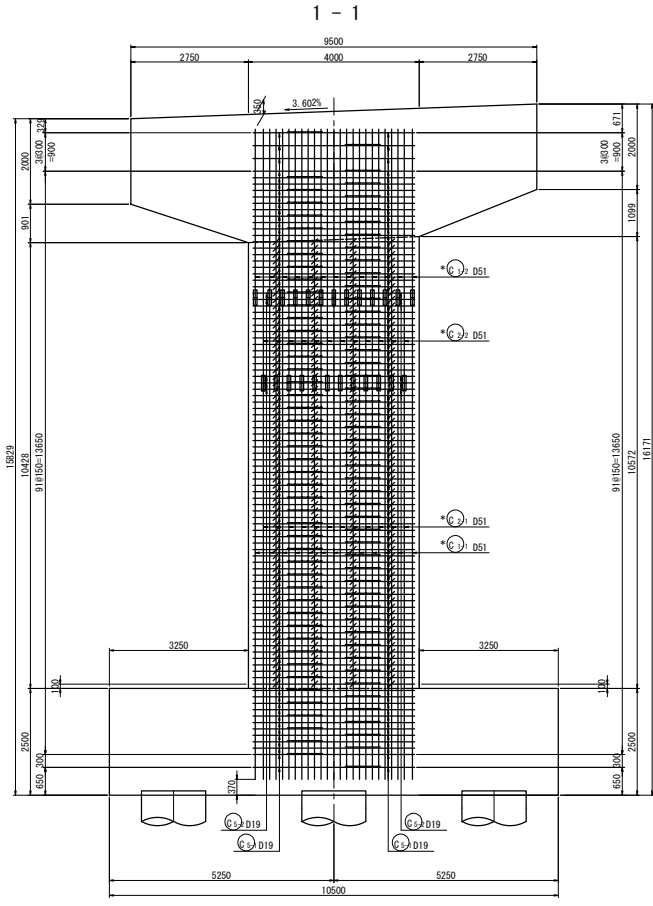


P2橋脚側(3箇所)

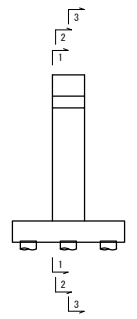


道交自動車道 トマムIC工事			
久我の沢川橋（下り線） P1橋脚配筋図（その2）			
図面の種類	図示	図面番号	26 / 73
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所		
施工会社名	施工会社名		
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

注1) ◇印表記は機械式鉄筋定着工法を示す。  
注2) 鉄筋長は四捨五入の10mm丸めとする。



位置図

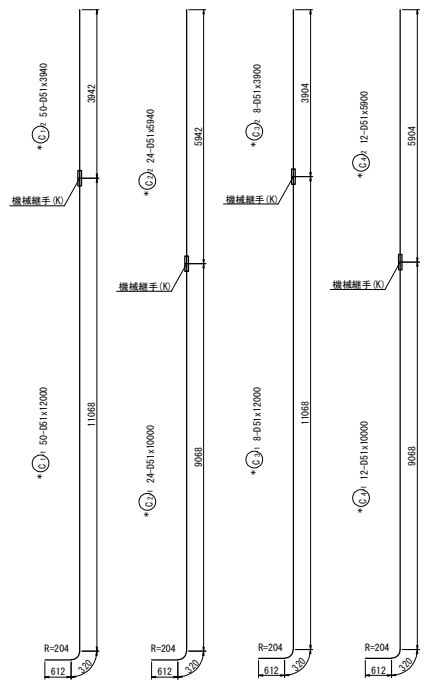
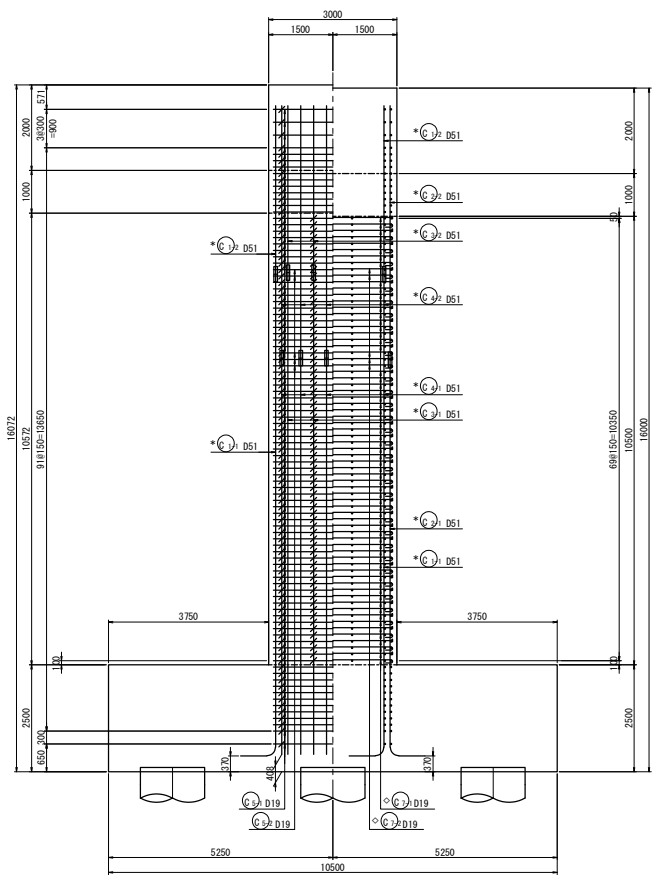


注) ( ) 内の値は、機械式継手部の値を示す。

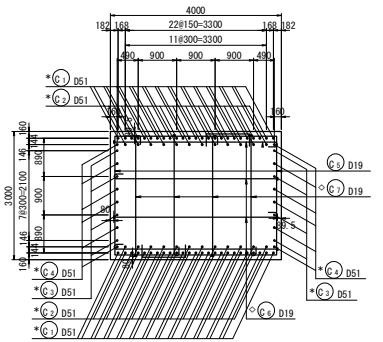
注) 鉄筋長は四捨五入の10mm丸めとする。  
\* 印の鉄筋はSD490鉄筋を示す。

道 交 自 動 車 道 ト マ ム イ 工 事			
久我の沢川橋（下り線） P1橋脚配筋図（その3）			
縮 尺	図 示	図面番号	27 / 73
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

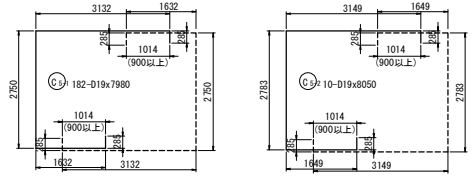
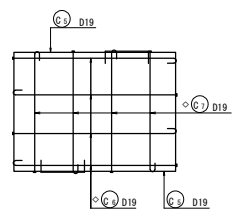
1 - 1 2 - 2



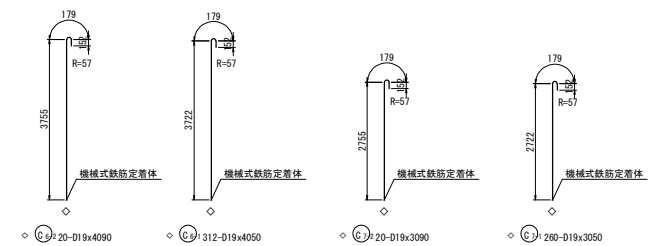
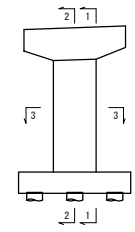
3 - 3  
橋軸直角方向



帯鉄筋組立図



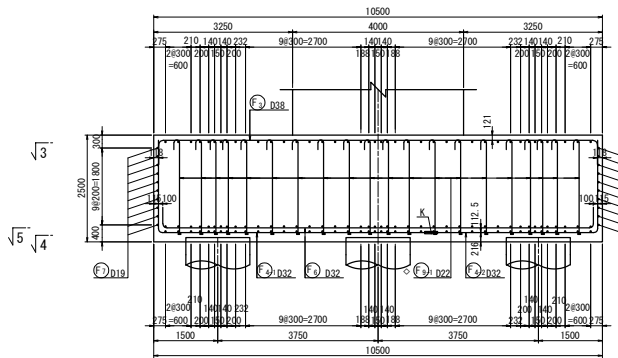
位置図



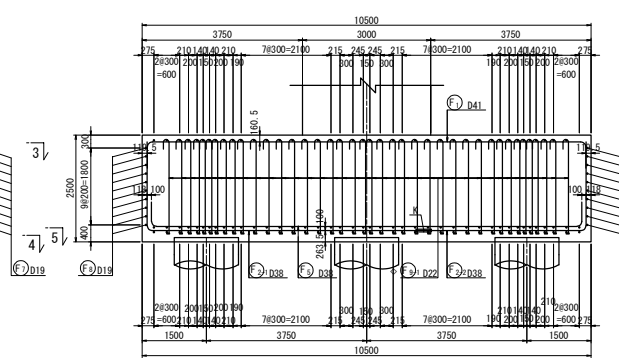
注1) ◇印表記は機械式鉄筋定着工法を示す。  
注2) 鉄筋表は四捨五入の10mm丸めとする。  
\* 印の鉄筋はSD490鉄筋を示す。

道 交 自 動 車 道 ト マ ム イ シ ャ 工 事			
図面の種類	久我の沢川橋（下り線） P1橋脚配筋図（その4）		
	縮 尺	図 示	図面番号 28 / 73
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 北海道支社		
事務所名	帯広工事事務所		

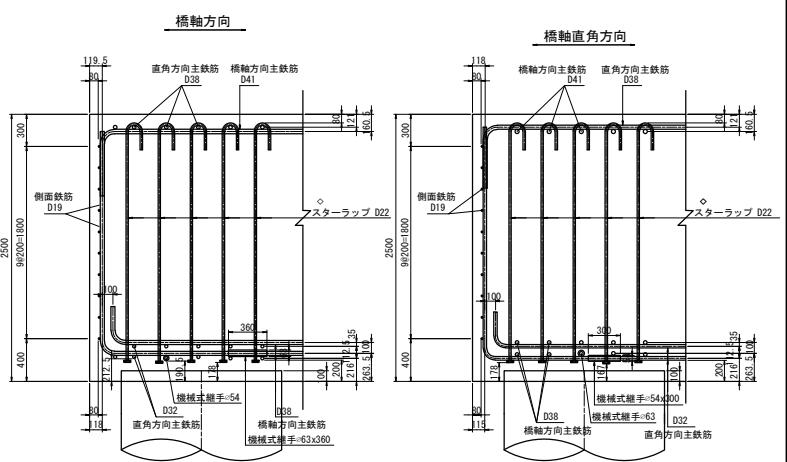
橋軸直角方向  
1 - 1



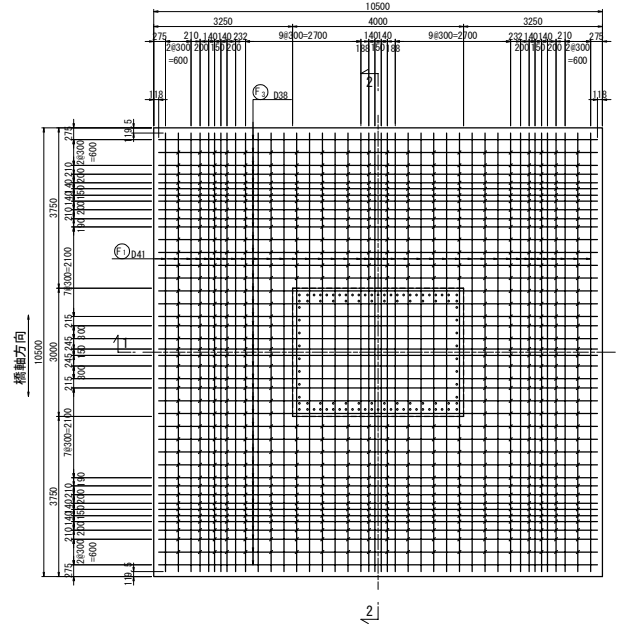
橋軸方向  
2 - 2



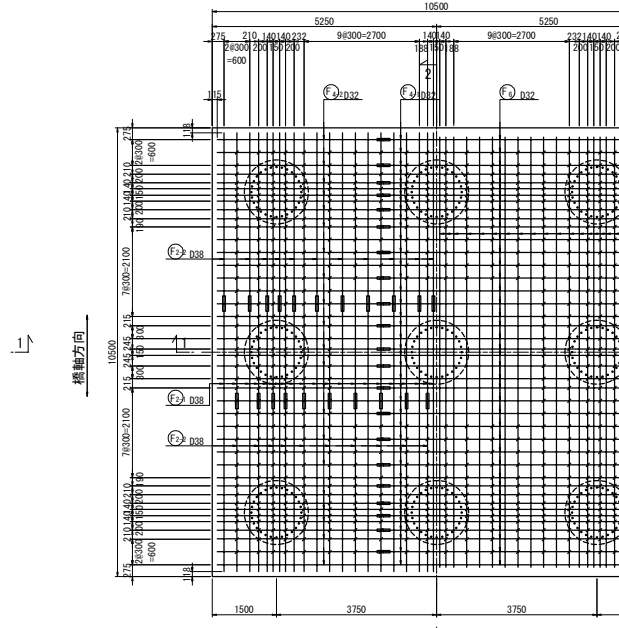
かぶり詳細図 S=1:50



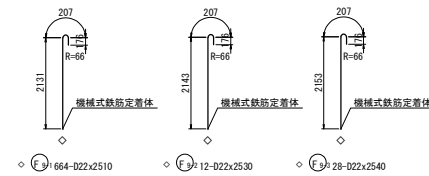
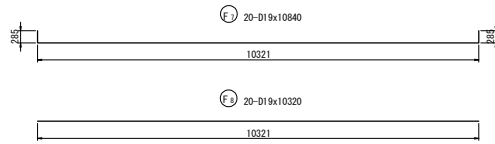
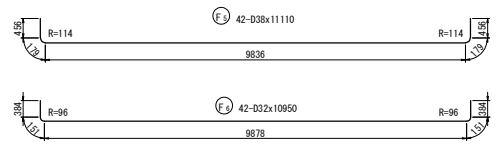
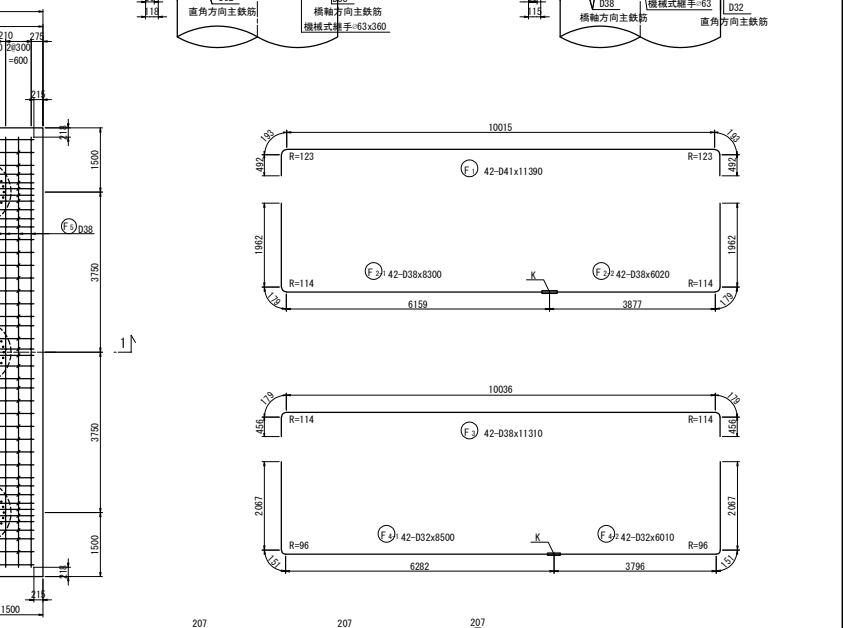
3 - 3



4 - 4  
(1段目)



5 - 5  
(2段目)



注1) ◇印表記は機械式鉄筋定着工法を示す。

道 交 自 動 車 道 ト マ ム I C 工 事	
図面の種類	久我の沢川橋（下り線） P1橋脚配筋図（その5）
縮 尺	図 示
図 示	図面番号 29 / 73
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工務事務所

鉄筋表（下部工施工）

符号	径	長さ(mm)	本数	単位重量(kg/m)	本数×単位重量(kg)	総質量(kg)	換算
B 1-1	D32	8000	8	6.23	49.8	398	▽ B<B>
B 1-2	D32	4810	8	6.23	30.0	240	▽ B<▽>
B 1-3	D32	5000	7	6.23	31.2	218	▽ B<▽>
B 1-4	D32	7810	7	6.23	48.7	341	▽ B<▽>
B 2-1	D32	5000	8	6.23	31.2	250	▽ B<B>
B 2-2	D32	7480	8	6.23	46.6	373	▽ B<▽>
B 2-3	D32	8000	7	6.23	49.8	349	▽ B<▽>
B 2-4	D32	4480	7	6.23	27.9	195	▽ B<▽>
B 3-1	D29	11680	22	5.04	58.9	1296	▽ B<▽>
B 3-2	D29	6860	11	5.04	34.6	381	▽ B<▽>
B 4	D29	6880	12	5.04	34.7	416	▽ B<▽>
B 5-1	D29	4890	15	5.04	24.6	369	▽ B<▽>
B 5-2	D29	4960	15	5.04	25.0	375	▽ B<▽>
B 6-1	D19	8040	18	2.25	18.1	326	▽ B<▽>
B 6-2	D19	8040	18	2.25	18.1	326	▽ B<▽>
B 7-1	D19	8960	18	2.25	20.2	364	▽ B<▽>
B 7-2	D19	8980	4	2.25	20.2	81	▽ B<▽>
B 7-3	D19	4040	2	2.25	9.09	18	▽ B<▽>
B 8-1	D19	6480	18	2.25	14.6	263	▽ B<▽>
B 8-2	D19	6480	18	2.25	14.6	263	▽ B<▽>
B 9-1	D19	7400	18	2.25	16.7	301	▽ B<▽>
B 9-2	D19	7420	4	2.25	16.7	67	▽ B<▽>
B 9-3	D19	2480	2	2.25	5.58	11	▽ B<▽>
B 10	D16	3090	46	1.56	4.82	222	▽ B<▽>
B 11	D19	3370	58	2.25	7.58	440	▽ B<▽>
7883 kg							
H 1	D16	1620	24	1.56	2.53	61	▽ B<▽>
H 2	D16	1920	24	1.56	3.00	72	▽ B<▽>
H 3	D16	2910	6	1.56	4.54	27	▽ B<▽>
H 4	D16	1620	24	1.56	2.53	61	▽ B<▽>
H 5	D16	1920	24	1.56	3.00	72	▽ B<▽>
H 6	D16	2910	6	1.56	4.54	27	▽ B<▽>
320 kg							
* C 1-1	D51	12000	50	15.9	191	9550	▽ B<▽>
* C 1-2	D51	3940	50	15.9	62.6	3130	▽ B<▽>
* C 2-1	D51	10000	24	15.9	159	3816	▽ B<▽>
* C 2-2	D51	5940	24	15.9	94.4	2266	▽ B<▽>
* C 3-1	D51	12000	8	15.9	191	1528	▽ B<▽>
* C 3-2	D51	3900	8	15.9	62.0	496	▽ B<▽>
* C 4-1	D51	10000	12	15.9	159	1908	▽ B<▽>
* C 4-2	D51	5900	12	15.9	93.8	1126	▽ B<▽>
* C 5-1	D19	7880	182	2.25	18.0	3276	▽ B<▽>
* C 5-2	D19	8050	10	2.25	18.1	181	▽ B<▽>
◇ C 6-1	D19	4050	312	2.25	9.11	2842	▽ B<▽>
◇ C 6-2	D19	4090	20	2.25	9.20	184	▽ B<▽>
◇ C 7-1	D19	3050	260	2.25	6.86	1784	▽ B<▽>
◇ C 7-2	D19	3090	20	2.25	6.95	139	▽ B<▽>
32226 kg							
F 1	D41	11390	42	10.5	120	5040	▽ B<▽>
F 2-1	D38	8300	42	8.95	74.3	3121	▽ B<▽>
F 2-2	D38	6020	42	8.95	53.9	2264	▽ B<▽>
F 3	D38	11310	42	8.95	101	4242	▽ B<▽>
F 4-1	D32	8500	42	6.23	53.0	2226	▽ B<▽>
F 4-2	D32	6010	42	6.23	37.4	1571	▽ B<▽>
F 5	D38	11110	42	8.95	99.4	4175	▽ B<▽>
F 6	D32	10950	42	6.23	68.2	2864	▽ B<▽>
F 7	D19	10840	20	2.25	24.4	488	▽ B<▽>
F 8	D19	10320	20	2.25	23.2	464	▽ B<▽>
◇ F 9-1	D22	2510	664	3.04	7.63	5066	▽ B<▽>
◇ F 9-2	D22	2530	12	3.04	7.69	92	▽ B<▽>
◇ F 9-3	D22	2540	28	3.04	7.72	216	▽ B<▽>
31829 kg							
鉄筋質量集計(下部工施工) (SD490)							
A種鉄筋				B種鉄筋	C種鉄筋	合計	<機械式継手箇所数>
D51				23820 kg	—	23820 kg	<94>
合 計				23820 kg	—	23820 kg	<94>
鉄筋質量集計(下部工施工) (SD345)							
A種鉄筋				B種鉄筋	C種鉄筋	合計	<機械式継手箇所数>
D41				5040 kg	—	5040 kg	<42>
D38				8417 kg	5385 kg	13802 kg	<42>
D32				2864 kg	6161 kg	9025 kg	<72>
D29				2837 kg	—	2837 kg	<72>
D22				—	5374 kg	5374 kg	(704)
D19				6869 kg	—	6869 kg	(612)
D16				320 kg	222 kg	542 kg	(46)
合 計				26347 kg	11546 kg	48438 kg	<114>
( ) 内数値は、機械式鉄筋定着工法箇所数を示す。							
< > 内数値は、機械式継手の箇所数を示す。							

鉄筋集計表 (SD490)

種 別	下部工施工		合計 (kg)
	躯体	計 (kg)	
A (SD490)	D16	—	—
	D19	—	—
	D22	—	—
	D25	—	—
	小計	—	—
	D29	—	—
	D32	—	—
	小計	—	—
	D35	—	—
	D38	—	—
A の 合 計			—
B (SD490)	D16	—	—
	D19	—	—
	D22	—	—
	D25	—	—
	小計	—	—
	D29	—	—
	D32	—	—
	小計	—	—
	D35	—	—
	D38	—	—
B の 合 計			—
鉄筋総質量			23820 23820 23820

鉄筋集計表 (SD345)

種 別	下部工施工		合計 (kg)
	躯体	計 (kg)	
A (SD345)	D16	320	320
	D19	6869	6869
	D22	—	—
	D25	—	—
	小計	7189	7189
	D29	2837	2837
	D32	2864	2864
	小計	5701	5701
	D38	8417	8417
	D41	5040	5040
A の 合 計			26347
B (SD345)	D29	—	—
	D32	6161	6161
	小計	6161	6161
	D38	5385	5385
	B の 合 計	11546	11546
C (SD345)	D16	222	222
	D19	4949	4949
	D22	5374	5374
	D25	—	—
	小計	10545	10545
	C の 合 計	10545	10545
鉄筋総質量			48438 48438 48438

機械式継手箇所数

項目	鉄筋径	継手箇所数	合 計
機械式継手箇所数	D25	—	—
	D29	—	—
	D32	72	72
	D38	42	42
	D41	—	—
	D51	94	94
合 計		208	208

機械式鉄筋定着工法数量表

鉄筋径	0<L≤1m	1m<L≤2m	2m<L≤3m	3m<L≤4m	4m<L≤5m	5m<L≤6m
D16	—	—	—	46	—	—
D19	—	—	—	280	332	—
D22	—	—	704	—	—	—
合計						1362

鉄筋加工寸法表 (SD345)

主 筋		中間等鉄筋		半円型フック		直角フック	
径	θ ≤ 90° R=3.0φ	θ > 90° R=5.5φ	θ = 45°	θ = 60°	θ = 90°	θ = 135°	
D13	39	71.5	92	96	82	53	61
D16	48	88	113	119	100	66	75
D19	57	104.5	134	141	119	78	89
D22	66	121	155	164	138	91	104
D25	75	137.5	177	185	157	103	118
D29	87	159.5	205	215	182	119	137
D32	96	176	226	237	201	132	151
D35	105	192.5	247	260	220	144	165
D38	114	209	269	281	239	156	179
D41	123	225.5	290	304	258	168	193
D51	153	280.5	360	379	320	210	240

鉄筋加工寸法表 (SD490)

主 筋		θ = 90°		θ = 135°	
径	θ ≤ 90° R=4.0φ	θ > 90° R=5.5φ	a ΔL	a ΔL	a ΔL
D13	52	71.5	82	22	56
D16	64	88	101	27	69
D19	76	104.5	119	33	82
D22	88	121	138	38	95
D25	100	137.5	157	43	108
D29	116	159.5	182	50	125
D32	128	176	201	55	138
D35	140	192.5	220	60	151
D38	152	209	239	65	164
D51	204	280.5	320	88	220

注1) ◇印表記は機械式鉄筋定着工法を示す。  
注2) 鉄筋長は四捨五入の10mm丸めとする。  
注3) \* 印の鉄筋はSD490鉄筋を示す。

道 交 自 動 車 道 ト マ ム イ C 工 事				
久我の沢川橋（下り線） P1橋脚配筋図（その6）				
縮 尺	図 示	図面番号	30 / 73	
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所			



## 鉄筋表

符号	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	総質量 (kg)	摘要
主鉄筋 (SD345)							
K 1-1	D35	5000	28	7.51	37.6	1053	—
K 1-2	D35	9130	28	7.51	68.6	1921	—
K 2-1	D19	5440	47	2.25	12.2	573	○
K 2-2	D13	1370	14	0.995	1.36	19	— (平均長)
						3566 kg	

杭本体部合計							
1本当たり				1基当たり			
D35				2974 kg	× 9 =	26766 kg	
D19				573 kg	× 9 =	5157 kg	
D13				19 kg	× 9 =	171 kg	
合 計				3566 kg	× 9 =	32094 kg	

A鉄筋 (SD345)							
K 2-2	D19	5440	10	2.25	12.2	122	○
						122 kg	

杭頭部合計							
1本当たり				1基当たり			
D19				122 kg	× 9 =	1098 kg	
合 計				122 kg	× 9 =	1098 kg	

## 補強リング・固定金具

(杭1本当り)

種 別	長 さ (mm)	本 数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質 量 (kg)	摘 要
K4 L-6x50x50	5	5	4.43	15.75	79	補強リング (D35用)
Uボルト	—	140	—	—	—	主鉄筋と補強リングの固定 (D35用)

注: Uボルト規格

D35用、S4400、実形時荷重30kN以上

場所打ち杭コンクリート鉄筋かご無接工法 設計・施工に関するガイドラインに準拠

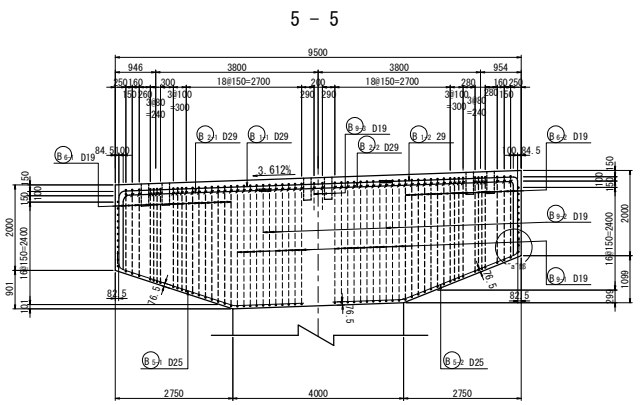
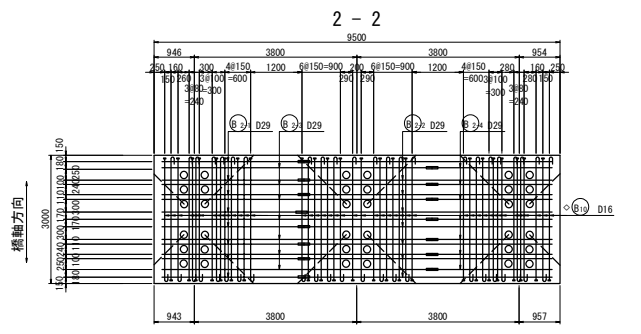
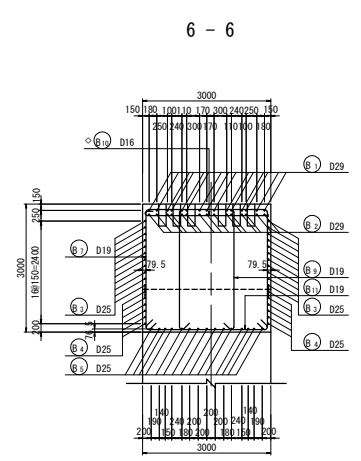
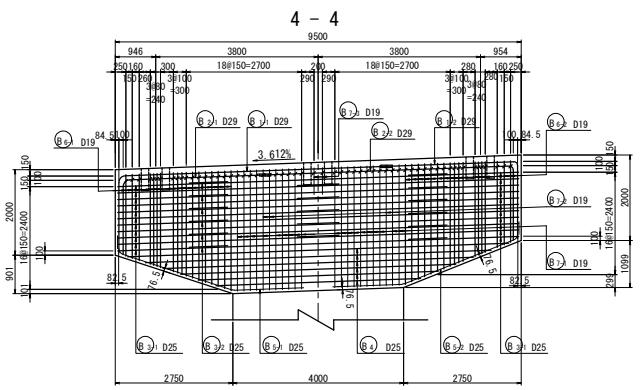
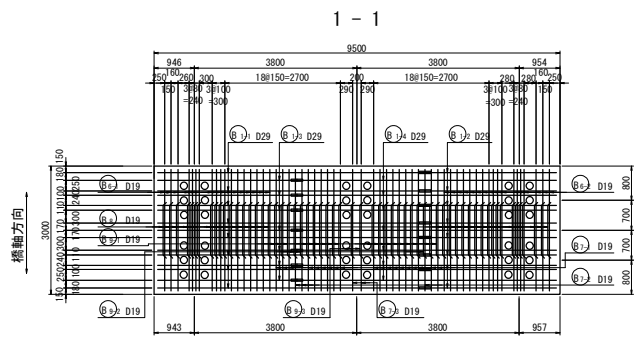
## スプーサー・固定金具

(杭1本当り)

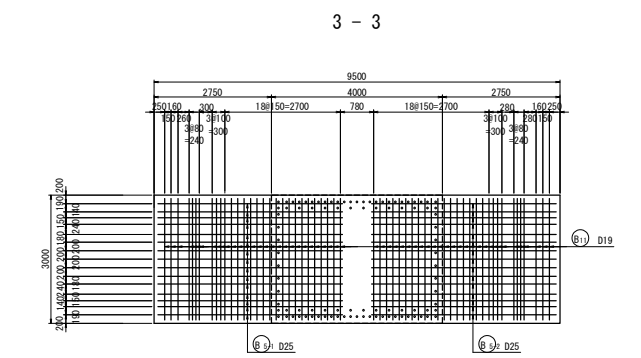
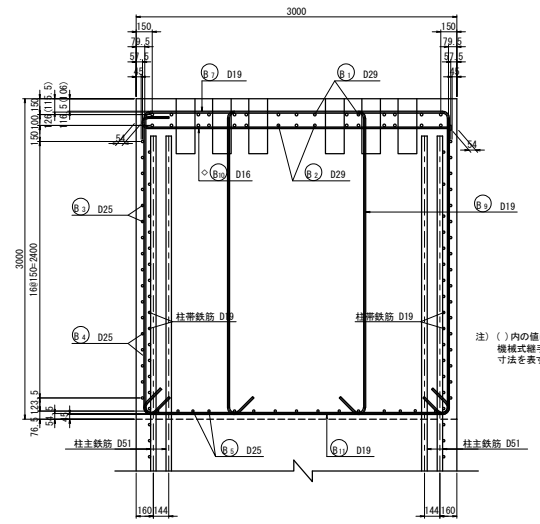
種 別	長 さ (mm)	本 数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質 量 (kg)	摘 要
スプーサー-D13	300	20	0.995	0.298	6	SD345 (D35用)
Uボルト	—	40	—	—	—	スプーサーと主鉄筋の固定 (D35用)
FD30x4	—	40	—	—	—	

## 鉄筋加工寸法表 (SD345)

主 筋		鋭角フック		中間帯鉄筋		直角フック					
径	$\theta \leq 90^\circ$ R=3.0φ	$\theta > 90^\circ$ R=5.5φ	$\theta = 45^\circ$ a ΔL	$\theta = 60^\circ$ a ΔL	$\theta = 90^\circ$ a ΔL	$\theta = 135^\circ$ a ΔL					
主 筋	D13	39	71.5	92	96	82	53	61	17	56	3
	D16	48	88	116	119	100	66	75	21	69	4
	D19	57	104.5	134	141	119	76	89	25	82	5
	D22	66	121	155	164	138	91	104	28	95	5
	D25	75	137.5	177	185	157	103	118	32	108	6
筋	D29	87	159.5	205	215	182	119	137	37	125	7
	D32	96	176	226	237	201	132	151	41	138	8
	D35	105	192.5	247	260	220	144	165	45	151	8
	D38	114	209	269	281	239	156	179	49	164	9
	D41	123	225.5	290	304	258	168	193	53	177	10
径	R=3.0φ	鋭角フック	半円フック	直 角 フック							
中 間 帯 鉄 筋	D13	39	92	123	61	a	ΔL				
	D16	48	113	151	75	21	69				
	D19	57	134	179	89	25	82				
	D22	66	156	207	104	28	95				
	D25	75	177	236	118	32	108				
D29	87	205	273	137	37	125					

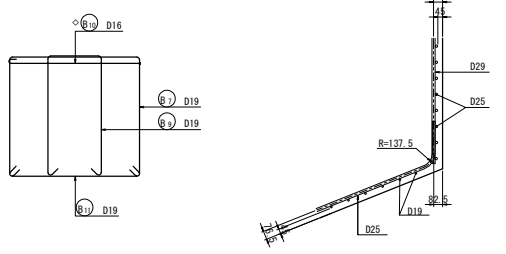


かぶり詳細図 S= 1:50

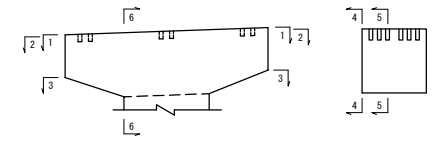


"a"部詳細図 S= 1:50

帯鉄筋組立図

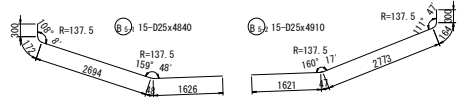
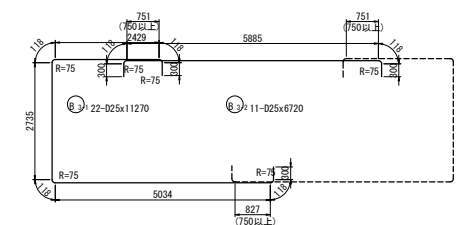
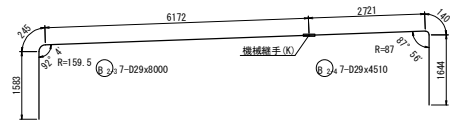
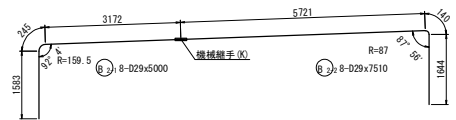
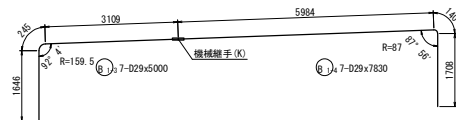
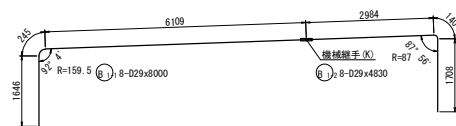


位置図



注1) ◇印表記は機械式鉄筋定着工法を示す。  
注2) 鉄筋長は四捨五入の10mm丸めとする。

道 東 自 動 車 道 ト マ ム イ シ 工 事			
久我の沢川橋（下り線） P2橋脚配筋図（その1）			
縮 尺	図 示	図面番号	32 / 73
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		



⑧ 12-D25x6860 (平均長)

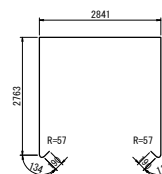
記号	径	本数	a	L
1	D25	2	4791	4790
2	D25	2	5618	5620
3	D25	2	6444	6440
4	D25	2	7270	7270
5	D25	2	8096	8100
6	D25	2	8922	8920
平均長		12		6860

⑨ 18-D19x8040 (平均長)

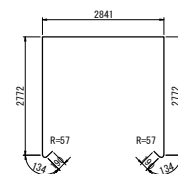
記号	径	本数	a	L
1	D19	1	1850	7140
2	D19	1	1905	7250
3	D19	1	1963	7370
4	D19	1	2058	7560
5	D19	1	2087	7610
6	D19	1	2116	7670
7	D19	1	2145	7720
8	D19	1	2254	7950
9	D19	1	2290	8020
10	D19	1	2327	8090
11	D19	1	2363	8170
12	D19	1	2418	8280
13	D19	1	2474	8390
14	D19	1	2527	8490
15	D19	1	2581	8600
16	D19	1	2636	8710
17	D19	1	2690	8820
18	D19	1	2745	8930
平均長		18		8040

⑩ 18-D19x8040 (平均長)

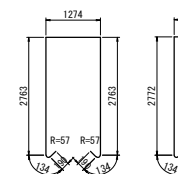
記号	径	本数	a	L
1	D19	1	1849	7140
2	D19	1	1904	7250
3	D19	1	1962	7360
4	D19	1	2064	7570
5	D19	1	2093	7630
6	D19	1	2122	7680
7	D19	1	2151	7740
8	D19	1	2253	7950
9	D19	1	2289	8020
10	D19	1	2325	8090
11	D19	1	2362	8160
12	D19	1	2416	8270
13	D19	1	2471	8380
14	D19	1	2525	8490
15	D19	1	2580	8600
16	D19	1	2635	8710
17	D19	1	2689	8820
18	D19	1	2744	8930
平均長		18		8040



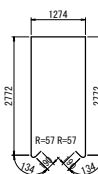
⑪ 19-D19x8970



⑫ 3-D19x8980



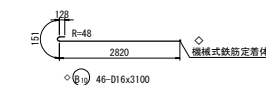
⑬ 19-D19x7400



⑭ 3-D19x7420



⑮ 2-D19x2480



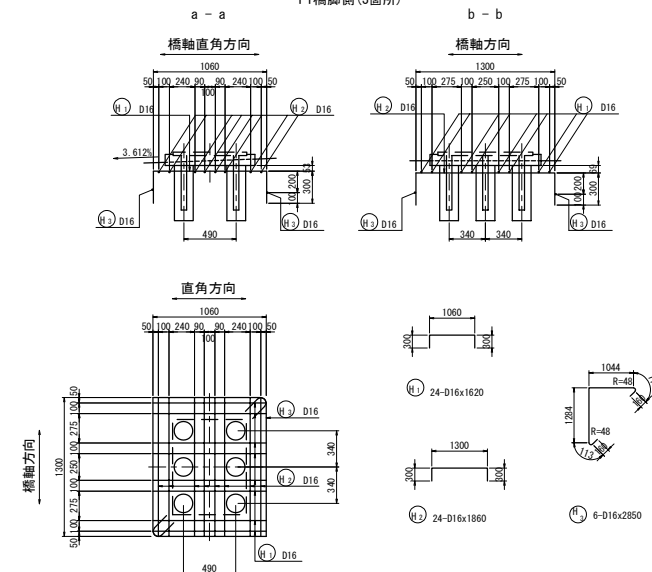
⑯ 46-D16x3100



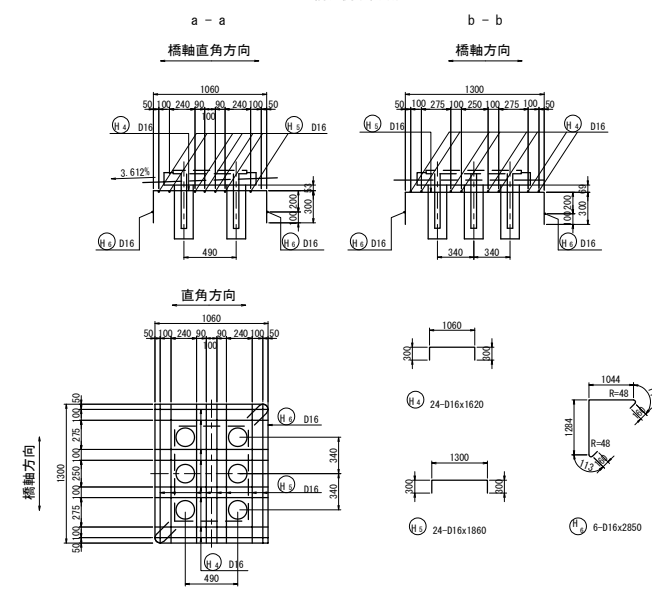
⑰ 58-D19x3380

## 支承销抜き補強配筋図

P1橋脚側(3箇所)



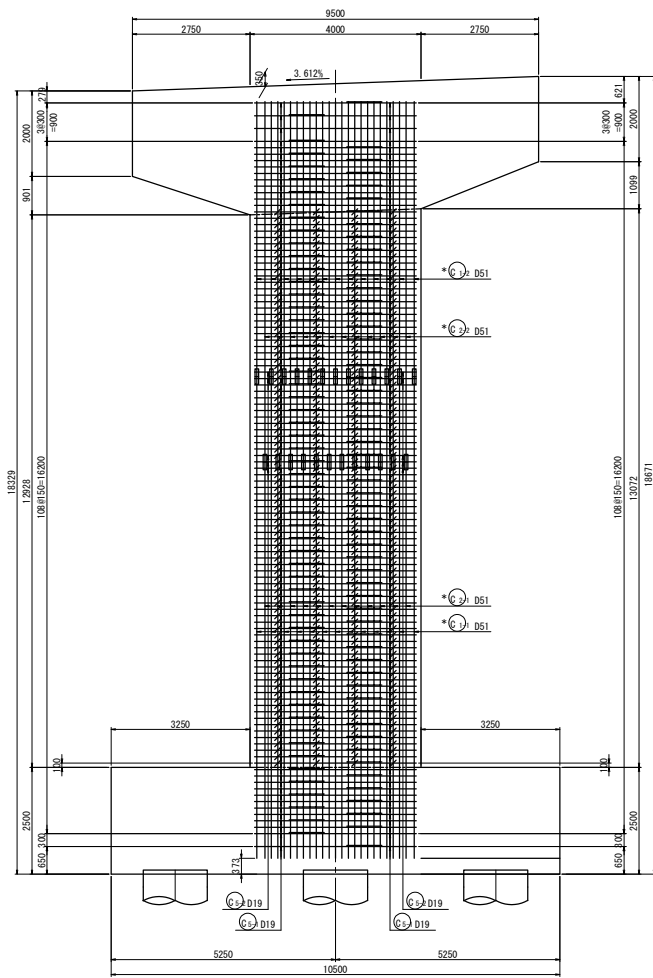
A2橋台側(3箇所)



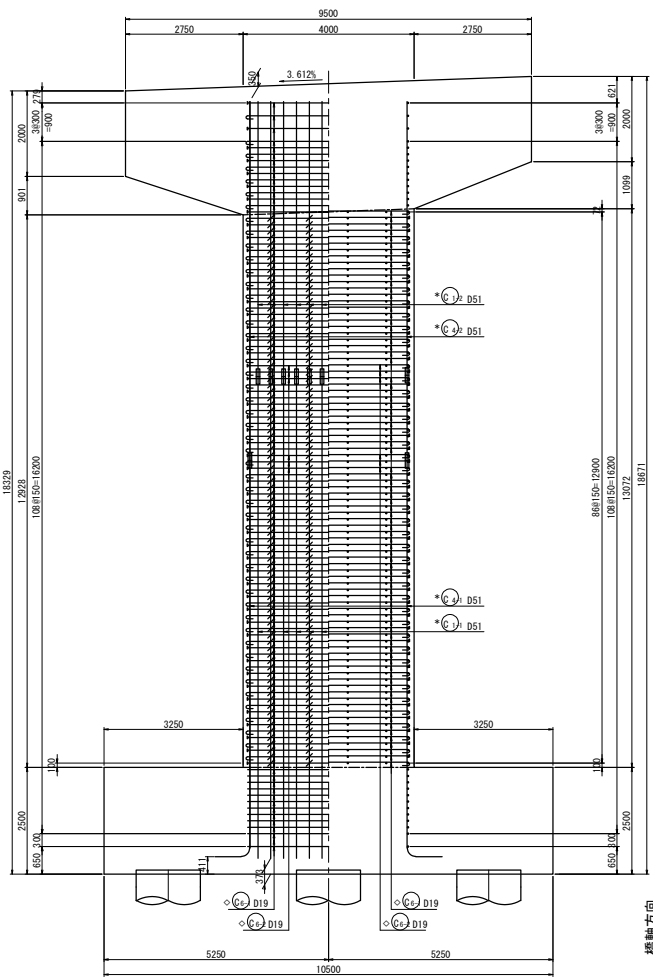
注1) ◇印表記は機械式鉄筋定着工法を示す。  
 注2) 鉄筋長は四捨五入の10mm丸めとする。

道東自動車道 トマムIC工事			
久我の沢川橋（下り線） P2橋脚配筋図（その2）			
縮尺	図示	図面番号	33 / 73
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		
事務所名			

1 - 1

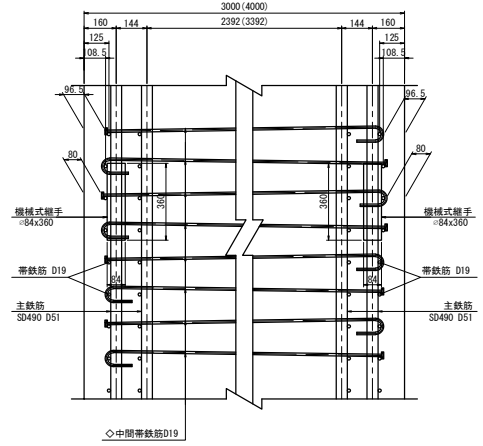


2 - 2

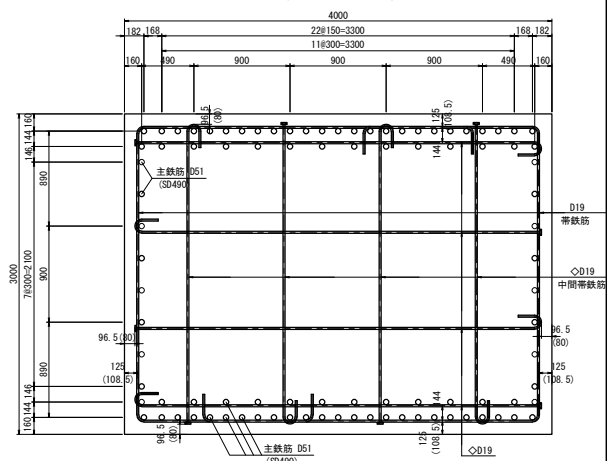


3 - 3

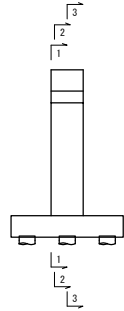
柱かぶり詳細図 S= 1:50  
橋軸方向 (橋軸直角方向)



柱平面かぶり詳細図 S= 1:50  
橋軸直角方向



位置図

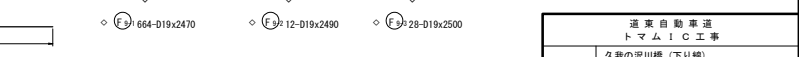
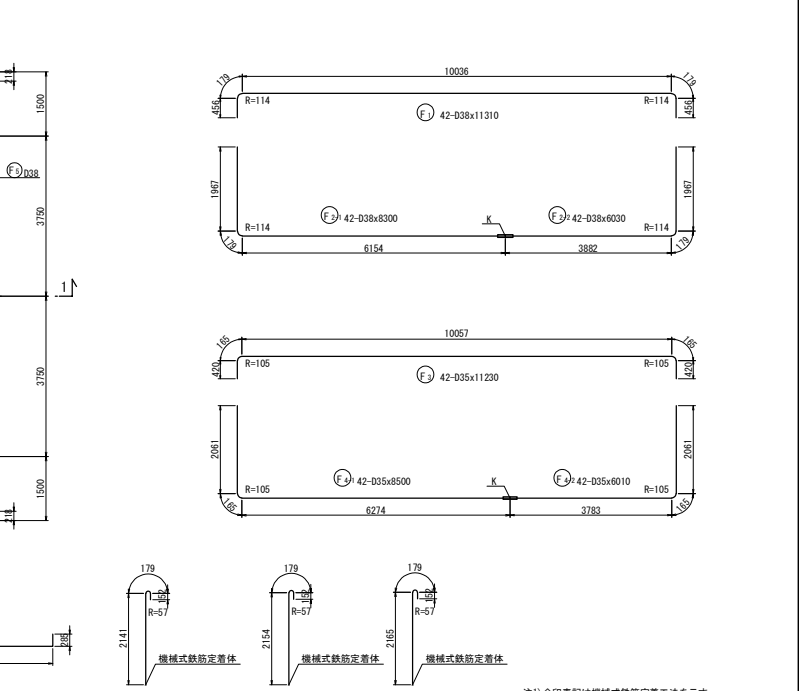
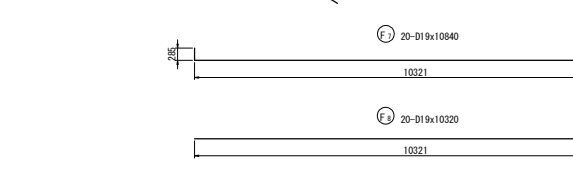
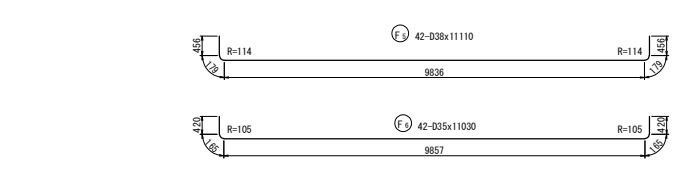
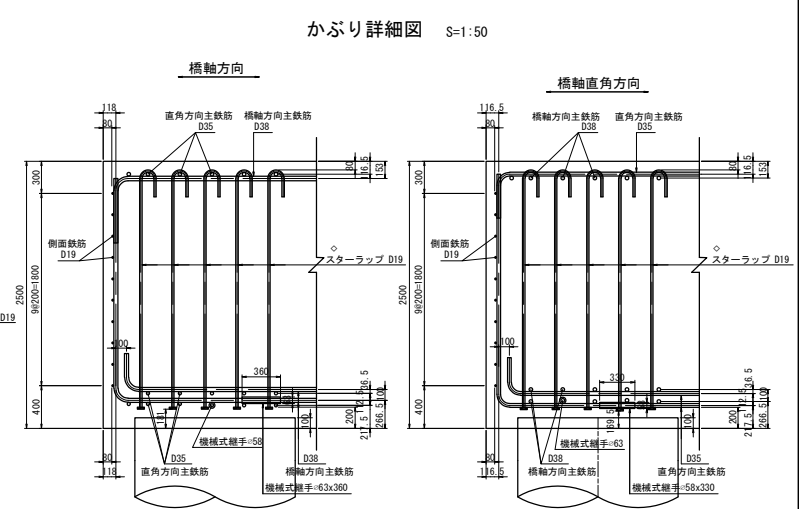
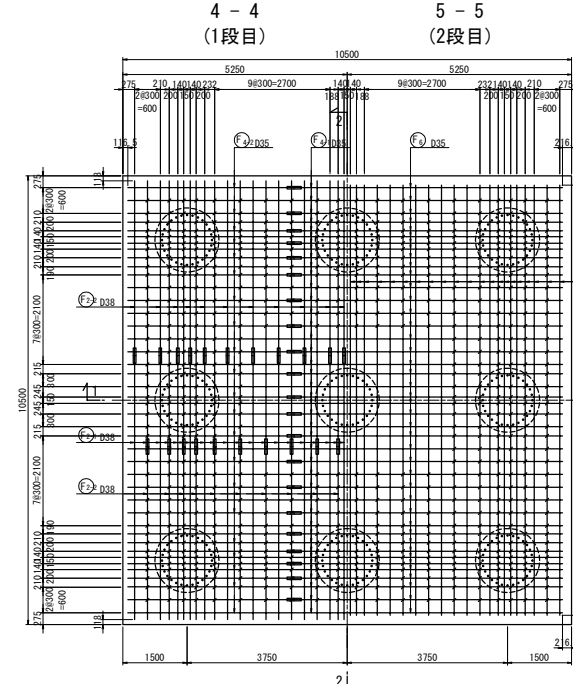
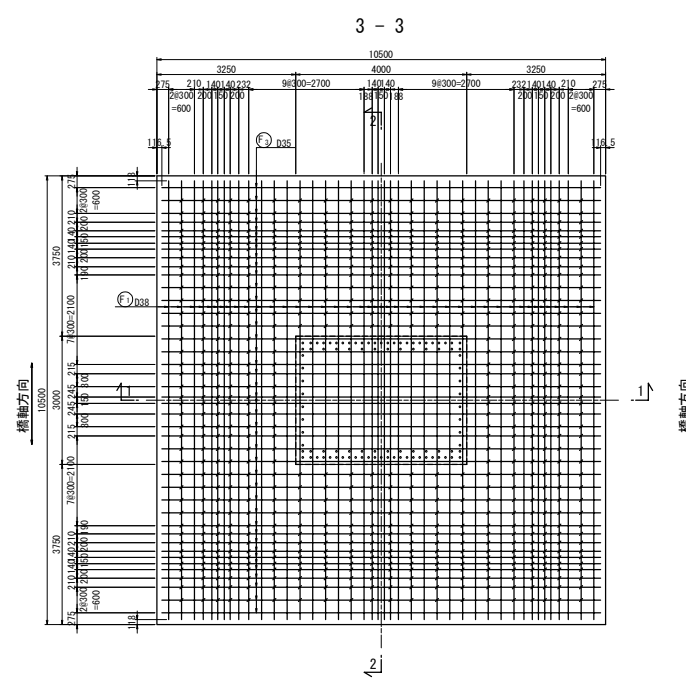
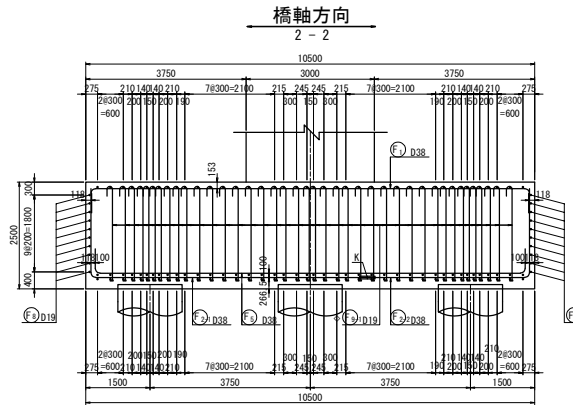
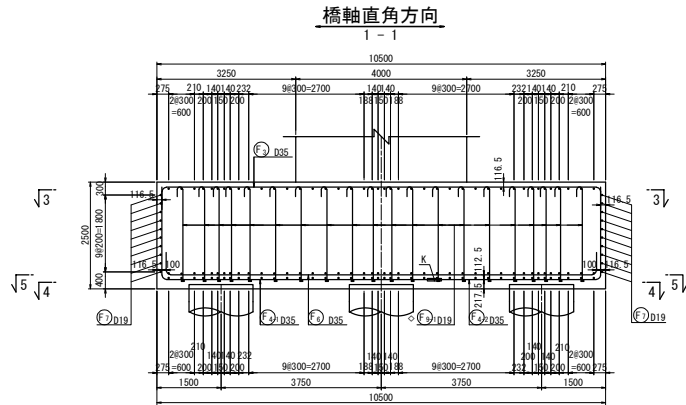


注) ( ) 内の値は、機械式継手部の値を示す。

注) 鉄筋長は四捨五入の10mm丸めとする。  
\* 印の鉄筋はSD490鉄筋を示す。

道 交 自 動 車 道 ト マ ム イ シ 工 事			
久我の沢川橋（下り線） P2橋脚配筋図（その3）			
縮 尺	図 示	図面番号	34 / 73
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		





注1) ○印表記は機械式鉄筋定着工法を示す。

道 交 自 動 車 道 ト マ ム イ ン フ 工 事			
図面の種類	久我の沢川橋（下り線） P2橋脚配筋図（その5）		
縮 尺	図 示	図面番号	36 / 73
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工務事務所		

鉄筋表（下部工施工）

B	号	径	長さ (mm)	本数	単筋質量 (kg)	本筋質量 (kg)	総質量 (kg)	摘要	
B 1-1	D29	8000	8	5.04	40.3	322		⌋ B<B>	
B 1-2	D29	4830	8	5.04	24.3	194		⌋ B<C>	
B 1-3	D29	5000	7	5.04	25.2	176		⌋ B<C>	
B 1-4	D29	7830	7	5.04	39.5	277		⌋ B<C>	
B 2-1	D29	5000	8	5.04	25.2	202		⌋ B<B>	
B 2-2	D29	7510	8	5.04	37.9	303		⌋ B<C>	
B 2-3	D29	8900	7	5.04	40.3	282		⌋ B<C>	
B 2-4	D29	4510	7	5.04	22.7	159		⌋ B<C>	
B 3-1	D25	11270	22	3.98	44.9	988		⌋ B<B>	
B 3-2	D25	6720	11	3.98	26.7	294		⌋ B<B>	
B 4	D25	6860	12	3.98	27.3	328		⌋ (平均長)	
B 5-1	D25	4840	15	3.98	19.3	290		⌋ B<B>	
B 5-2	D25	4910	15	3.98	19.5	293		⌋ B<B>	
B 6-1	D19	8040	18	2.25	18.1	326		⌋ (平均長)	
B 6-2	D19	8040	18	2.25	18.1	326		⌋ (平均長)	
B 7-1	D19	8970	19	2.25	20.2	384		⌋ B<B>	
B 7-2	D19	8980	3	2.25	20.2	61		⌋ B<B>	
B 7-3	D19	4050	2	2.25	9.1	18		⌋ B<B>	
B 8-1	D19	6480	18	2.25	14.6	263		⌋ (平均長)	
B 8-2	D19	6480	18	2.25	14.6	263		⌋ (平均長)	
B 9-1	D19	7400	19	2.25	16.7	317		⌋ B<B>	
B 9-2	D19	7420	3	2.25	16.7	50		⌋ B<B>	
B 9-3	D19	2480	2	2.25	5.58	11		⌋ B<B>	
B 10	D16	3100	46	1.56	4.84	223		⌋ C(46)	
B 11	D19	3380	58	2.25	7.61	441		⌋ B<B>	
							6791 kg		
H 1	D16	1620	24	1.56	2.53	61		⌋ B<B>	
H 2	D16	1860	24	1.56	2.90	70		⌋ B<B>	
H 3	D16	2850	6	1.56	4.45	27		⌋ B<B>	
H 4	D16	1620	24	1.56	2.53	61		⌋ B<B>	
H 5	D16	1860	24	1.56	2.90	70		⌋ B<B>	
H 6	D16	2850	6	1.56	4.45	27		⌋ B<B>	
							316 kg		
C 1-1	D51	12000	50	15.9	191	9550		⌋ B<30>	
C 1-2	D51	6440	50	15.9	102	5100		⌋ B<C>	
C 2-1	D51	10000	24	15.9	159	3816		⌋ B<24>	
C 2-2	D51	8440	24	15.9	134	3216		⌋ B<C>	
C 3-1	D51	12000	8	15.9	191	1528		⌋ B<B>	
C 3-2	D51	6400	8	15.9	102	816		⌋ B<C>	
C 4-1	D51	10000	12	15.9	159	1908		⌋ B<12>	
C 4-2	D51	8400	12	15.9	134	1608		⌋ B<C>	
C 5-1	D19	7980	216	2.25	18.0	3888		⌋ B<C>	
C 5-2	D19	8050	10	2.25	18.1	181		⌋ B<B>	
C 6-1	D19	4050	380	2.25	9.11	3462		⌋ C(380)	
C 6-2	D19	4090	20	2.25	9.20	184		⌋ C(20)	
C 7-1	D19	3050	328	2.25	6.86	2250		⌋ C(328)	
C 7-2	D19	3090	20	2.25	6.95	139		⌋ C(20)	
							37646 kg		
F 1	D38	11310	42	8.95	101	4242		⌋ B<B>	
F 2-1	D38	8300	42	8.95	74.3	3121		⌋ B<42>	
F 2-2	D38	6030	42	8.95	54.0	2268		⌋ B<C>	
F 3	D35	11230	42	7.51	84.3	3541		⌋ B<B>	
F 4-1	D35	8500	42	7.51	63.8	2680		⌋ B<42>	
F 4-2	D35	6010	42	7.51	45.1	1894		⌋ B<C>	
F 5	D38	11110	42	8.95	99.4	4175		⌋ B<B>	
F 6	D35	11030	42	7.51	82.8	3478		⌋ B<B>	
F 7	D19	10840	20	2.25	24.4	468		⌋ B<B>	
F 8	D19	10320	20	2.25	23.2	464		⌋ B<B>	
F 9-1	D19	2470	664	2.25	5.56	3692		⌋ C(664)	
F 9-2	D19	2490	12	2.25	5.60	67		⌋ C(12)	
F 9-3	D19	2500	28	2.25	5.63	158		⌋ C(28)	
							30268 kg		
鉄筋質量集計（下部工施工）(SD490)									
A種鉄筋		B種鉄筋		C種鉄筋		合計		<機械式継手箇所数>	
D51		-		27542 kg		-		27542 kg	<94>
合 計		-		27542 kg		-		27542 kg	<94>
鉄筋質量集計（下部工施工）(SD345)									
A種鉄筋		B種鉄筋		C種鉄筋		合計		<機械式継手箇所数>	
D38		8417 kg		5389 kg		-		13806 kg	<42>
D35		7019 kg		4574 kg		-		11593 kg	<42>
D29		-		1915 kg		-		1915 kg	<30>
D25		2193 kg		-		-		2193 kg	<1452>
D19		7481 kg		-		9952 kg		17433 kg	(1452)
D16		316 kg		-		223 kg		539 kg	(46)
合 計		25426 kg		11878 kg		10175 kg		47479 kg	<114> (1498)
( ) 内数値は、機械式鉄筋定着工法箇所数を示す。									
< > 内数値は、機械式継手の箇所数を示す。									

鉄筋集計表（SD490）

種 別	下部工施工		合計 (kg)
	部体	計 (kg)	
A (SD490)	D16	—	—
	D19	—	—
	D22	—	—
	D25	—	—
	小計	—	—
	D29~D32	—	—
	D32	—	—
	小計	—	—
	D35	—	—
	D38	—	—
B (SD490)	D16	—	—
	D19	—	—
	D22	—	—
	D25	—	—
	小計	—	—
	D29~D32	—	—
	D32	—	—
	小計	—	—
	D35	—	—
	D38	—	—
B の 合 計		27542	27542
鉄筋総質量		27542	27542

鉄筋集計表（SD345）

種 別	下部工施工		合計 (kg)
	部体	計 (kg)	
A (SD345)	D16	316	316
	D19	7481	7481
	D22	—	—
	D25	2193	2193
	小計	9990	9990
	D29	—	—
	D32	—	—
	小計	—	—
	D35	7019	7019
	D38	8417	8417
B (SD345)	D16	—	—
	D19	7481	7481
	D22	—	—
	D25	2193	2193
	小計	9990	9990
	D29	—	—
	D32	—	—
	小計	—	—
	D35	7019	7019
	D38	8417	8417
C (SD345)	D16	223	223
	D19	9952	9952
	D22	—	—
	D25	—	—
	小計	10175	10175
	D29	—	—
	D32	—	—
	小計	—	—
	D35	4574	4574
	D38	5389	5389
B の 合 計		11878	11878
鉄筋総質量		47479	47479




機械式継手箇所数

項目	鉄筋径	継手箇所数	合 計
機械式継手箇所数	D25	—	—
	D29	30	30
	D35	42	42
	D38	42	42
	D41	—	—
	D51	94	94
合 計		208	208

機械式鉄筋定着工法数表

鉄筋径	0<L≤1m	1m<L≤2m	2m<L≤3m	3m<L≤4m	4m<L≤5m	5m<L≤6m
D16	—	—	—	46	—	—
D19	—	—	704	348	400	—
D22	—	—	—	—	—	—
合計						1498

鉄筋加工寸法表（SD345）

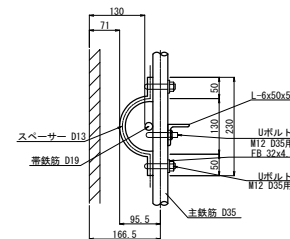
主 筋			中間帯鉄筋			直角フック					
											
径 $\theta \leq 90^\circ$ $R=3.0\phi$			$\theta > 90^\circ$ $R=5.5\phi$			$\theta = 45^\circ$					
$a$			$\Delta L$			$\theta = 60^\circ$					
$a$			$\Delta L$			$\theta = 90^\circ$					
$a$			$\Delta L$			$\theta = 135^\circ$					
主 筋	D13	39	71.5	92	96	82	53	61	17	56	3
	D16	48	88	113	119	100	66	75	21	69	4
	D19	57	104.5	134	141	119	78	89	25	82	5
	D22	66	121	155	164	138	91	104	28	95	5
	D25	75	137.5	177	185	157	103	118	32	108	6
	D29	87	159.5	205	215	182	119	137	37	125	7
	D32	96	176	226	237	201	132	151	41	138	8
	D35	105	192.5	247	260	220	144	165	45	154	9
	D38	114	209	269	281	239	156	179	49	168	9
	D41	123	225.5	290	304	258	168	193	53	177	10
	D51	153	280.5	360	379	320	210	240	66	220	12
	中 間 帯 鉄 筋	径 $R=3.0\phi$		直角フック		半円フック		直 角 フック			
$a$		$a$		$a$		$\Delta L$					
$a$		$a$		$a$		$\Delta L$					
$a$		$a$		$a$		$\Delta L$					
D13		39		92	123	61		17			
D16		48		113	151	75		21			
D19		57		134	179	89		25			
D22		66		156	207	104		28			
D25		75		177	236	118		32			
D29		87		205	273	137		37			
D32		96		226	294	156		41			

鉄筋加工寸法表（SD490）

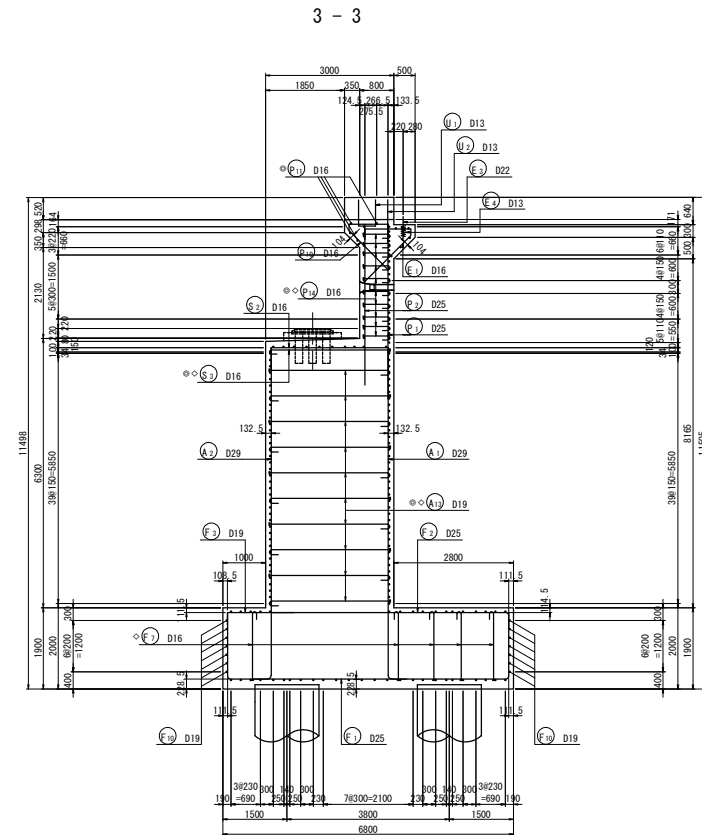
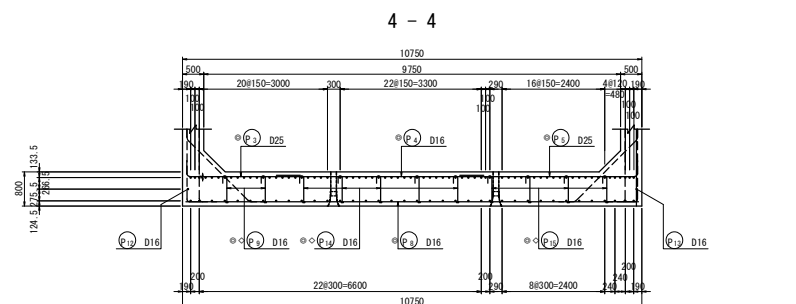
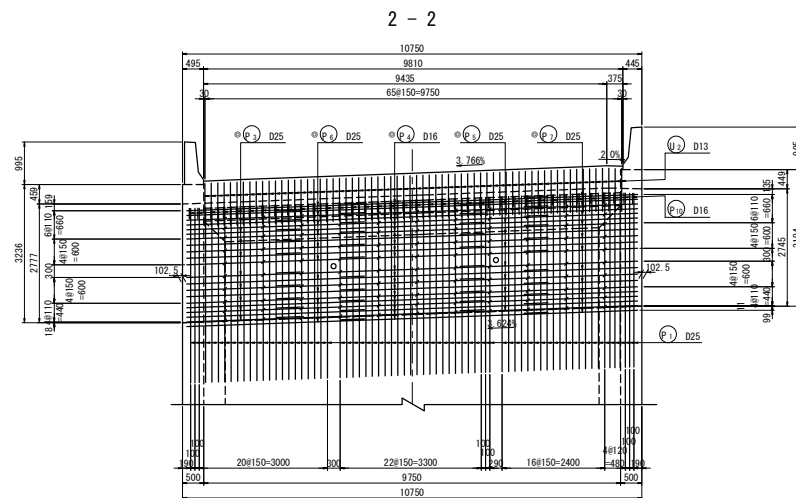
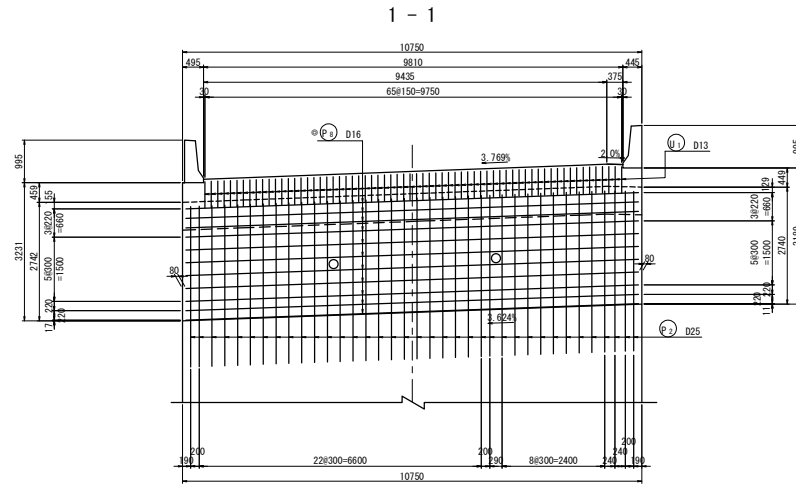
主 筋		中間帯鉄筋	
R=3.0φ		R=5.5φ	
径	θ≤90° R=3.0φ	θ>90° R=5.5φ	θ=90°
	a	ΔL	a
D13	52	71.5	82
D16	64	88	101
D19	76	104.5	119
D22	88	121	138
D25	100	137.5	157
D29	116	159.5	182
D32	128	176	201
D35	140	192.5	220
D38	152	209	239
D51	204	280.5	320

注1) ◇印表記は機械式鉄筋定着工法を示す。  
注2) 鉄筋長は四捨五入の10mm丸めとする。  
注3) \* 印の鉄筋はSD490鉄筋を示す。

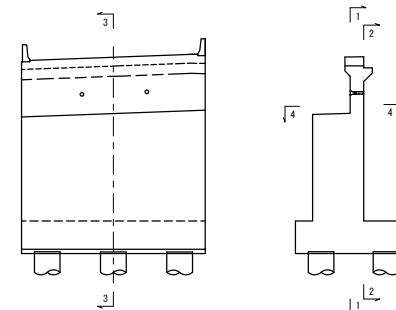
道東自動車道 トマムIC工事			
図面の種類	久我の沢川橋（下り線） P2橋脚場所打ち杭配筋図		
縮 尺	図示	図面番号	38 / 73
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		







位置図

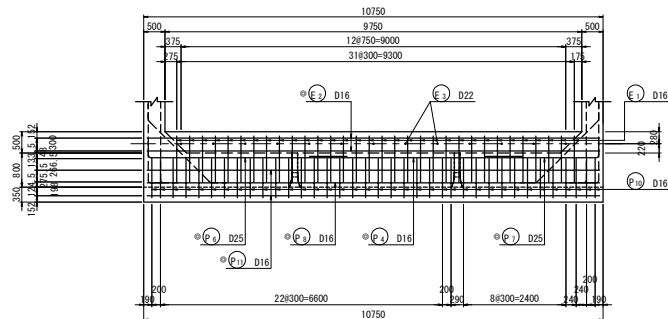


注1) ◇印表記は機械式鉄筋定着工法を示す。  
 注2) ◎印鉄筋はエポキシ樹脂充填鉄筋とする。  
 注3) 鉄筋長は四捨五入の10mm丸めとする。

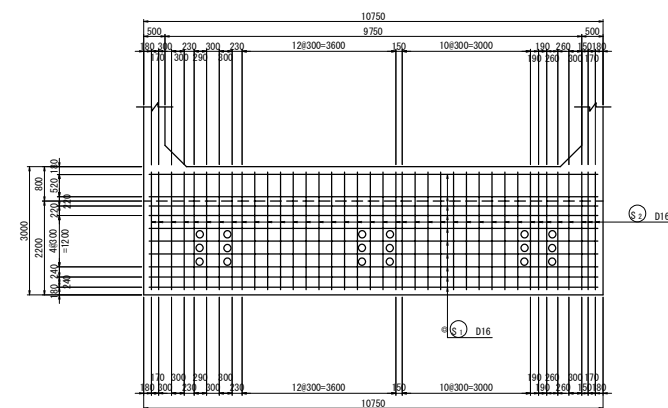
道 東 自 動 車 道 ト マ ム イ シ 工 事			
図面の種類	久我の沢川橋（下り線） A2橋台配筋図（その 1）		
縮 尺	図示	図面番号	39 / 73
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		
事務所名			



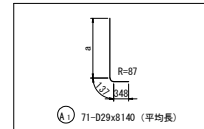
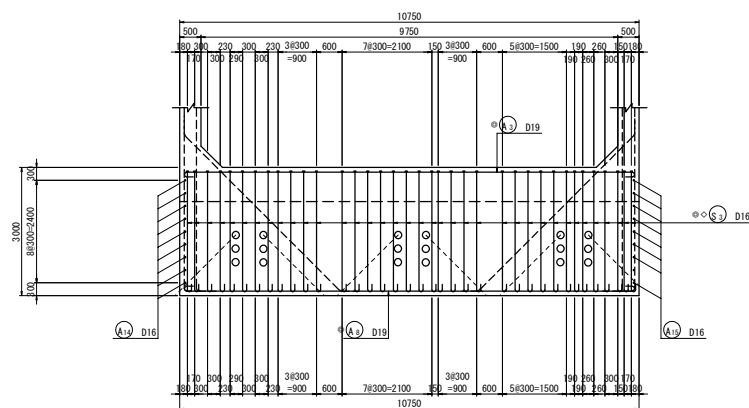
1 - 1



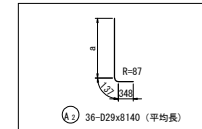
2 - 2



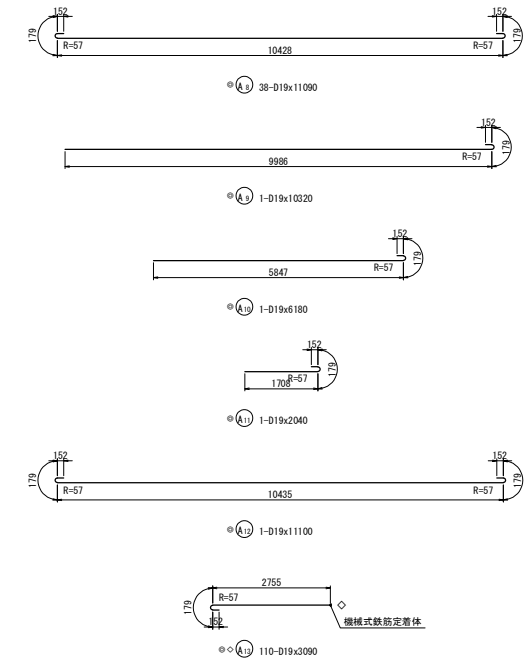
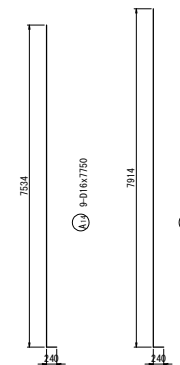
3 - 3



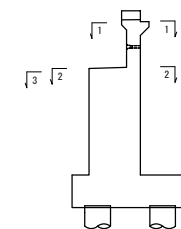
記号	径	本数	a	L
1	D29	1	7467	7950
2	D29	1	7473	7960
3	D29	1	7478	7960
4	D29	1	7482	7970
5	D29	1	7487	7970
6	D29	1	7492	7980
7	D29	1	7498	7980
8	D29	1	7503	7990
9	D29	1	7509	7990
10	D29	1	7514	8000
11	D29	1	7520	8010
12	D29	1	7525	8010
13	D29	1	7530	8020
14	D29	1	7536	8020
15	D29	1	7541	8030
16	D29	1	7547	8030
17	D29	1	7552	8040
18	D29	1	7558	8040
19	D29	1	7563	8050
20	D29	1	7568	8050
21	D29	1	7574	8060
22	D29	1	7579	8060
23	D29	1	7585	8070
24	D29	1	7590	8080
25	D29	1	7596	8080
26	D29	1	7601	8090
27	D29	1	7607	8090
28	D29	1	7612	8100
29	D29	1	7617	8100
30	D29	1	7623	8110
31	D29	1	7628	8110
32	D29	1	7634	8120
33	D29	1	7639	8120
34	D29	1	7645	8130
35	D29	1	7650	8140
36	D29	1	7655	8140
37	D29	1	7661	8150
38	D29	1	7666	8150
39	D29	1	7672	8160
40	D29	1	7677	8160
41	D29	1	7683	8170
42	D29	1	7688	8170
43	D29	1	7693	8180
44	D29	1	7699	8180
45	D29	1	7704	8190
46	D29	1	7710	8200
47	D29	1	7715	8200
48	D29	1	7721	8210
49	D29	1	7726	8210
50	D29	1	7732	8220
51	D29	1	7737	8220
52	D29	1	7742	8230
53	D29	1	7748	8230
54	D29	1	7753	8240
55	D29	1	7759	8240
56	D29	1	7764	8250
57	D29	1	7770	8260
58	D29	1	7775	8260
59	D29	1	7780	8270
60	D29	1	7786	8270
61	D29	1	7791	8280
62	D29	1	7797	8280
63	D29	1	7802	8290
64	D29	1	7808	8290
65	D29	1	7813	8300
66	D29	1	7819	8300
67	D29	1	7824	8310
68	D29	1	7828	8310
69	D29	1	7833	8320
70	D29	1	7838	8320
71	D29	1	7843	8330
平均長		71		8140



記号	径	本数	a	L
1	D29	1	7467	7950
2	D29	1	7478	7960
3	D29	1	7487	7970
4	D29	1	7498	7980
5	D29	1	7509	7990
6	D29	1	7520	8010
7	D29	1	7530	8020
8	D29	1	7541	8030
9	D29	1	7552	8040
10	D29	1	7563	8050
11	D29	1	7574	8060
12	D29	1	7585	8070
13	D29	1	7596	8080
14	D29	1	7607	8090
15	D29	1	7617	8100
16	D29	1	7628	8110
17	D29	1	7639	8120
18	D29	1	7650	8140
19	D29	1	7661	8150
20	D29	1	7672	8160
21	D29	1	7683	8170
22	D29	1	7693	8180
23	D29	1	7704	8190
24	D29	1	7715	8200
25	D29	1	7726	8210
26	D29	1	7737	8220
27	D29	1	7748	8230
28	D29	1	7759	8240
29	D29	1	7770	8260
30	D29	1	7780	8270
31	D29	1	7791	8280
32	D29	1	7802	8290
33	D29	1	7813	8300
34	D29	1	7824	8310
35	D29	1	7833	8320
36	D29	1	7844	8330
平均長		36		8140



位置図



注1) ◇印表記は機械式鉄筋定着工法を示す。  
 注2) ◎印鉄筋はエポキシ樹脂塗装鉄筋とする。  
 注3) 鉄筋長は四捨五入の10mm丸めとする。

道 東 自 動 車 道 ト マ ム イ シ 工 事			
図面の種類	久我の沢川橋（下り線） A2橋台配筋図（その3）		
縮 尺	図示	図面番号	41 / 73
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

S=1 : 50



S=1 : 50



S=1:50



S=1 : 50

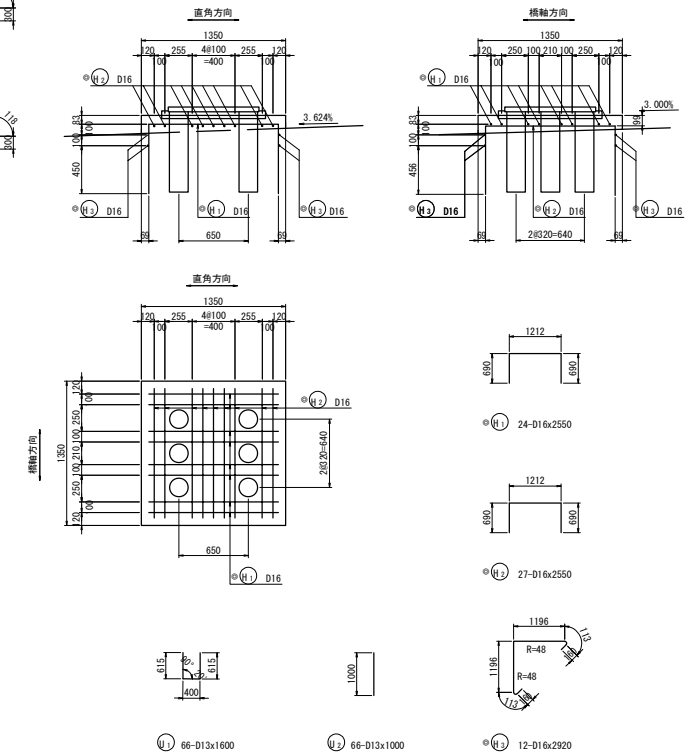
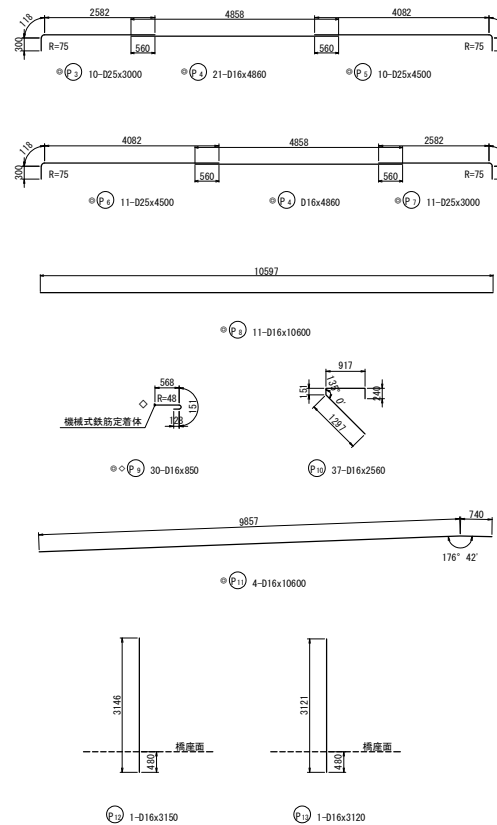
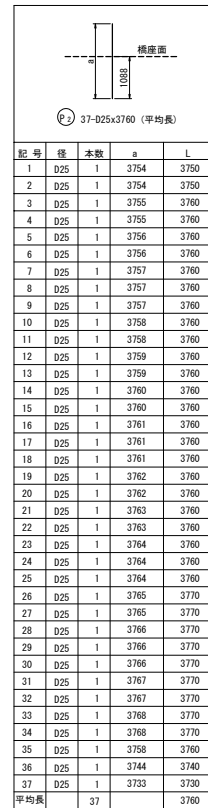
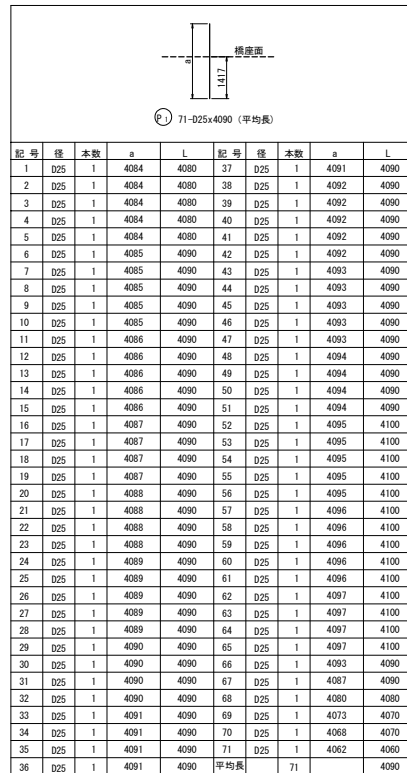


注1) ◇印表記は機械式鉄筋定着工法を示す。  
注2) ◎印鉄筋はエポキシ樹脂塗装鉄筋とする。  
注3) 鉄筋長は四捨五入の10mm丸めとする。

道 東 自 動 車 道 ト マ マ イ C 工 事			
図面の種類	久我の沢川橋（下り線） A2橋配筋図（その4）		
縮 尺	図示	図面番号	42 / 73
設計会社名	株式会社 日本橋構造梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支 帯広工事事務所		

S=1:50

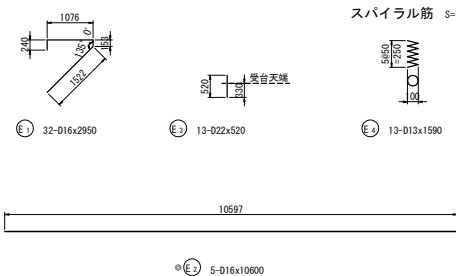
(n=3箇所)



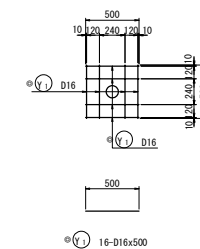
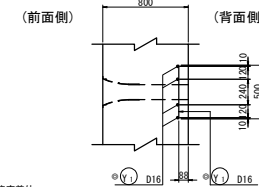
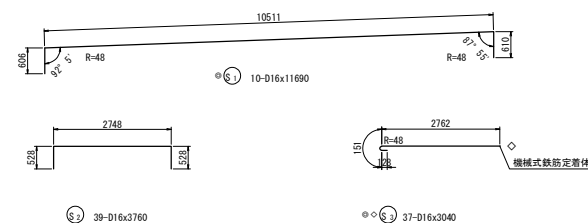
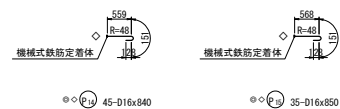
落橋防止装置用心鉄筋

(n=2箇所)

S=1 : 50



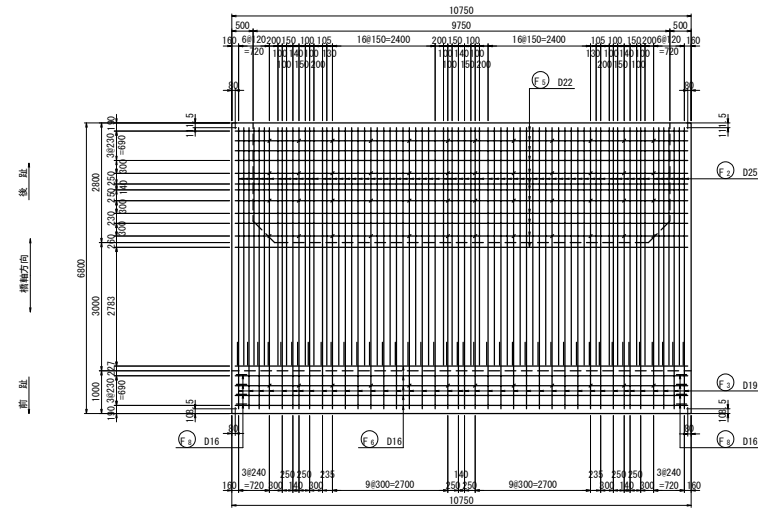
スパイラル筋 S=1/50



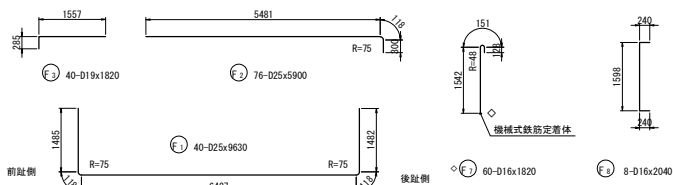
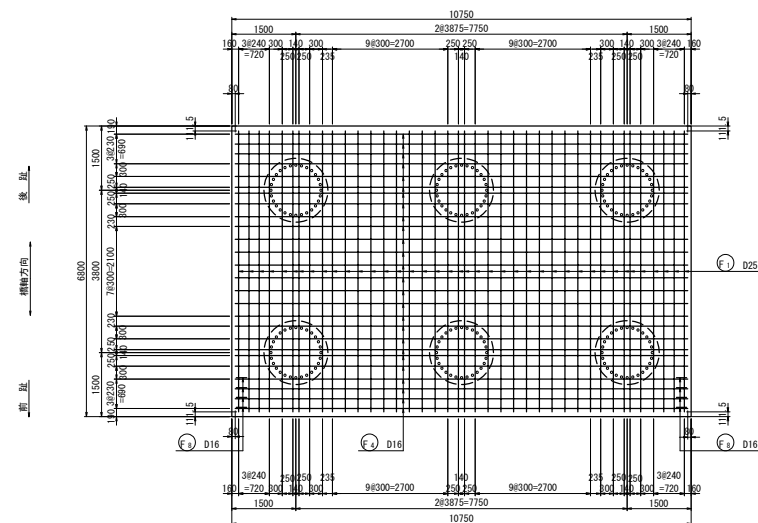
注1) ◇印表記は機械式鉄筋定着工法を示す。  
注2) ◎印鉄筋はエポキシ樹脂塗装鉄筋とする。  
注3) 鉄筋長は四捨五入の10mm丸めとする。

道 東 自 動 車 道 ト マ ム イ C 工 事			
図面の種類	久我の沢川橋（下り線） A2橋台配筋図（その5）		
縮 尺	図示	図面番号	43 / 73
設計会社名	株式会社 日本橋構造梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支 帯広工事事務所		

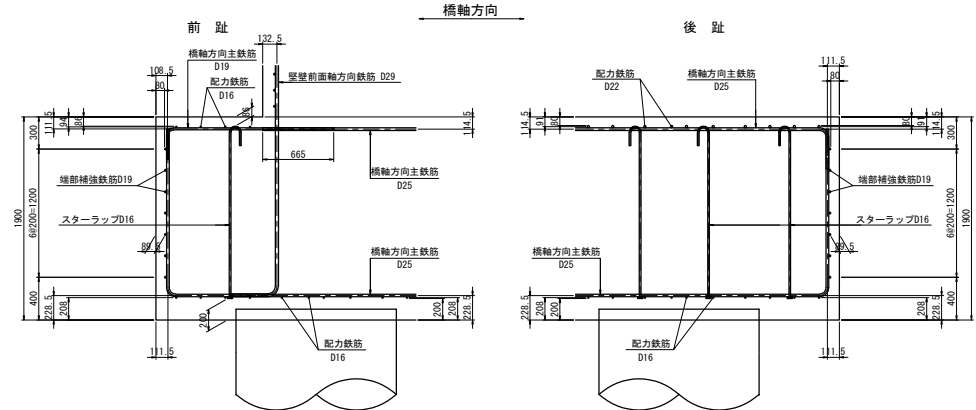
1 - 1



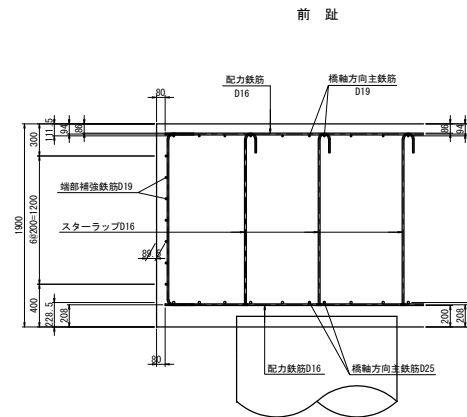
2 - 2



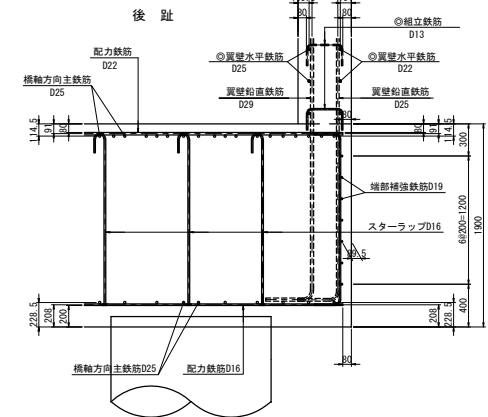
かぶり詳細図 S=1:50



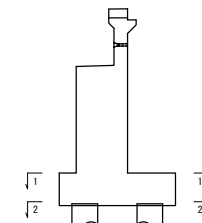
橋軸直角方向



橋軸方向



位置図

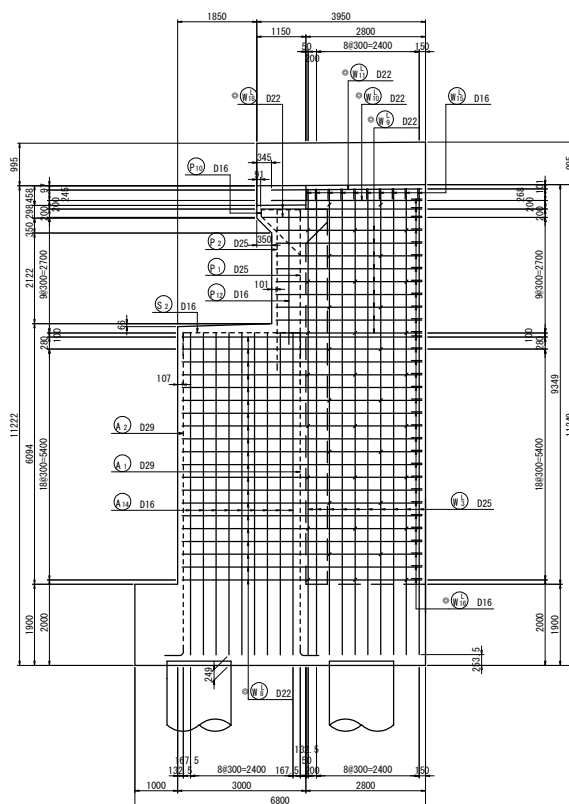


注1) ◇印表記は機械式鉄筋定着工法を示す。  
注2) ◎印鉄筋はエポキシ樹脂塗布鉄筋とする。  
注3) 鉄筋長は四捨五入の10mm丸めとする。

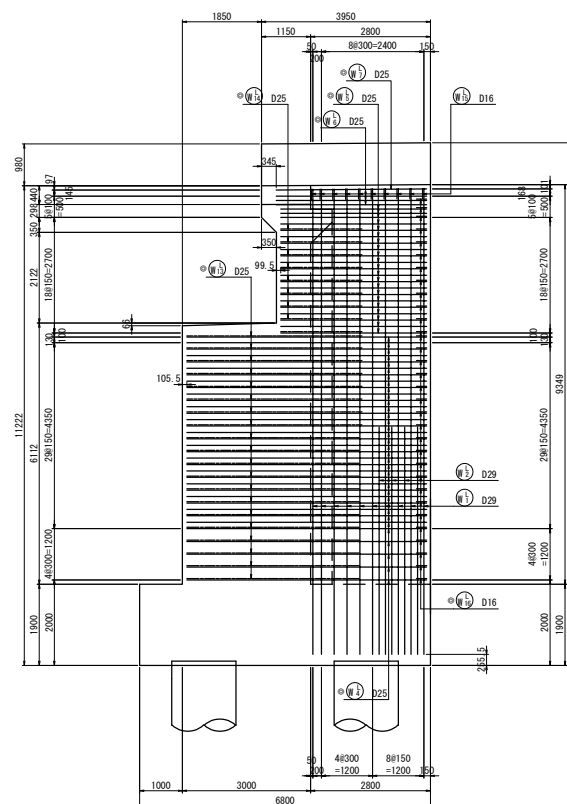
道 東 自 動 車 道 ト マ ム イ シ 工 事			
久我の沢川橋（下り線） A2橋台配筋図（その6）			
縮 尺	図示	図面番号	44 / 73
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 北海道支社		
事務所名	帯広工事事務所		

左側翼壁

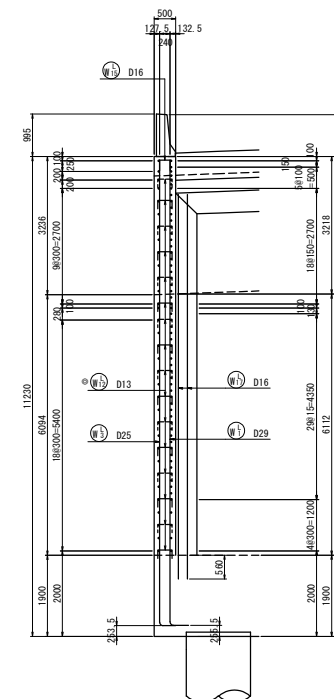
1 - 1 (外側)



2 - 2 (内側)

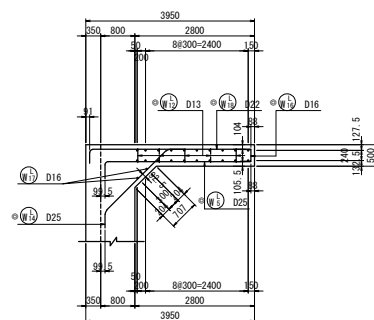


3 - 3

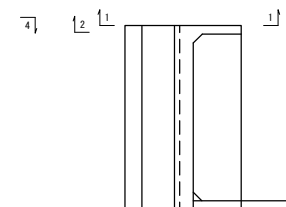
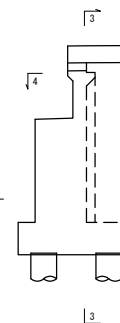
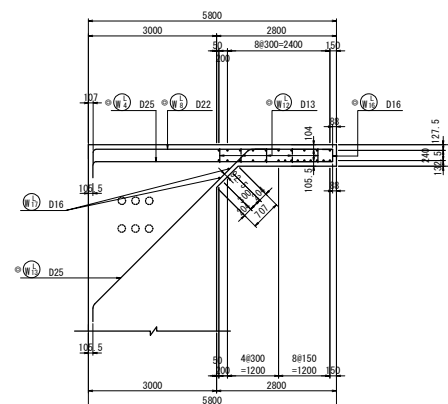


位置図

4 - 4

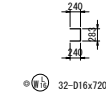
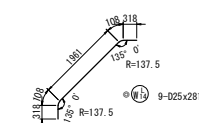
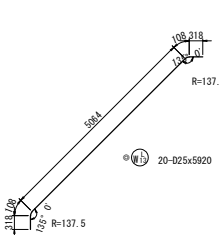
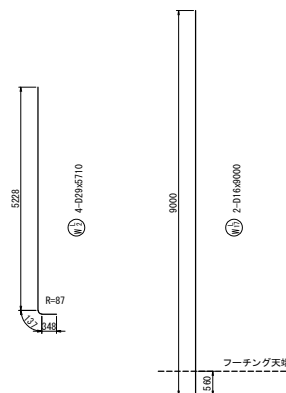
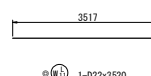
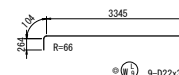
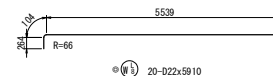
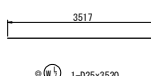
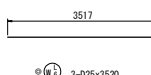
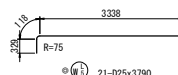
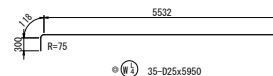
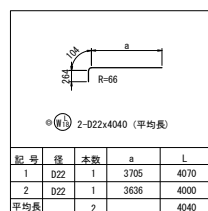


5 - 5

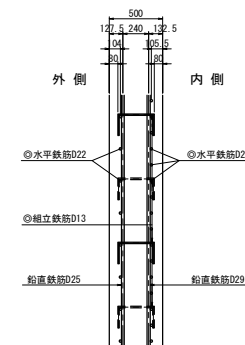


注1) ◎印鉄筋はエポキシ樹脂塗装鉄筋とする。  
 注2) 鉄筋長は四捨五入の10mm丸めとする。

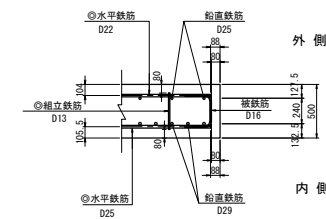
道 交 自 動 車 道 ト マ ム イ シ 工 事			
久我の沢川橋（下り線） A2橋台配筋図（その7）			
縮 尺	図示	図面番号	45 / 73
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		



左側翼壁かぶり詳細図 S=1:50



翼壁端部



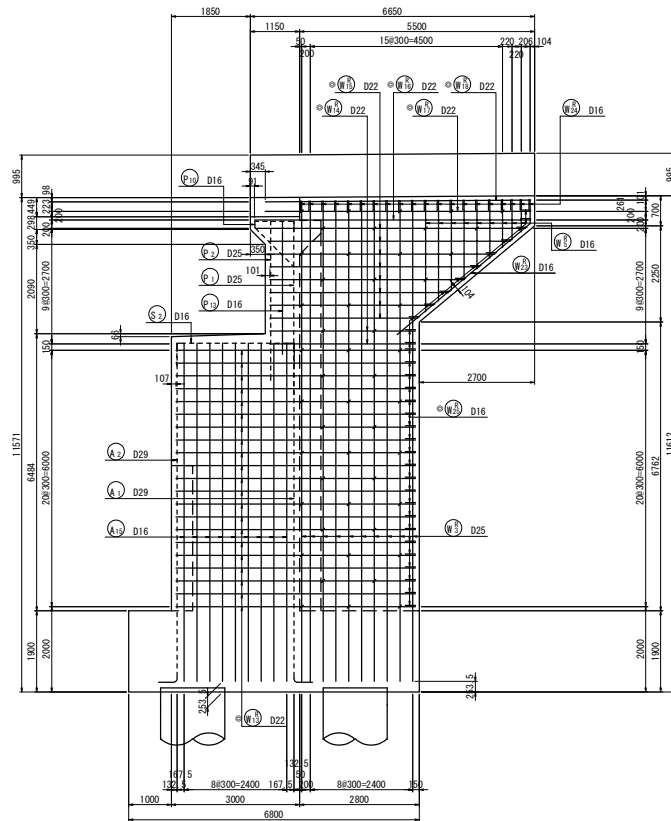
注1) ◎印鉄筋はエポキシ樹脂塗装鉄筋とする。  
注2) 鉄筋長は四捨五入の10mm丸めとする。

道 交 通 事 業 者 ト マ ム イ シ ャ ン				
久我の沢川橋（下り線） A2橋台配筋図（その8）				
縮 尺	図示	図面番号	46 / 73	
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所			
施工会社名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所			
事務所名				

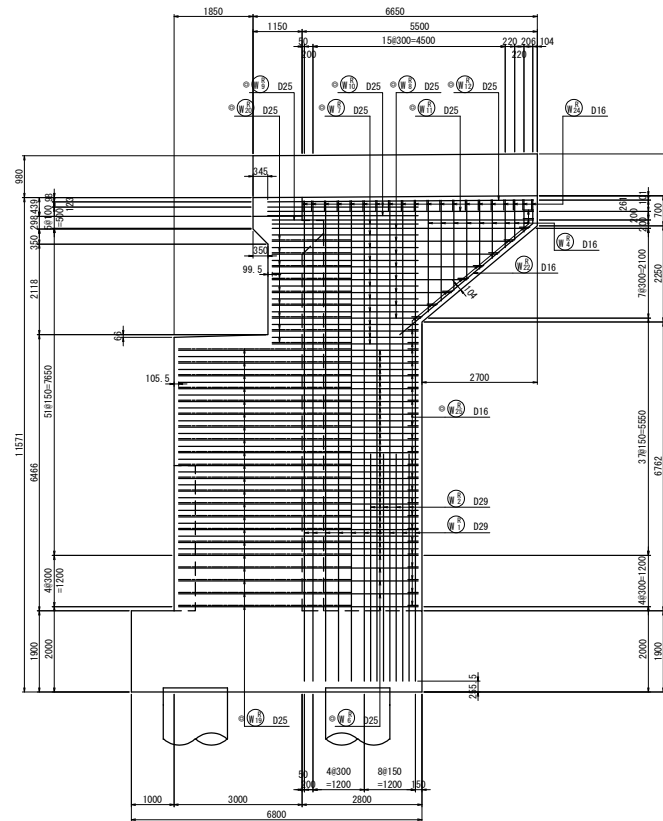


右側翼壁

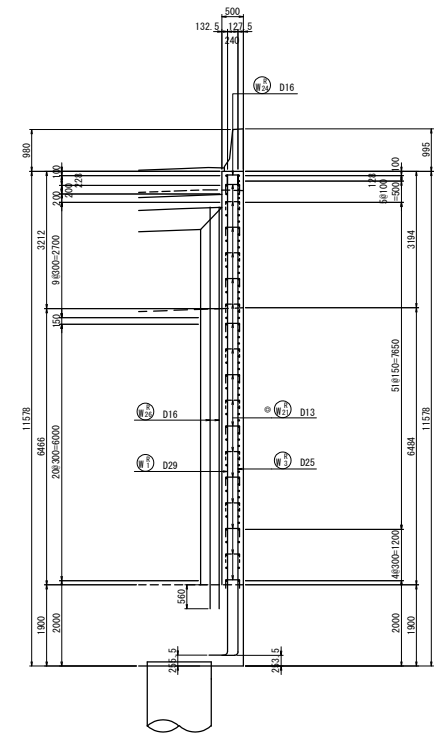
1 - 1（外側）



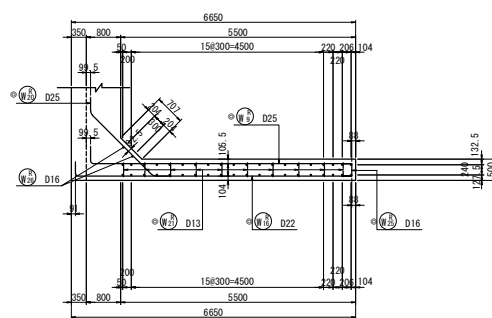
2 - 2（内側）



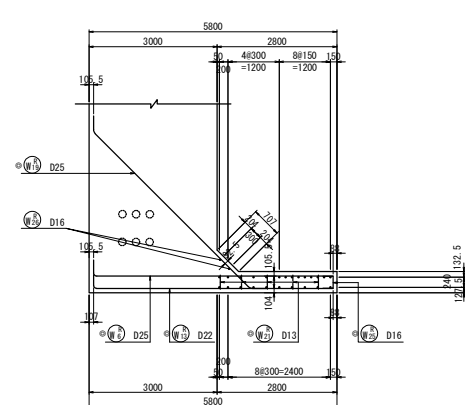
3 - 3



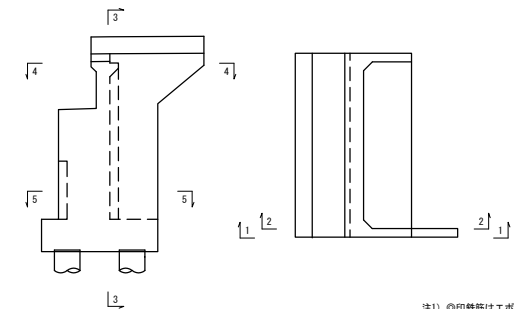
4 - 4



5 - 5

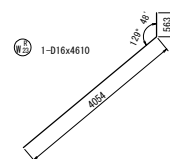
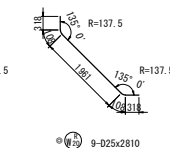
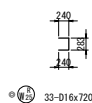
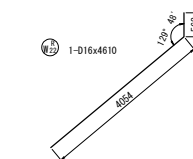
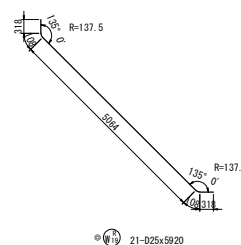
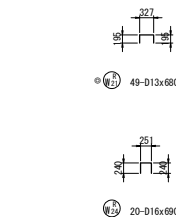
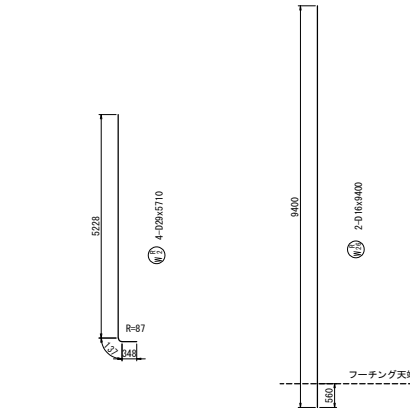
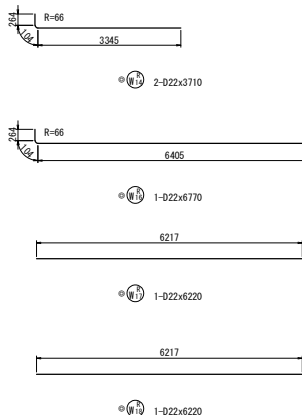
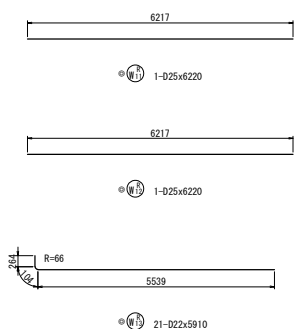
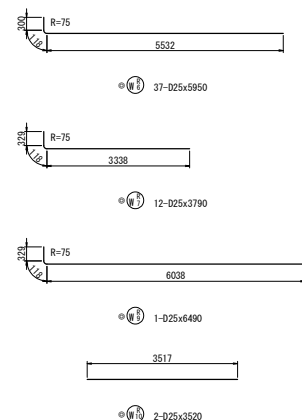
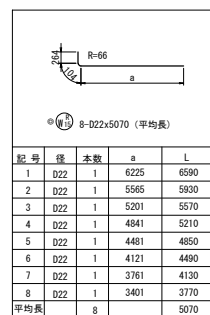
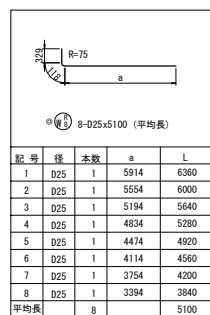
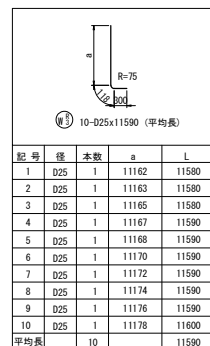
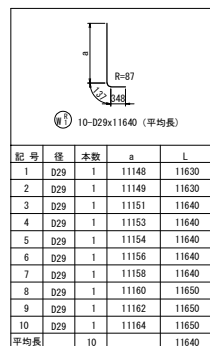


位置図



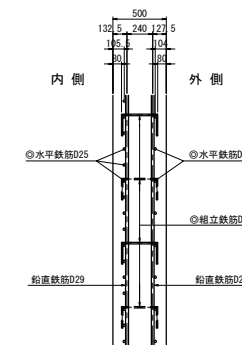
注1) ◎印鉄筋はエポキシ樹脂塗装鉄筋とする。  
注2) 鉄筋長は四捨五入の10mm丸めとする。

道 京 自 動 車 道 ト マ ム イ シ 工 事			
久我の沢川橋（下り線） A2橋台配筋図（その 9）			
縮 尺	図示	図面番号	47 / 73
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工務事務所		

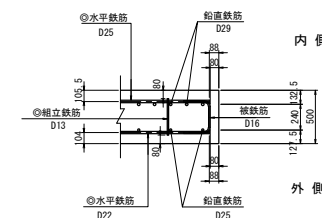


右側翼壁かぶり詳細図

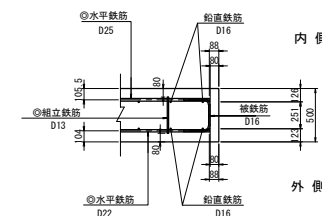
S=1:50



翼壁端部(フルウイング)



翼壁端部(パレルウイング)

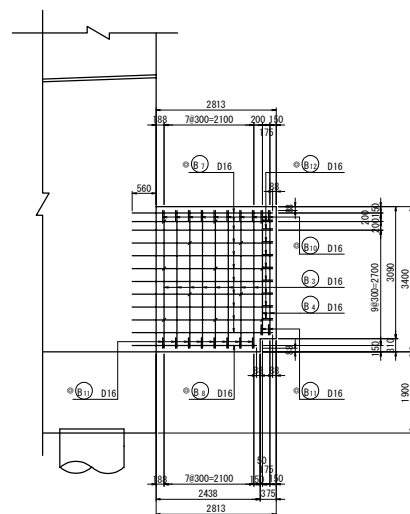


注1) ◎印鉄筋はエポキシ樹脂塗装鉄筋とする。  
注2) 鉄筋長は四捨五入の10mm丸めとする。

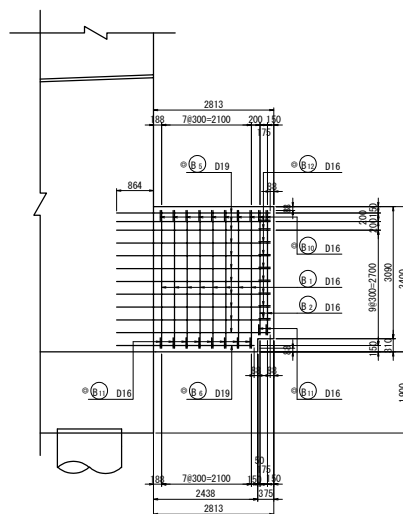
道 東 自 動 車 道 ト マ ム イ C 工 事				
図面の種類	久我の沢川橋（下り線） A2橋台配筋図（その 10）			
縮 尺	図示	図面番号	48 / 73	
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所			

土留め壁

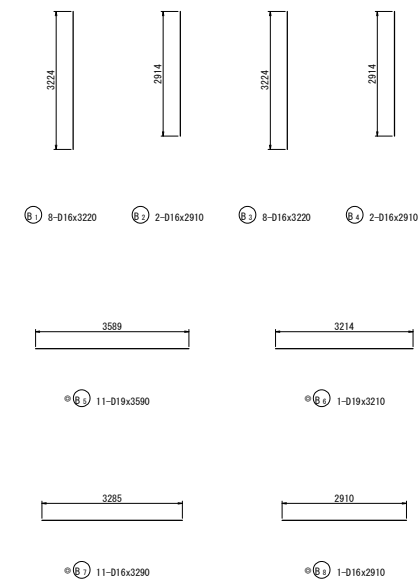
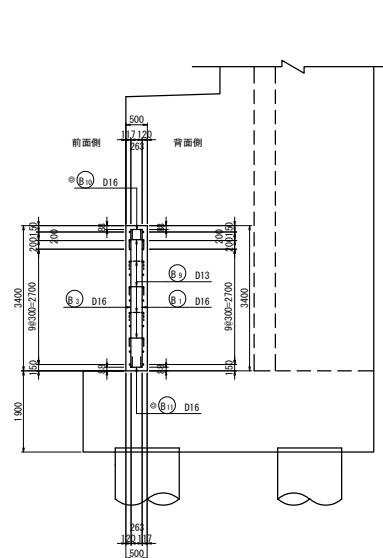
1 - 1（前面側）



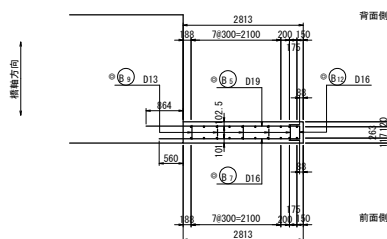
2 - 2（背面側）



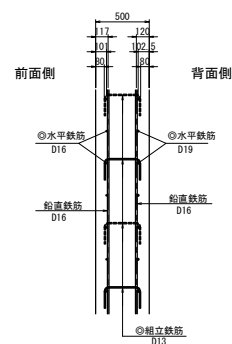
3 - 3



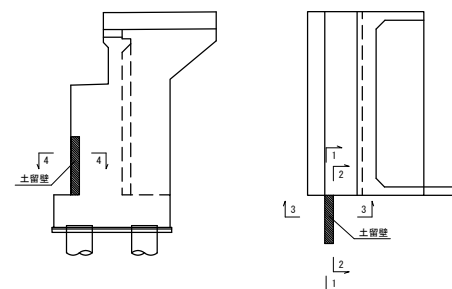
4 - 4



かぶり詳細図 S=1:50



位置図



注1) ◎印鉄筋はエポキシ樹脂塗装鉄筋とする。  
注2) 鉄筋長は四捨五入の10mm丸めとする。

道 東 自 動 車 道 ト マ ム イ シ 工 事			
久我の沢川橋（下り線） A2橋台配筋図（その 1 1）			
縮 尺	図示	図面番号	49 / 73
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

左側壁高欄断面図

右側壁高欄断面図

1 - 1

2 - 2

3 - 3

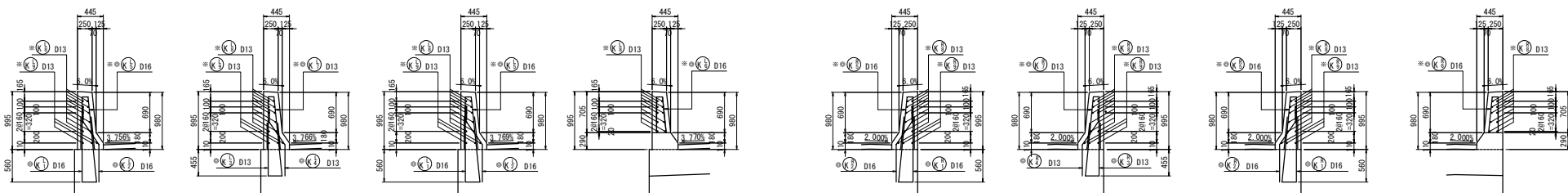
4 - 4

6 - 6

7 - 7

8 - 8

9 - 9

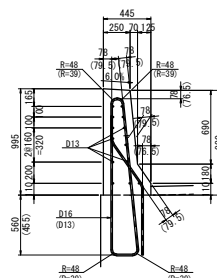
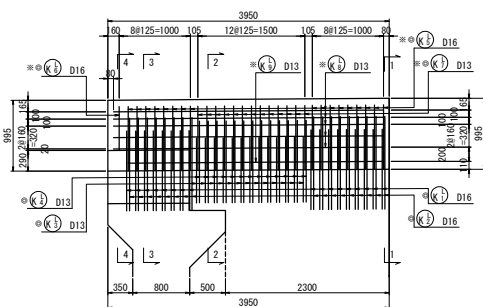


5 - 5

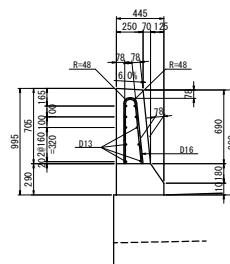
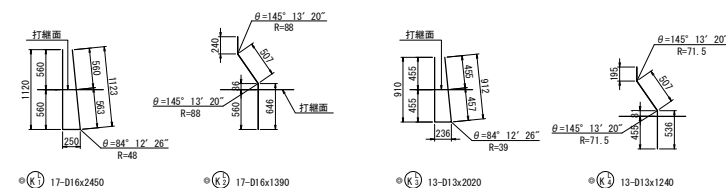
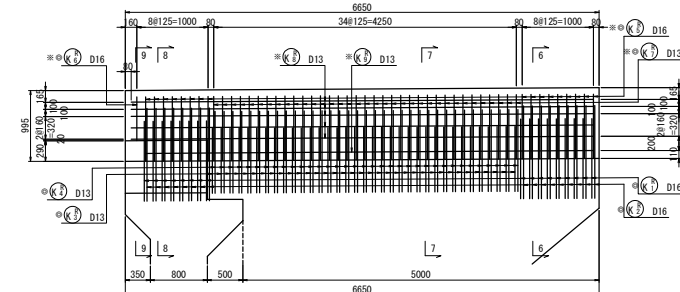
かぶり詳細図

S=1:50

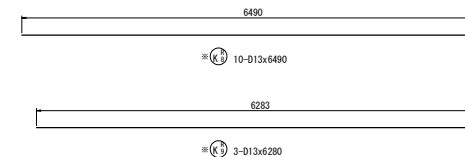
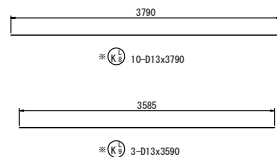
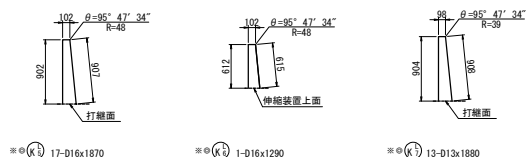
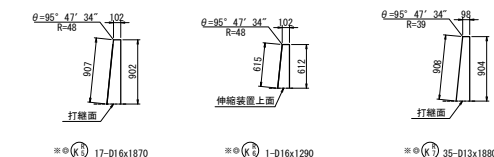
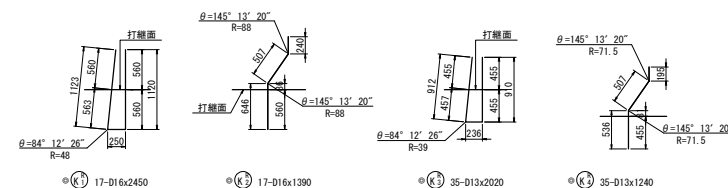
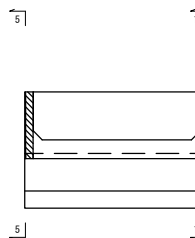
10 - 10



( ) 内はD13鉄筋の数値を表す。



位置図



注1) ◎印鉄筋はエポキシ樹脂塗装鉄筋とする。  
注2) ※印鉄筋は上部工施工鉄筋を示す。  
注3) 鉄筋長は四捨五入の10mm丸めとする。

道 交 自 動 車 道 ト マ ム イ C 工 事			
図面の種類	久我の沢川橋（下り線） A2橋台配筋図（その１２）		
	縮 尺	図示	図面番号 50 / 73
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工務事務所		

鉄筋表（下部工施工）

符号	径	長さ(mm)	本数	機械式鉄筋定着工法箇所数(箇所)	鉄筋質量(kg)	総質量(kg)	摘要
P	1	D25	4090	71	3.98	16.3	1157 平均長
2	D25	3760	37	3.98	15.0	555	平均長
3	D25	3000	10	3.98	11.9	119	平均長
4	D16	4860	21	1.56	7.58	159	平均長
5	D25	4500	10	3.98	17.9	179	平均長
6	D25	4500	11	3.98	17.9	197	平均長
7	D25	3000	11	3.98	11.9	131	平均長
8	D16	10600	11	1.56	16.5	182	平均長
9	D16	850	30	1.56	1.33	40	平均長
10	D16	2560	37	1.56	3.99	148	平均長
11	D16	10600	4	1.56	16.5	66	平均長
12	D16	3150	1	1.56	4.91	5	平均長
13	D16	3120	1	1.56	4.87	5	平均長
14	D16	840	45	1.56	1.31	59	平均長
15	D16	850	35	1.56	1.33	47	平均長

3049 kg

A	1	D29	8140	71	5.04	41.0	2911 平均長
2	D29	8140	36	5.04	41.0	1476	平均長
3	D19	11090	38	2.25	25.0	950	平均長
4	D19	10320	1	2.25	23.2	23	平均長
5	D19	6180	1	2.25	13.9	14	平均長
6	D19	2040	1	2.25	4.59	5	平均長
7	D19	11100	1	2.25	25.0	25	平均長
8	D19	11090	38	2.25	25.0	950	平均長
9	D19	10320	1	2.25	23.2	23	平均長
10	D19	6180	1	2.25	13.9	14	平均長
11	D19	2040	1	2.25	4.59	5	平均長
12	D19	11100	1	2.25	25.0	25	平均長
13	D19	3090	110	2.25	6.95	765	平均長
14	D16	7750	9	1.56	12.1	109	平均長
15	D16	8130	9	1.56	12.7	114	平均長

7459 kg

H	1	D16	2550	24	1.56	3.98	96	┌
	2	D16	2550	27	1.56	3.98	107	┌
	3	D16	2920	12	1.56	4.56	55	┐
							258	kg

258 kg

2	D25	5900	76	3.98	23.5	1786	[60]
3	D19	1820	40	2.25	4.10	164	
4	D16	10590	26	1.56	16.5	429	
5	D22	10590	12	3.04	32.2	386	
6	D16	10590	5	1.56	16.5	83	
7	D16	1820	60	1.56	2.84	170	
8	D16	2040	8	1.56	3.18	25	
9	D19	7140	14	2.25	16.1	225	
10	D19	10570	14	2.25	23.8	333	

5133 kg

E	1	D16	2950	32	1.56	4.60	147	2
	2	D16	10600	5	1.56	16.5	83	—
	3	D22	520	13	3.04	1.58	21	
	4	D13	1590	13	0.995	1.58	21	⚡
							272	kg

272 kg

1	D16	11690	10	1.56	18.2	182	
2	D16	3760	39	1.56	5.87	229	U
3	D16	3040	37	1.56	4.74	175	C [37]
						586	kg

586 kg

機械式鉄筋定着工法数量表（箇所数）-下部工施工（普通鉄筋）

鉄筋径	0<L≤1m	1m<L≤2m	2m<L≤3m	3m<L≤4m	4m<L≤5m	5m<L≤6m	6m<L≤7m	7m<L≤8m	8m<L≤9m	9m<L≤10m
D13										
D16		60								
D19										
D22										
D25										
小計		60								
合計										60

鉄筋表（下部工施工）

符号	径	長さ(mm)	本数	機械式鉄筋定着工法箇所数(箇所)	鉄筋質量(kg)	総質量(kg)	摘要
WL	1	D29	11290	10	5.04	56.9	569 平均長
2	D29	5710	4	5.04	28.8	115	平均長
3	D25	11240	10	3.98	44.7	447	平均長
4	D25	5950	35	3.98	23.7	830	平均長
5	D25	3790	21	3.98	15.1	317	平均長
6	D25	3520	3	3.98	14.0	42	平均長
7	D25	3520	1	3.98	14.0	14	平均長
8	D22	5910	20	3.04	18.0	360	平均長
9	D22	3710	9	3.04	11.3	102	平均長
10	D22	3520	1	3.04	10.7	11	平均長
11	D22	3520	1	3.04	10.7	11	平均長
12	D13	680	40	0.995	0.677	27	平均長
13	D25	5920	20	3.98	23.6	472	平均長
14	D25	2810	9	3.98	11.2	101	平均長
15	D16	690	10	1.56	1.08	11	平均長
16	D16	720	32	1.56	1.12	36	平均長
17	D16	9000	2	1.56	14.0	28	平均長
18	D22	4040	2	3.04	12.3	25	平均長

3518 kg

WR	1	D29	11640	10	5.04	58.7	587 平均長
2	D29	5710	4	5.04	28.8	115	平均長
3	D25	11590	10	3.98	46.1	461	平均長
4	D16	1640	9	1.56	2.56	23	平均長
5	D16	1640	9	1.56	2.56	23	平均長
6	D25	5950	37	3.98	23.7	877	平均長
7	D25	3790	12	3.98	15.1	181	平均長
8	D25	5100	8	3.98	20.3	162	平均長
9	D25	6490	1	3.98	25.8	26	平均長
10	D25	3520	2	3.98	14.0	28	平均長
11	D25	6220	1	3.98	24.8	25	平均長
12	D25	6220	1	3.98	24.8	25	平均長
13	D22	5910	21	3.04	18.0	378	平均長
14	D22	3710	2	3.04	11.3	23	平均長
15	D22	5070	8	3.04	15.4	123	平均長
16	D22	6770	1	3.04	20.6	21	平均長
17	D22	6220	1	3.04	18.9	19	平均長
18	D22	6220	1	3.04	18.9	19	平均長
19	D25	5920	21	3.98	23.6	496	平均長
20	D25	2810	9	3.98	11.2	101	平均長
21	D13	680	40	0.995	0.677	33	平均長
22	D16	4610	1	1.56	7.19	7	平均長
23	D16	4610	1	1.56	7.19	7	平均長
24	D16	690	20	1.56	1.08	22	平均長
25	D16	720	33	1.56	1.12	37	平均長
26	D16	9400	2	1.56	14.7	29	平均長

3848 kg

B	1	D16	3220	8	1.56	5.02	40
2	D16	2910	2	1.56	4.54	9	
3	D16	3220	8	1.56	5.02	40	
4	D16	2910	2	1.56	4.54	9	
5	D19	3590	11	2.25	8.08	89	
6	D19	3210	1	2.25	7.22	7	
7	D16	3290	11	1.56	5.13	56	
8	D16	2910	1	1.56	4.54	5	
9	D13	680	13	0.995	0.677	9	
10	D16	700	10	1.56	1.09	11	
11	D16	700	10	1.56	1.09	11	
12	D16	730	9	1.56	1.14	10	

296 kg

Y	1	D16	500	16	1.56	0.780	12
							12

12 kg

鉄筋表（下部工施工）

符号	径	長さ(mm)	本数	機械式鉄筋定着工法箇所数(箇所)	鉄筋質量(kg)	総質量(kg)	摘要
U	1	D13	1600	66	0.995	1.59	105 平均長
2	D13	1000	66	0.995	0.995	66	平均長
						171	kg
KL	1	D16	2450	17	1.56	3.82	65 平均長
2	D16	1390	17	1.56	2.17	37	平均長
3	D13	2020	13	0.995	2.01	26	平均長
4	D13	1240	13	0.995	1.23	16	平均長
						144	kg
KR	1	D16	2450	17	1.56	3.82	65 平均長
2	D16	1390	17	1.56	2.17	37	平均長
3	D13	2020	35	0.995	2.01	70	平均長
4	D13	1240	35	0.995	1.23	43	平均長
						215	kg

215 kg

下部工施工鉄筋質量

普通鉄筋	SD345	A種鉄筋	B種鉄筋	C種鉄筋	合計	(機械継手)	(機械定着)
	035						kg
	032						kg
	029	5773			5773		kg
	025	5938			5938		kg
	022	407			407		kg
	019	727			722		kg
	D16	1542		170	1712		[60]
	D13	219			219		kg
	合 計	14601		170	14771		[60]

下部工施工鉄筋質量

SD345	A種鉄筋	B種鉄筋	C種鉄筋	合計	(機械継手)	(機械定着)
	035					kg
	032					kg
	029					kg
	025	4323		4323		kg
	022	1092		1092		kg
	019	2130		765	2895	[110]
	D16	1312		321	1633	[147]
	D13	197			197	kg
	合 計	9054		1086	10140	[257]

下部工施工鉄筋総質量

合計	SD345	A種鉄筋	B種鉄筋	C種鉄筋	合計	(機械継手)	(機械定着)
	035						kg
	032						kg
	029	5773			5773		kg
	025	10261			10261		kg
	022	1499			1499		kg
	019	2852		765	3617		[110]
	016	2854		491	3345		[207]
	D13	416			416		kg
	合 計	23655		1256	24911		[317]

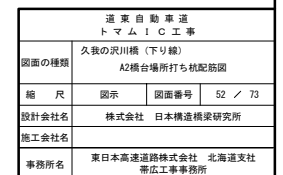
注1) [ ]内は鉄筋定着工法箇所数を示す。

( )内は機械式継手箇所を示す。

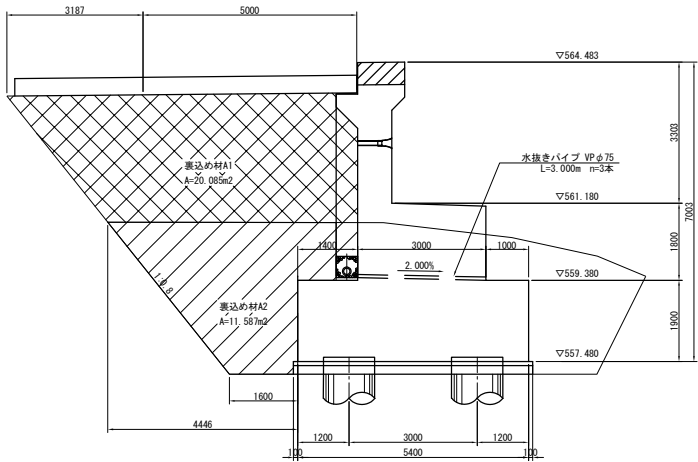
Cは機械式鉄筋定着工法を示す。

鉄筋表（上部工施工）（別途工事）

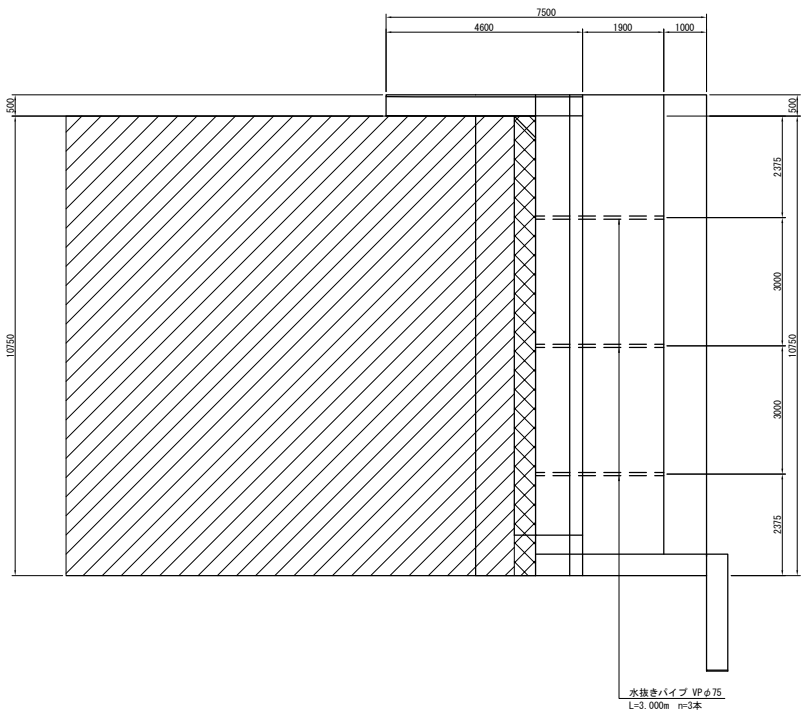
符号	径	長さ(mm)	本数	機械式鉄筋定着工法箇所数(箇所)	鉄筋質量(kg)	総質量(kg)	摘要
KL	5	D16	1870	17	1.56	2.92	50 平均長
6	D16	1280	1	1.56	2.01	2	平均長
7	D13	1890	13	0.995	1.87	24	



断面図



平面図



材料表

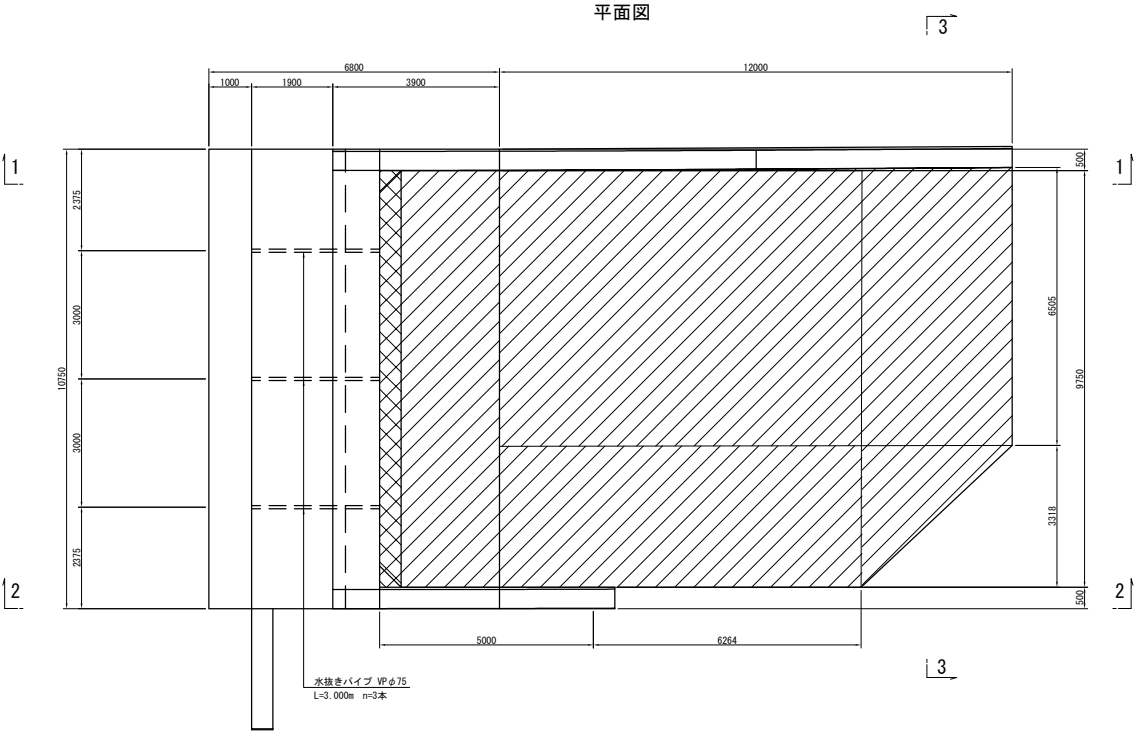
項目	種別	単位	数量	備考
水抜きパイプ	VPφ75	m	9.0	

道 交 自 動 車 道 ト マ ム イ シ 工 事			
図面の種類	久我の沢川橋（下り線） A1橋台裏込め詳細図		
縮 尺	図示	図面番号	53 / 73
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

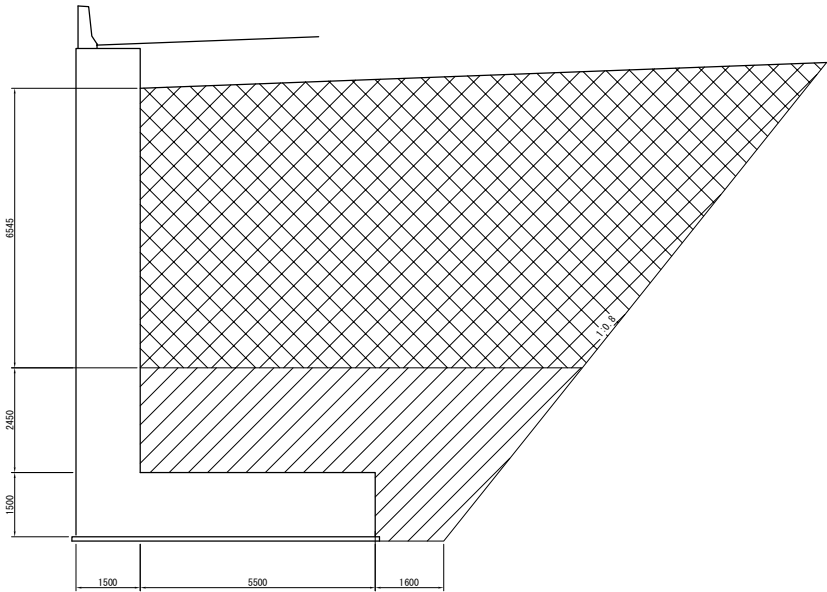




平面図



3-3断面図

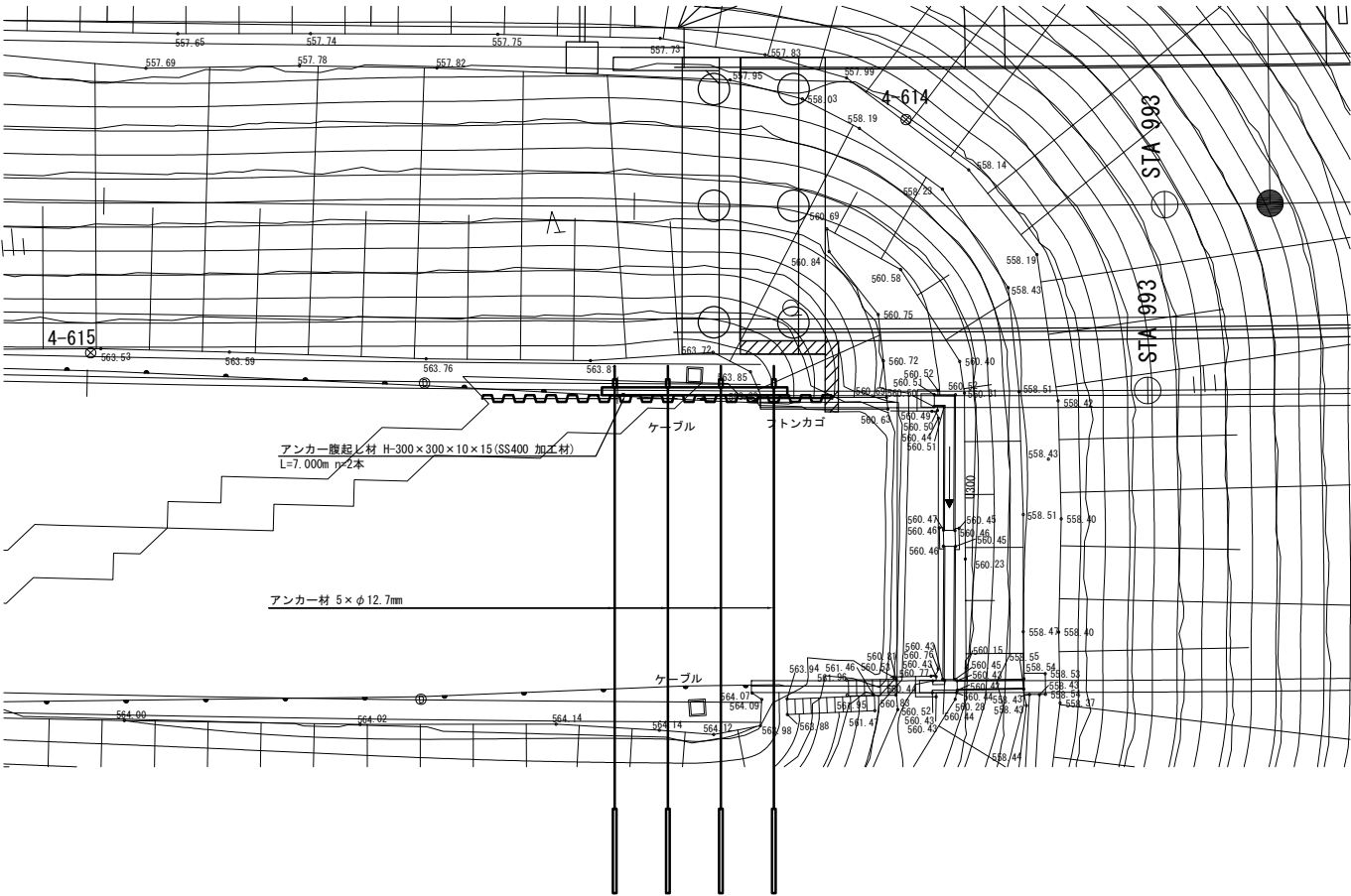


材料表

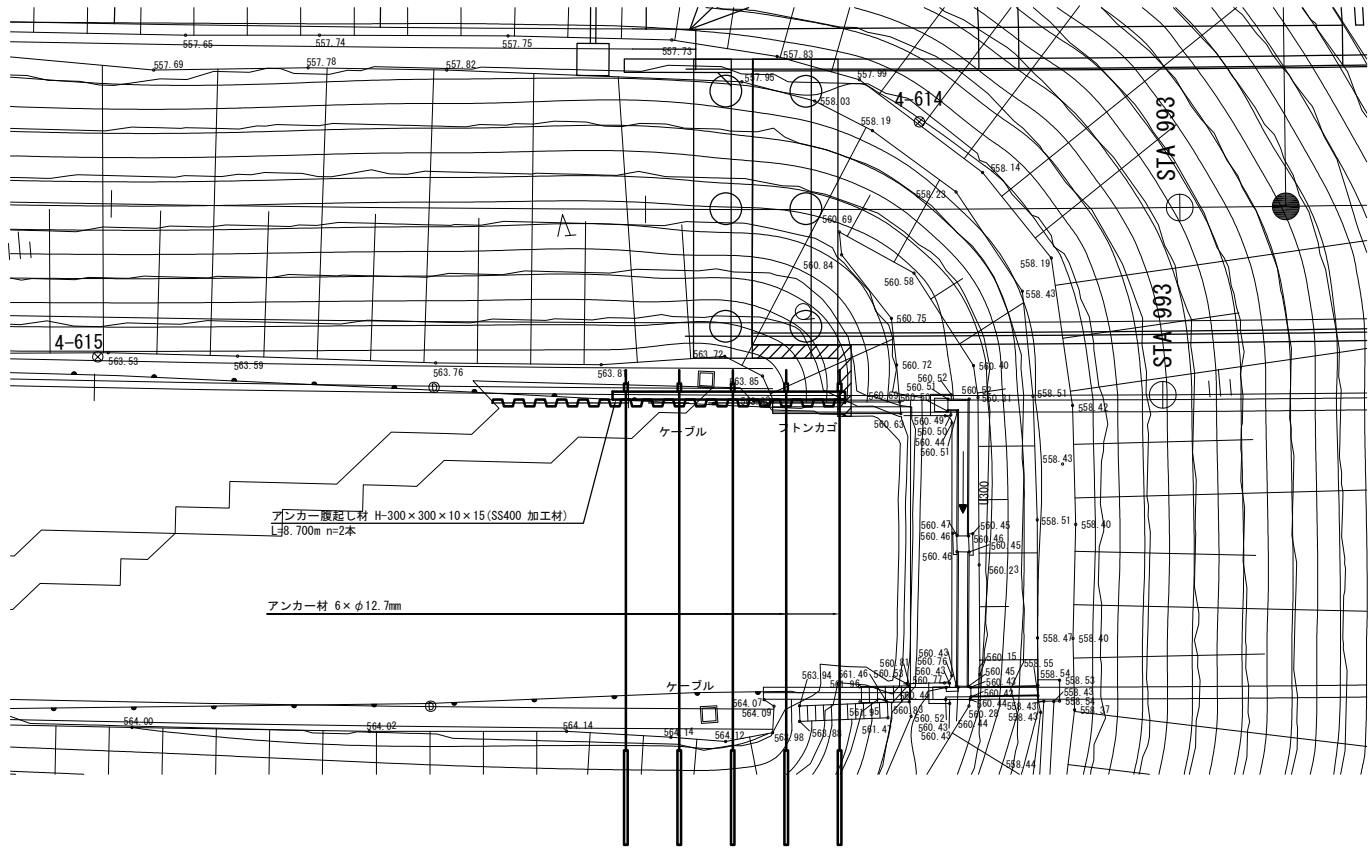
項目	種別	単位	数量	摘要
水抜きパイプ	VPφ75	m	9.0	

道 交 自 動 車 道 ト マ ム イ C 工 事			
図面の種類	久我の沢川橋（下り線） A2橋台裏込め詳細図（その2）		
	縮 尺	図示	図面番号 55 / 73
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

<一段目>平面図



＜二段目＞平 面 図



A1橋台部 仮設土留工数量表

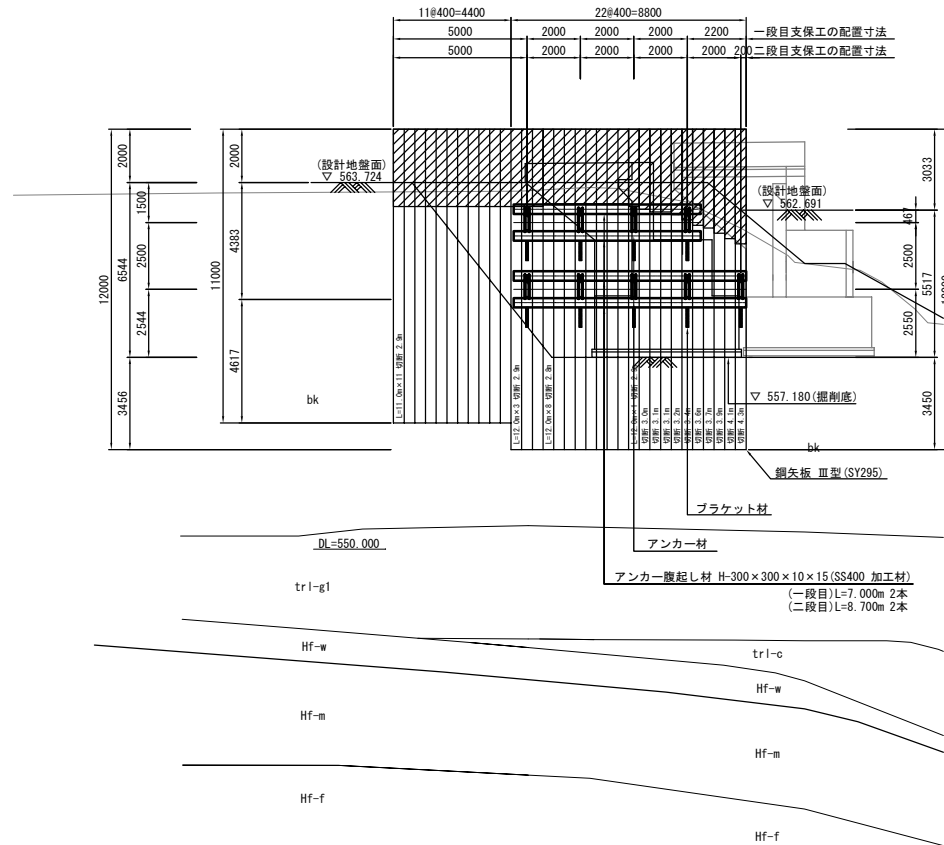
種 別	鋼 材 形 式	部材長 (mm)	本数 (本)	単位質量 (kg/m)	一本当り質量 (kg/本)	質 量 (kg)	材 質	摘 要
鋼矢板	Ⅲ型	12000	22	60.0	720.0	15840	SY295	
〃	〃	11000	11	60.0	660.0	7260	〃	
小計						23100 kg		
アンカー-起し材	H-300×300×10×15	7000	2	100.0	700.0	1400	SS400 加工材	一段目
〃	〃	8700	2	100.0	870.0	1740	〃	二段目
小計						3140 kg		
ブラケット材	L-130×130×15	2050	4	28.8	59.0	236	SS400	一段目
〃	〃	2050	5	28.8	59.0	295	SS400	二段目
小計						531 kg		
鋼製台座	PL-900×350×12		8		17.9	143		一段目
〃	PL-900×350×16		10		23.9	239		二段目
小計						382 kg		
合計						27153 kg		
アンカー材	5×φ12.7mm		4					一段目
〃	6×φ12.7mm		5					二段目
						9 本		

土留め壁 切断・撤去 数量表

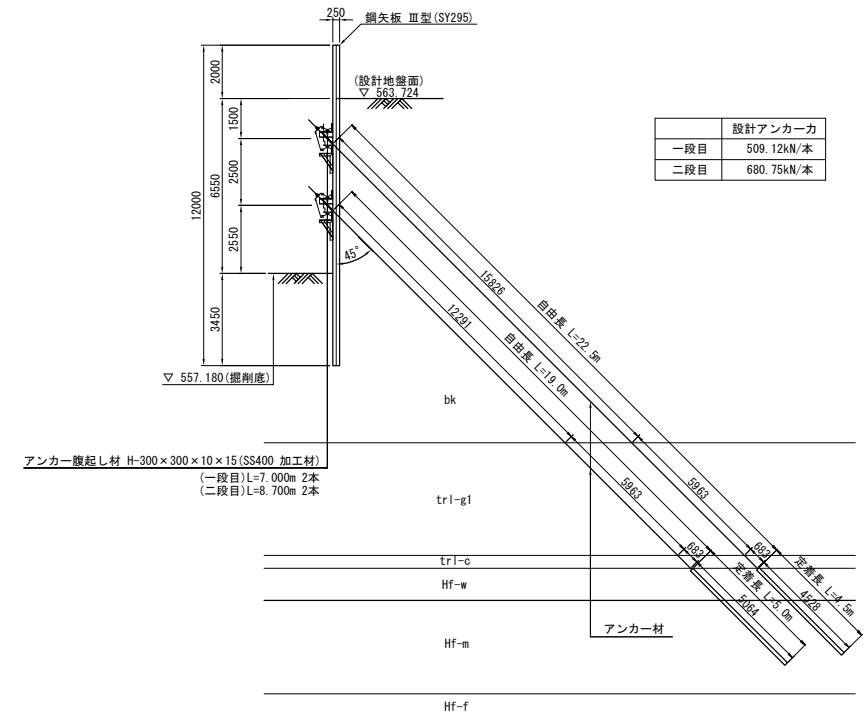
種別	仕様	単位	単位体積重量	長さ(m)	箇所数	合計	摘要
切断		m	—	0.4	33	13.2	
撤去	鋼矢板Ⅲ型	t	0.06	2.8~4.3	33	6.1	総延長 L=101.3m

道 交 自 動 車 道 ト マ ム イ C 工 事			
図面の種類	久我の沢川橋（下り線） A1橋台土留め工計画図（その2）		
	縮 尺	図 示	図面番号 57 / 73
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工務事務所		

展開図



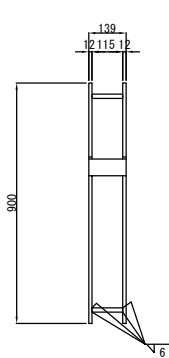
断面図



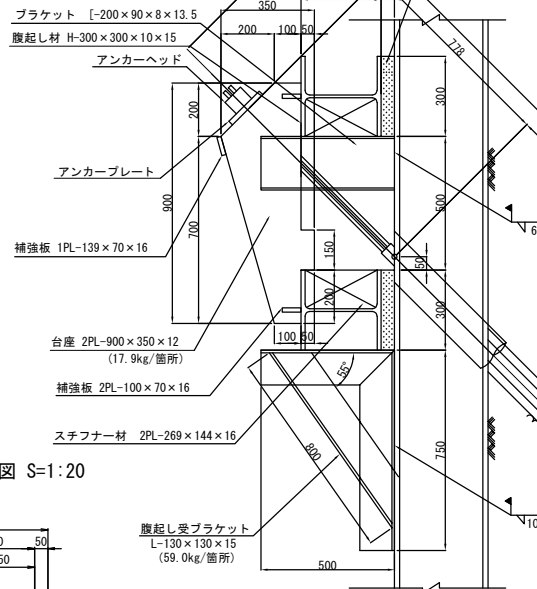
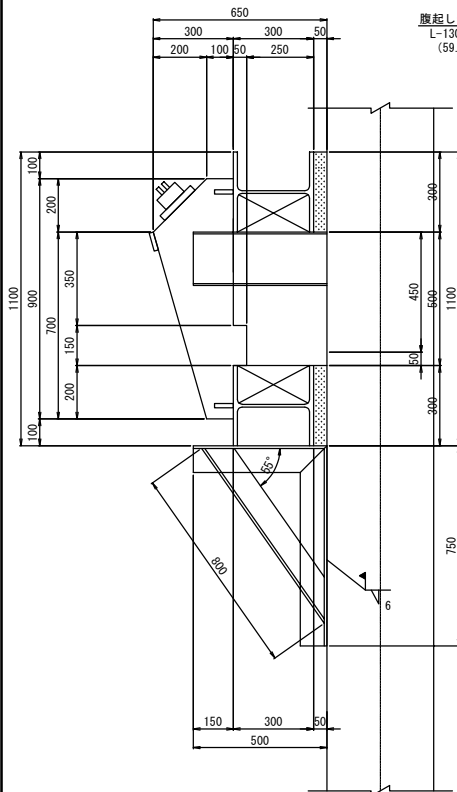
	設計アンカー力
一段目	509.12kN/本
二段目	680.75kN/本

道 東 自 動 車 道 ト マ ム イ C 工 事			
図面の種類	久我の沢川橋（下り線） A1橋台土留の工面図面（その3）		
縮 尺	図 示	図面番号	58 / 73
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

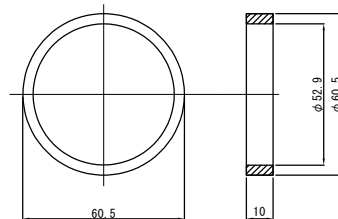
鋼製台座正面図 S=1:20



アンカー頭部詳細図 S=1:20



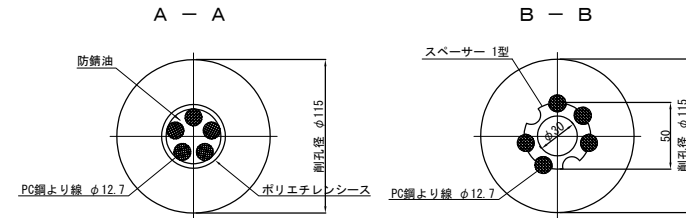
スチールリング 2型 S=1:2



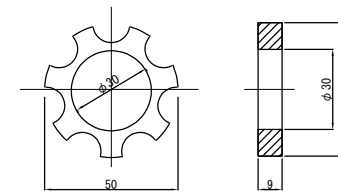
パイロットキャップ 2型 S=1:8



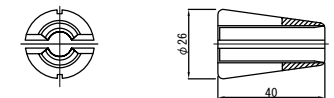
断面図 S=1:4



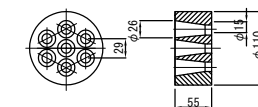
スペーサー 1型 S=1:2



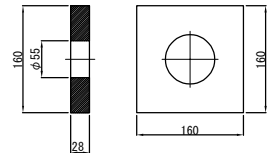
くさび S=1:2



アンカーヘッド S=1:8



支圧板 S=1:8



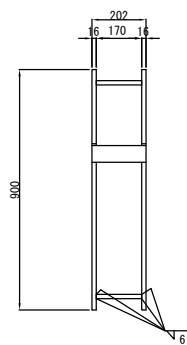
※土留めから地山側に打込むアンカー一部材は残置とするが、鋼製台座や腹起しプレート等は撤去を行う。

道 交 自 動 車 道 ト マ ム イ C 工 事			
図面の種類	久我の沢川橋（下り線） P1橋台土留めの工計画図（その4）		
縮 尺	図 示	図面番号	59 / 73
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

アンカー詳細図 S=1:20  
(二段目 : 6 ×  $\phi 12.7$  @2.00m)

断面図 S=1:4

鋼製台座正面図 S=1:20



ブラケット L-200×90×8×13.5

腹起し材 H-300×300×10×15

アンカーヘッド

アンカープレート

補強板 1PL-202×70×16

台座 2PL-900×350×16  
(23.9kg/箇所)

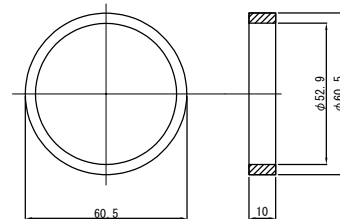
補強板 2PL-100×70×16

アンカー頭部詳細図 S=1:20

ステフナー材 2PL-269×144×16

腹起し受ブラケット  
L-130×130×15  
(59.0kg/箇所)

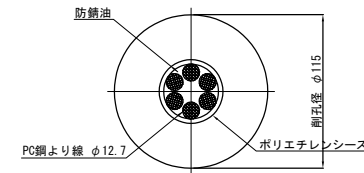
スチールリング 2型 S=1:2  
 $\phi 60.5 \times 10$



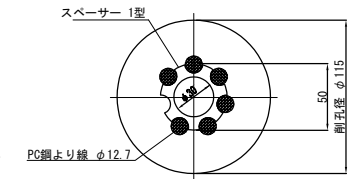
パイロットキャップ 2型 S=1:8  
 $\phi 46.6/39.6 \times 200$



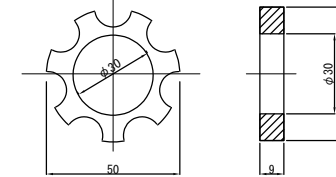
A - A



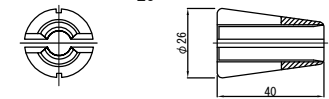
B - B



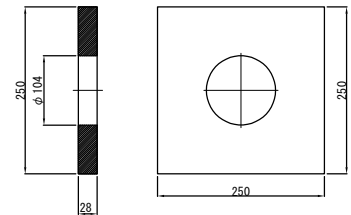
スパース 1型 S=1:2  
 $\phi 50 \times 9$



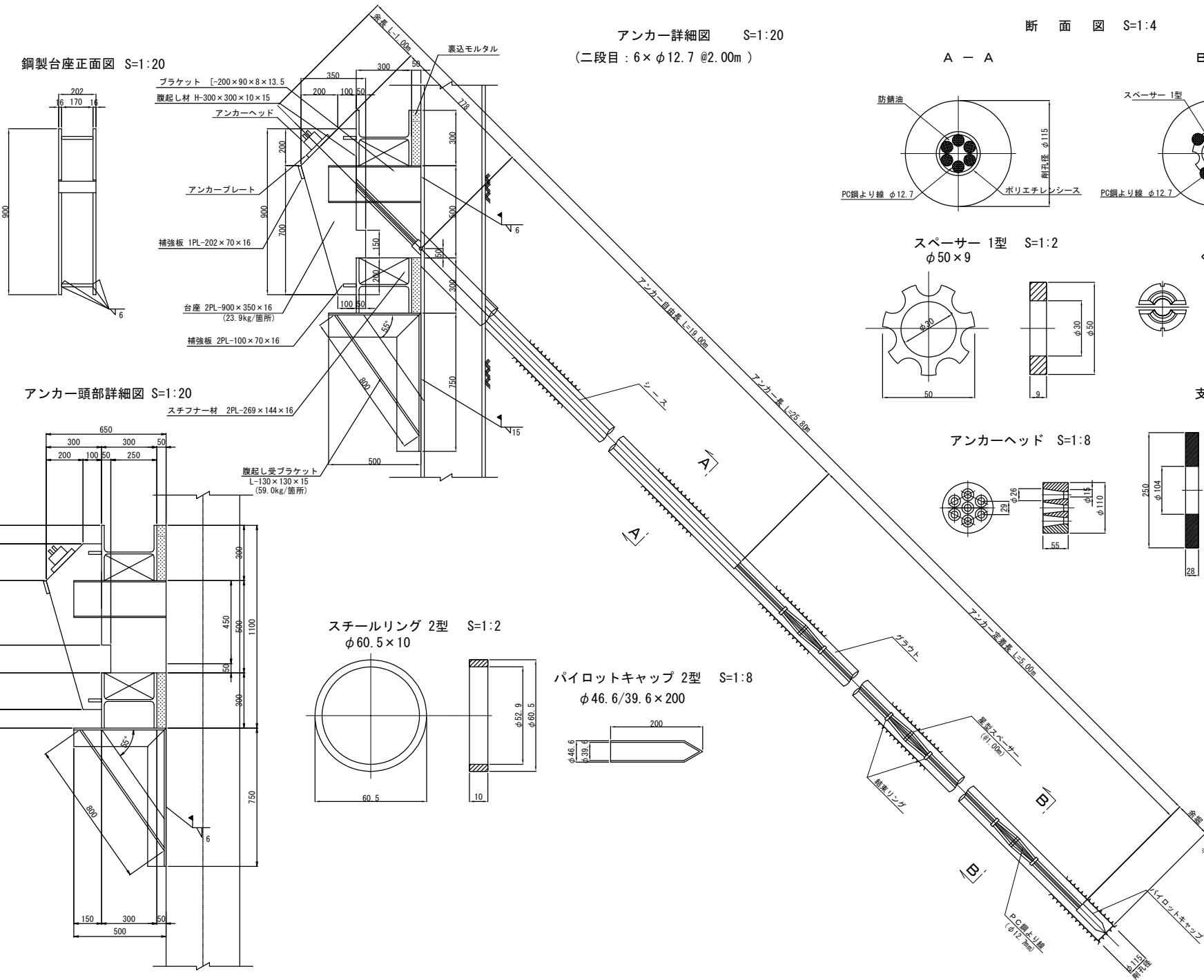
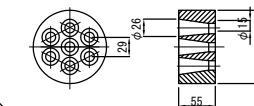
くさび S=1:2  
E5



支圧板 S=1:8



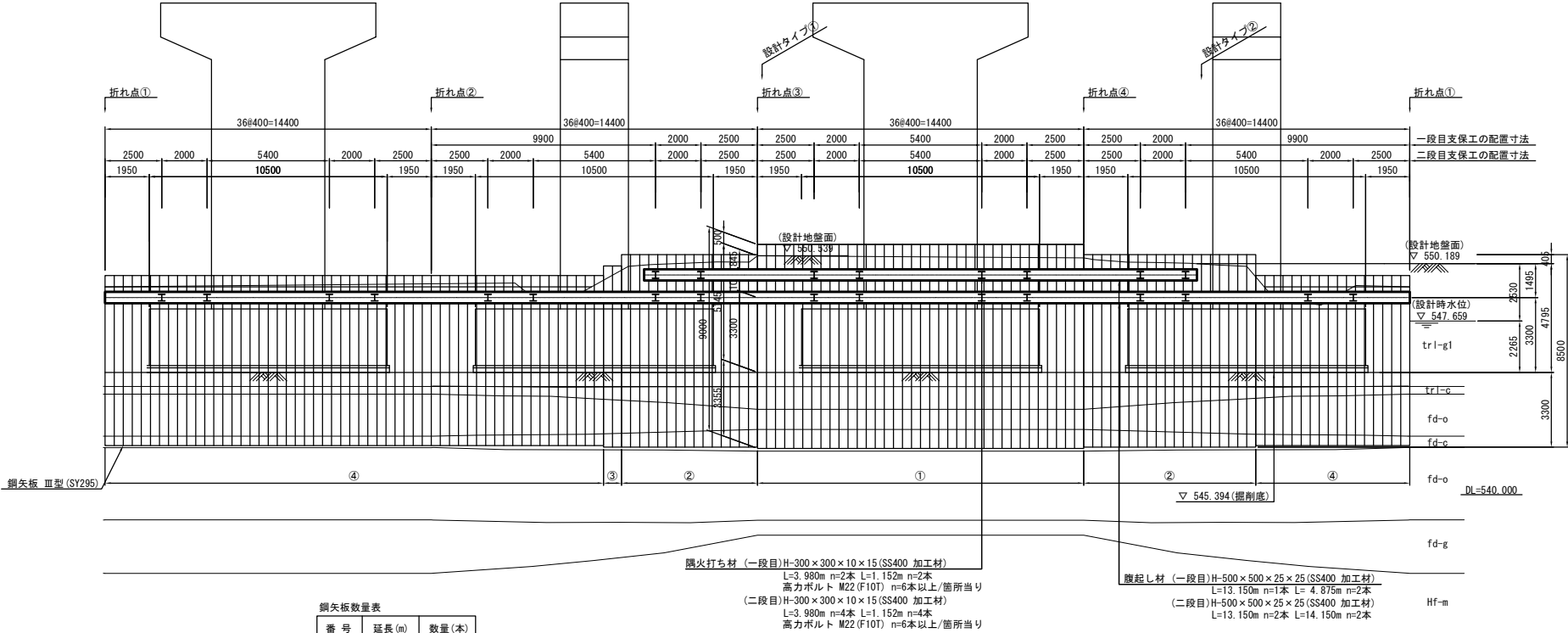
アンカーヘッド S=1:8



※土留めから地山側に打込むアンカー一部材は残置とするが、鋼製台座や腹起しブラケット等は撤去を行う。

道 交 自 動 車 道 ト マ ム イ シ 工 事			
図面の種類	久我の沢川橋（下り線） P1橋台土留めの工計画図（その5）		
縮 尺	図 示	図面番号	60 / 73
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

展開図

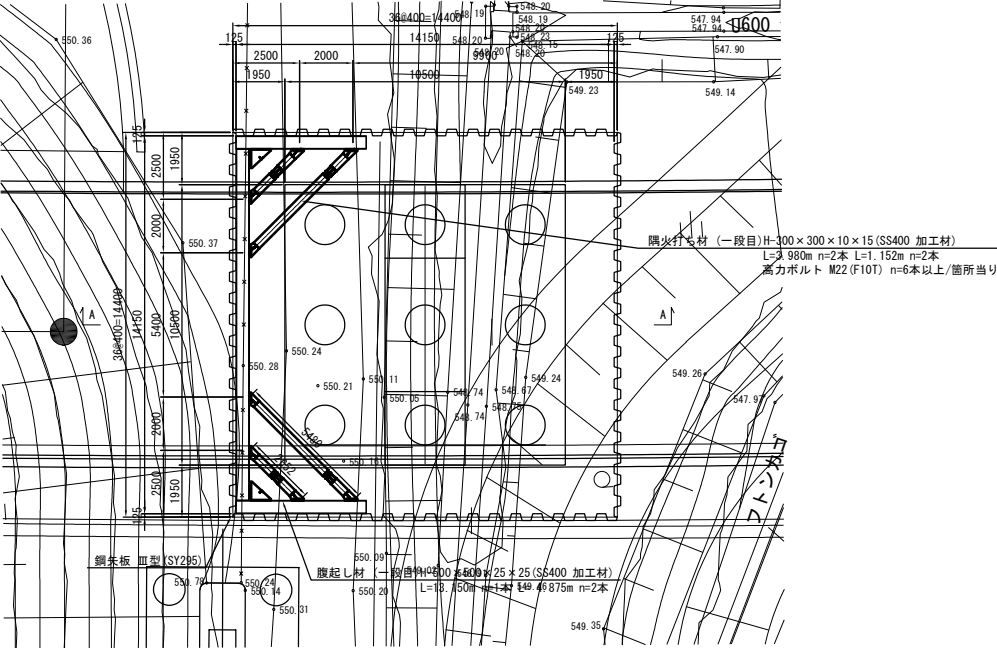


鋼矢板数量表		
番号	延長 (m)	数量 (本)
①	9.0	36
②	8.5	34
③	8.0	2
④	7.5	72

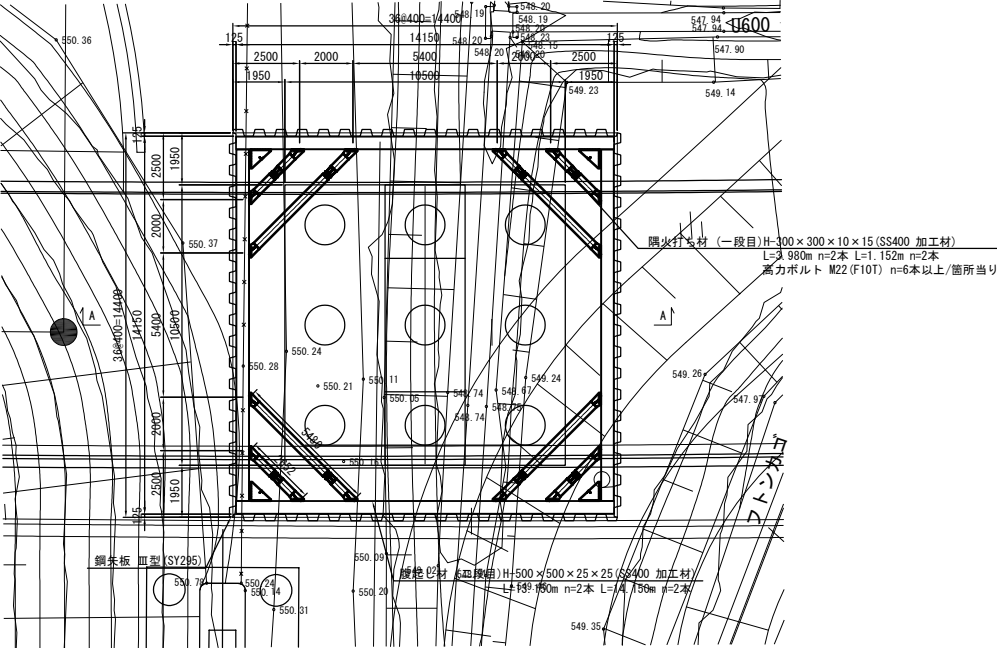
道 京 自 動 車 道 ト マ ム イ シ 工 事			
図面の種類	久我の沢川橋（下り線） P1橋脚土留め工計画図（その1）		
	縮 尺	図 示	図面番号 61 / 73
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

平面図

＜一段目＞

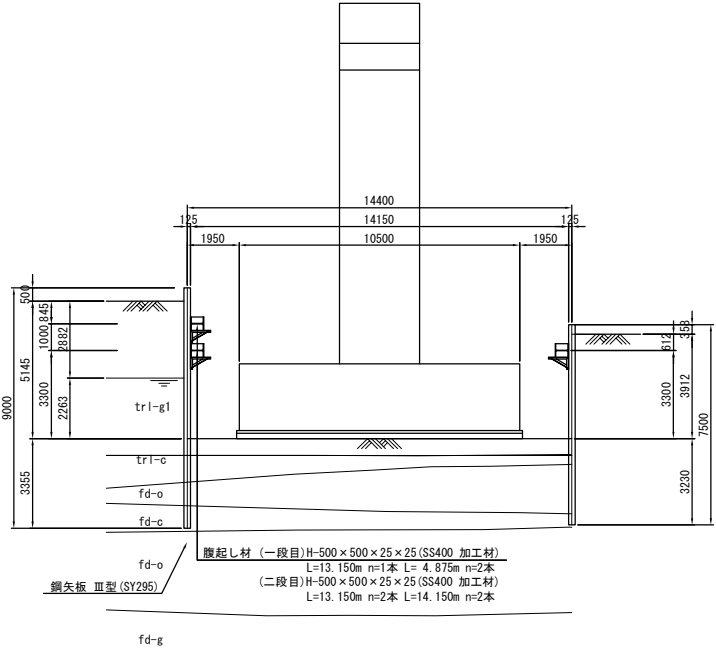


＜二段目＞



断面図

A - A



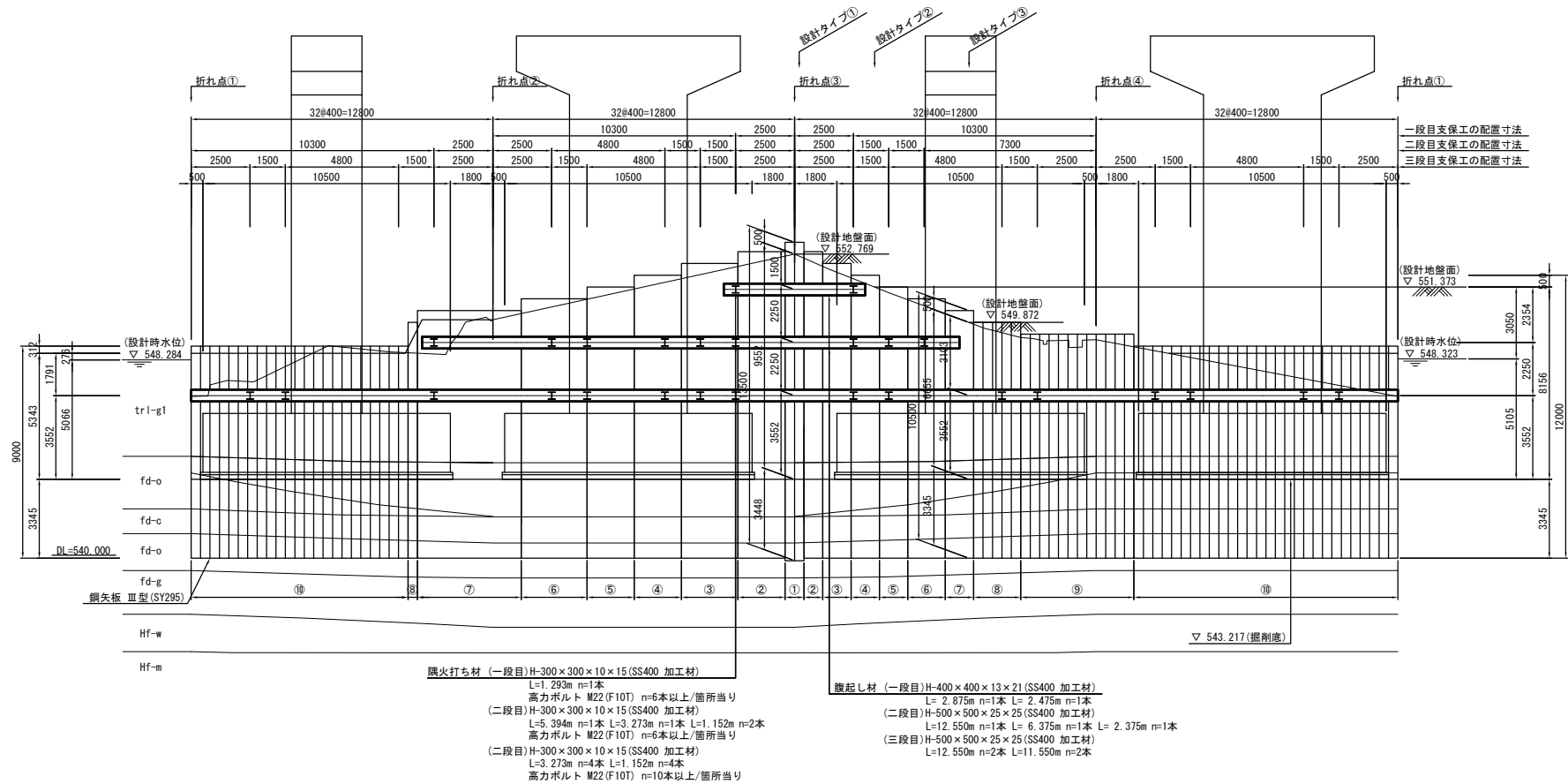
P1橋脚部 仮設土留工数量表

種別	鋼材形式	部材長 (mm)	本数 (本)	単位質量 (kg/m)	一本当り質量 (kg/本)	質量 (kg)	材質	摘要
鋼矢板	Ⅲ型	9000	36	60.0	540.0	19440	SY295	
"	"	8500	34	60.0	510.0	17340	"	
"	"	8000	2	60.0	480.0	960	"	
"	"	7500	72	60.0	450.0	32400	"	
小計						70140 kg		
腹起し材	H-500×500×25×25	13150	1	300.0	3945.0	3945	SS400 加工材	一段目
"	"	4875	2	300.0	1462.5	2925	"	"
"	"	13150	2	300.0	3945.0	7890	SS400 加工材	二段目
"	"	14150	2	300.0	4245.0	8490	"	"
隅火打ち材	H-300×300×10×15	3980	2	100.0	398.0	796	SS400 加工材	一段目
"	"	1152	2	100.0	115.2	230	"	"
"	"	3980	4	100.0	398.0	1592	"	二段目
"	"	1152	4	100.0	115.2	461	"	"
小計						26329 kg		
隅部ピース	H-500用		6		171.0	1026		
小計						1026 kg		
火打ピース	H-300用		24		50.0	1200		
小計						1200 kg		
副部材B						1053 kg		
合計						99748 kg		

道東自動車道 トマムIC工事			
久我の沢川橋（下り線） P1橋脚土留め工計画図（その2）			
図面の種類	図示	図面番号	62 / 73
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		
事務所名			



展開図



鋼矢板數量表

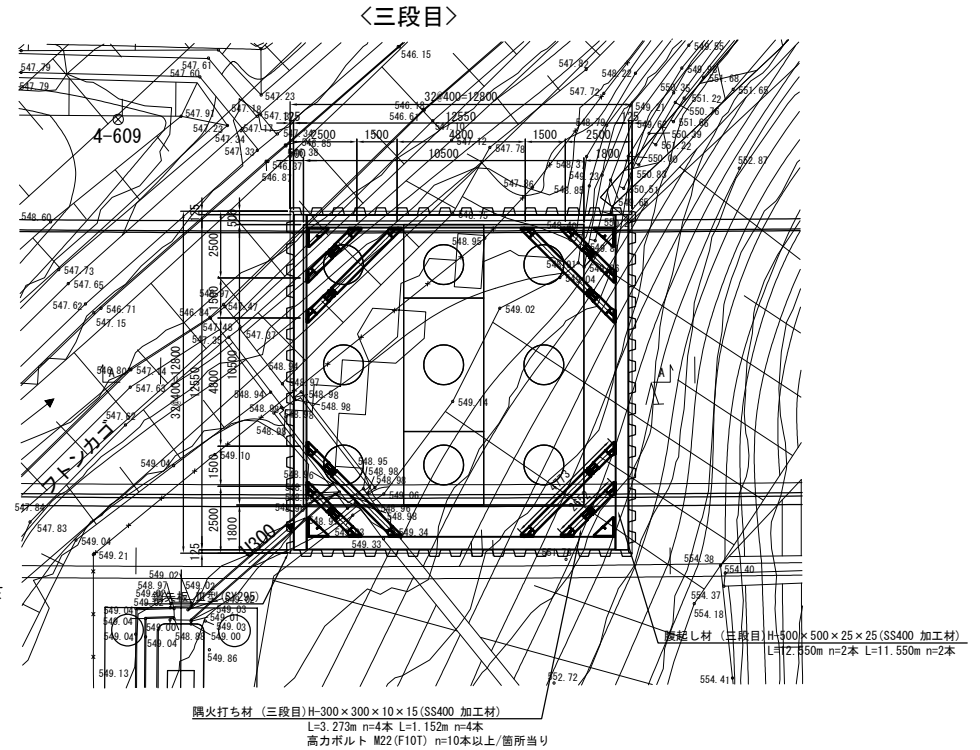
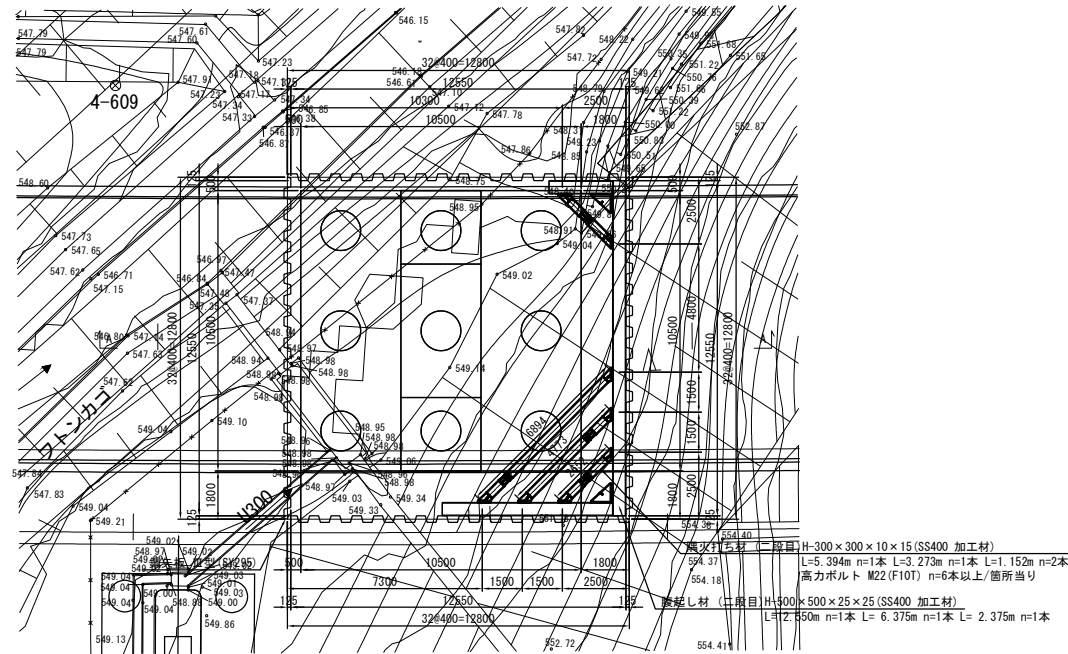
番 号	延長(m)	数量(本)	番 号	延長(m)	数量(本)
①	13.5	2	⑥	11.0	11
②	13.0	7	⑦	10.5	14
③	12.5	9	⑧	10.0	6
④	12.0	8	⑨	9.5	12
⑤	11.5	8	⑩	9.0	51

道 東 自 動 車 道 ト マ ム イ C 工 事			
図面の種類	久我の沢川橋（下り線） 2橋脚土留の工計画図（その１）		
縮 尺	図 示	図面番号	63 / 73
設計会社名	株式会社 日本橋構造梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支 帯広工事事務所		



平面图

＜二段目＞

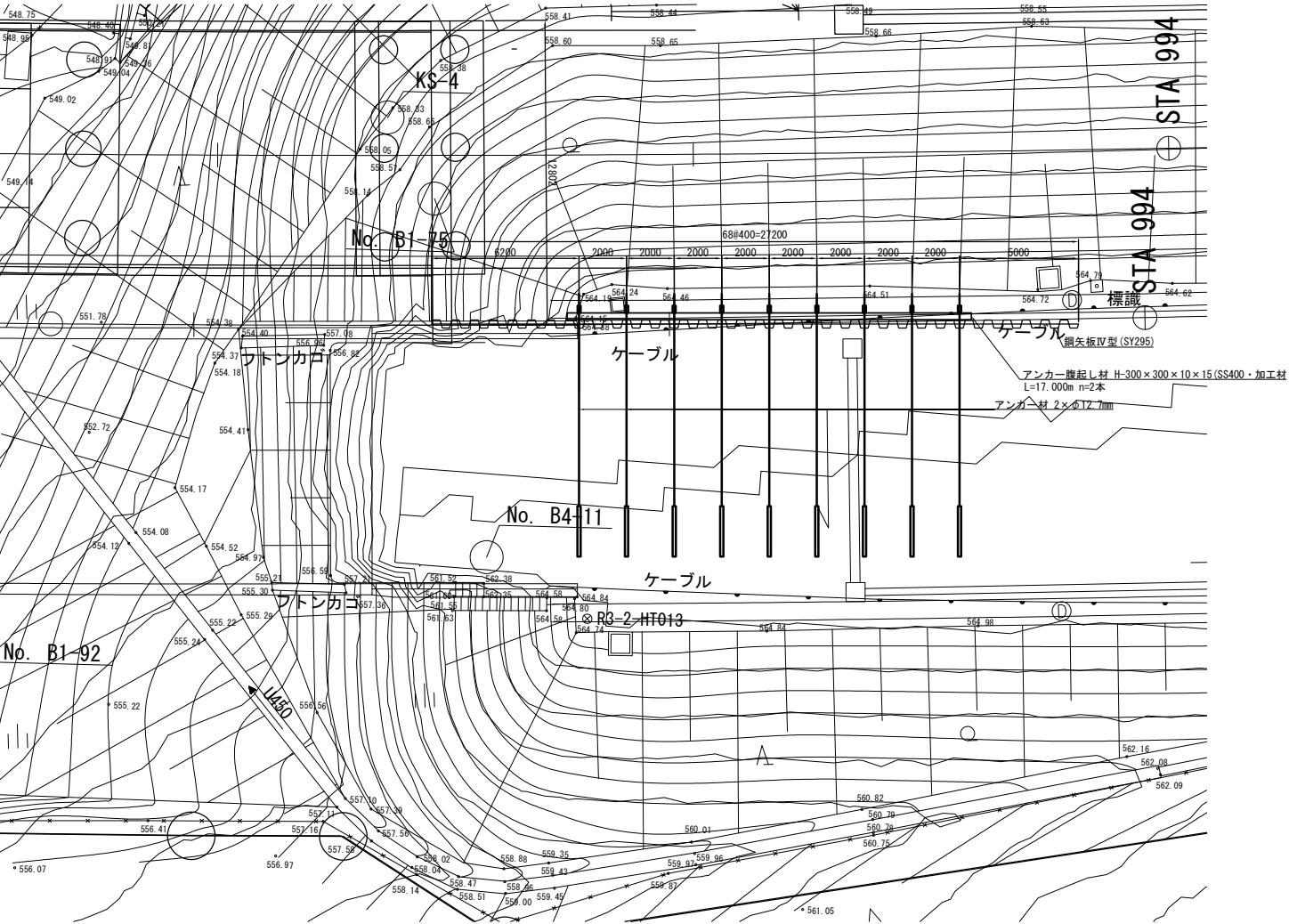


P2橋脚部 仮設土留工数量表

種 別	鋼 材 形 式	部材長 (mm)	本数 (本)	単位質量 (kg/m)	一本当り質量 (kg/本)	質 量 (kg)	材 質	摘 要
鋼底板	皿 型	13500	2	60.0	810.0	1620	SS400	
"	"	13000	7	60.0	780.0	5460	"	
"	"	12500	9	60.0	750.0	6750	"	
"	"	12000	8	60.0	720.0	5760	"	
"	"	11500	8	60.0	690.0	5520	"	
"	"	11000	11	60.0	660.0	7260	"	
"	"	10500	14	60.0	630.0	8820	"	
"	"	10000	6	60.0	600.0	3600	"	
"	"	9500	12	60.0	570.0	6840	"	
"	"	9000	51	60.0	540.0	27540	"	
小計						79170 kg		
腹起し材	H-400×400×13×21	2875	1	200.0	575.0	575	SS400 加工材	一段目
"	"	2475	1	200.0	495.0	495	"	"
"	H-500×500×25×25	12550	1	300.0	3765.0	3765	SS400 加工材	二段目
"	"	6375	1	300.0	1912.5	1913	"	"
"	"	2375	1	300.0	712.5	713	"	"
"	H-500×500×25×25	12550	2	300.0	3765.0	7530	SS400 加工材	三段目
"	"	11550	2	300.0	3465.0	6930	"	"
隅方打ち材	H-300×300×10×15	1293	1	100.0	129.3	129	SS400 加工材	一段目
"	"	5394	1	100.0	539.4	539	"	二段目
"	"	3273	1	100.0	327.3	327	"	"
"	"	1152	2	100.0	115.2	230	"	"
"	"	3273	4	100.0	327.3	1309	"	三段目
"	"	1152	4	100.0	115.2	461	"	"
小計						24916 kg		
隅部ピース	H-400用		1		80.0	80		
"	H-500用		6		171.0	1026		
小計						1106 kg		
火打受ピース	H-300用		26		50.0	1300		
小計						1300 kg		
副部材B						997 kg		
合計						107489 kg		

道 東 自 動 車 道 ト マ マ I C 工 事			
図面の種類	久我の沢川橋（下り線） P2橋脚土留の工計図面（その3）		
縮 尺	図 示	図面番号	65 / 73
設計会社名	株式会社 日本橋造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

平面図（一段目）

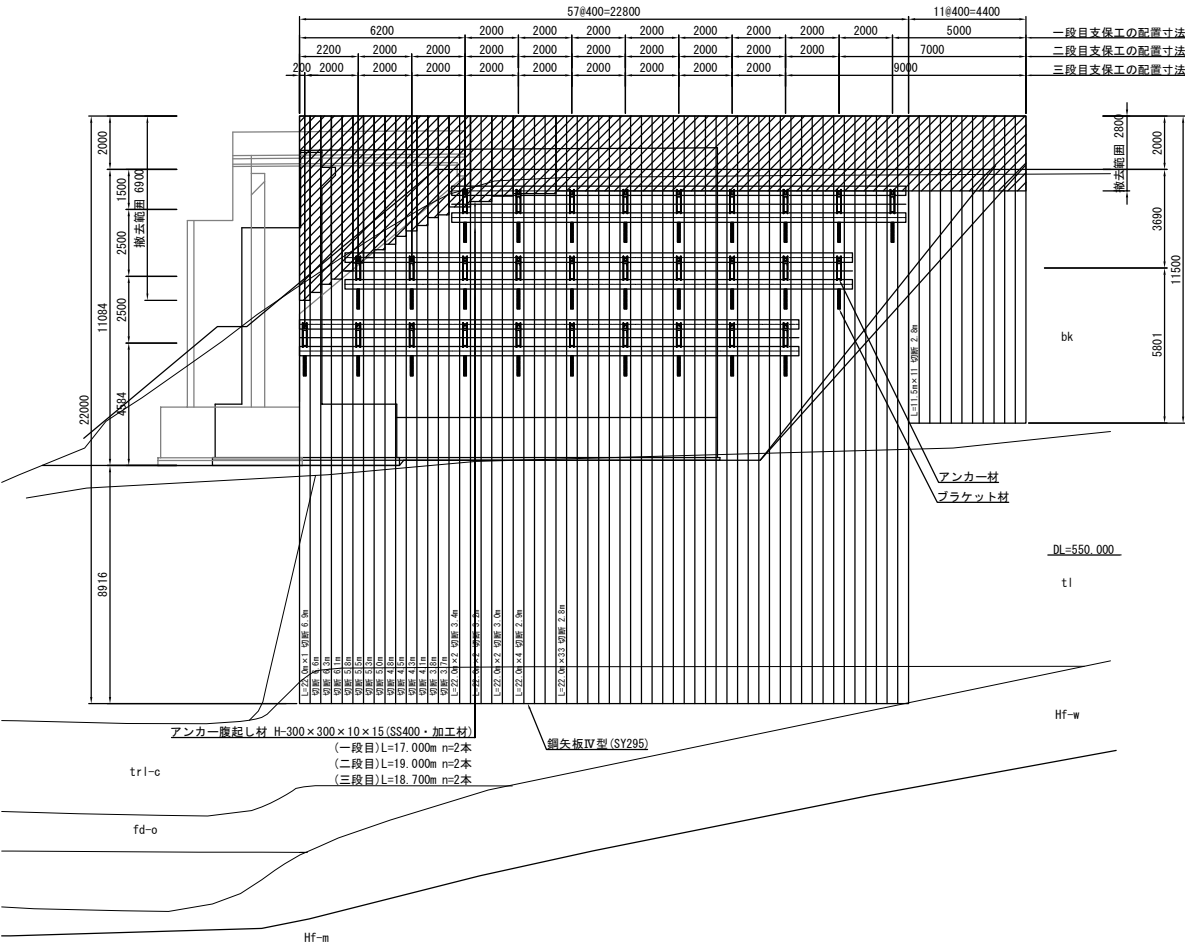


道東自動車道 トマムIC工事			
久我の沢川橋（下り線） A2橋台土留め工計画図（その 1）			
図面の種類	図示	図面番号	66 / 73
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 北海道支社		
事務所名	帯広工事事務所		

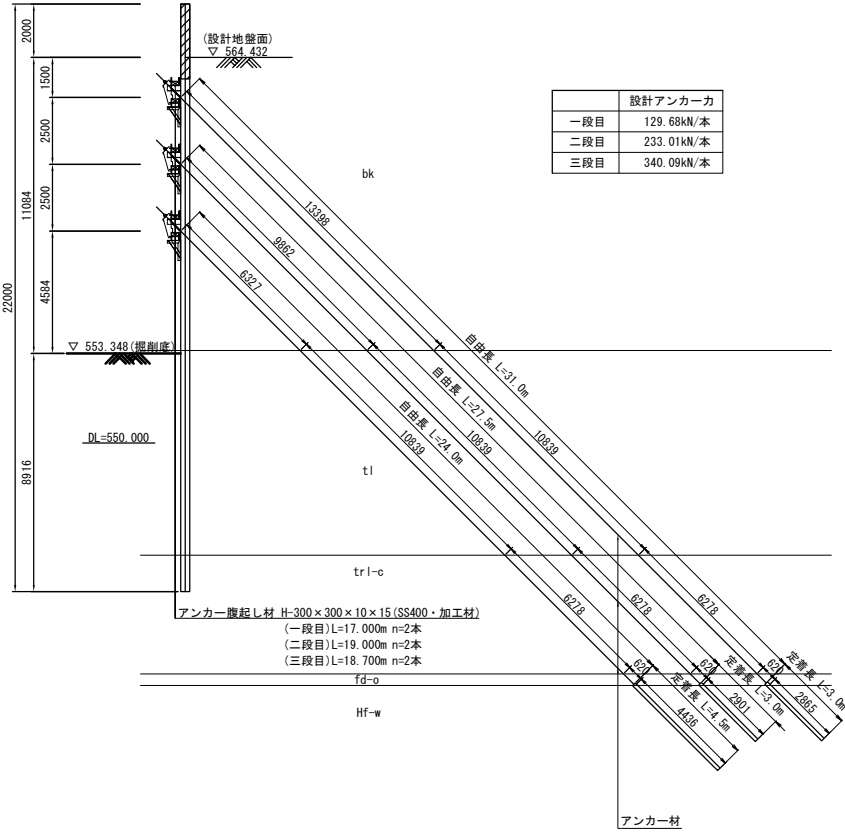




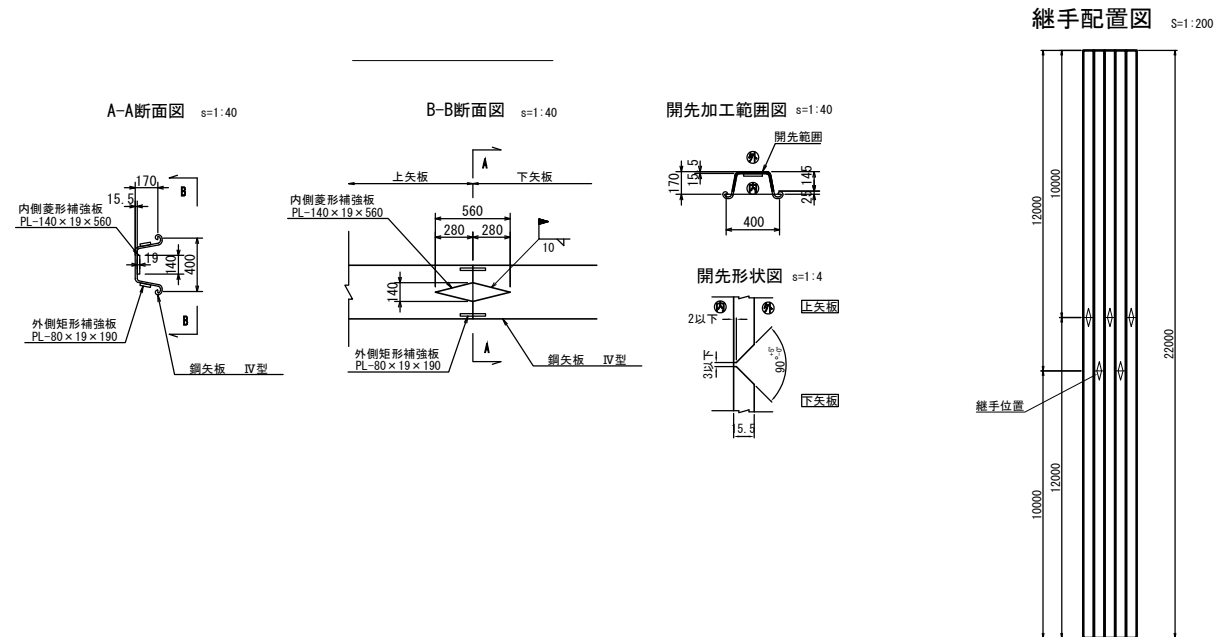
展開図



断面図



道 東 自 動 車 道 ト マ ム イ C 工 事			
図面の種類	久我の沢川橋（下り線） A2橋台土留め工計画図（その4）		
	縮 尺	図 示	図面番号 69 / 73
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工務事務所		



A2橋台部 仮設土留工数量表

種 別	鋼 材 形 式	部材長 (mm)	本数 (本)	単位質量 (kg/m)	一本当り質量 (kg/本)	質 量 (kg)	材 質	摘 要
鋼矢板	IV型	22000	57	76.1	1674.2	95429	SY295	
"	"	11500	11	76.1	875.2	9627	"	
小計						105056 kg		
アンカー・量短し材	H-300×300×10×15	17000	2	100.0	1700.0	3400	SS400 加工材	一段目
"	"	19000	2	100.0	1900.0	3800	"	二段目
"	"	18700	2	100.0	1870.0	3740	"	三段目
小計						10940 kg		
ブラケット材	L-100×100×10	2050	9	14.9	30.5	275	SS400	一段目
"	"	2050	10	14.9	30.5	305	"	二段目
"	"	2050	10	14.9	30.5	305	"	三段目
小計						885 kg		
内側菱形補強板	PL-560×140×19		57		11.7	667		
小計						667 kg		
鋼製台座	PL-900×350×12		18		17.9	322		一段目
"	"		20		17.9	358		二段目
"	"		20		17.9	358		三段目
小計						1038 kg		
合計						118586 kg		
アンカー材	2×φ12.7mm		9				仮設式	一段目
"	2×φ12.7mm		10				"	二段目
"	3×φ12.7mm		10				"	三段目
						29 本		

土留め壁 切断・撤去 数量表

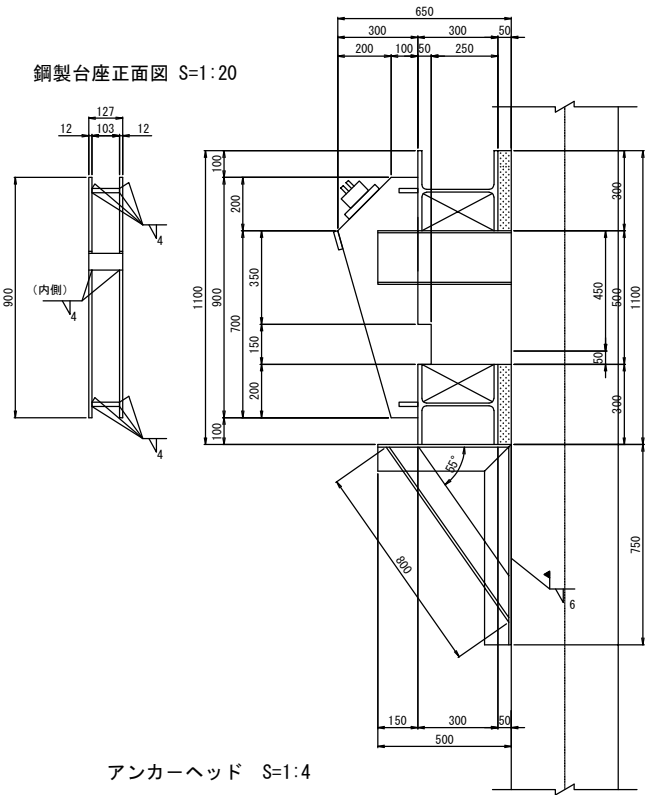
種別	仕様	単位	単位体積重量	長さ(m)	箇所数	合計	摘要
切断		m	—	0.4	68	40.5	
撤去	鋼矢板IV型	t	0.08	2.8~6.9	68	18.1	総延長 L=226.7m

道 東 自 動 車 道 ト マ ム イ C 工 事			
図面の種類	久我の沢川橋（下り線） A2橋台土留め工計画図（その5）		
縮 尺	図 示	図面番号	70 / 73
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

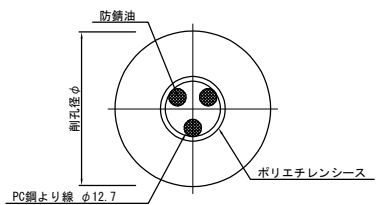




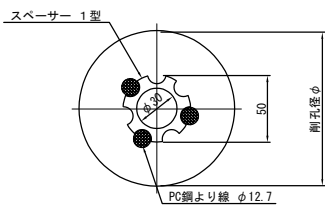
アンカー頭部詳細図 S=1:20



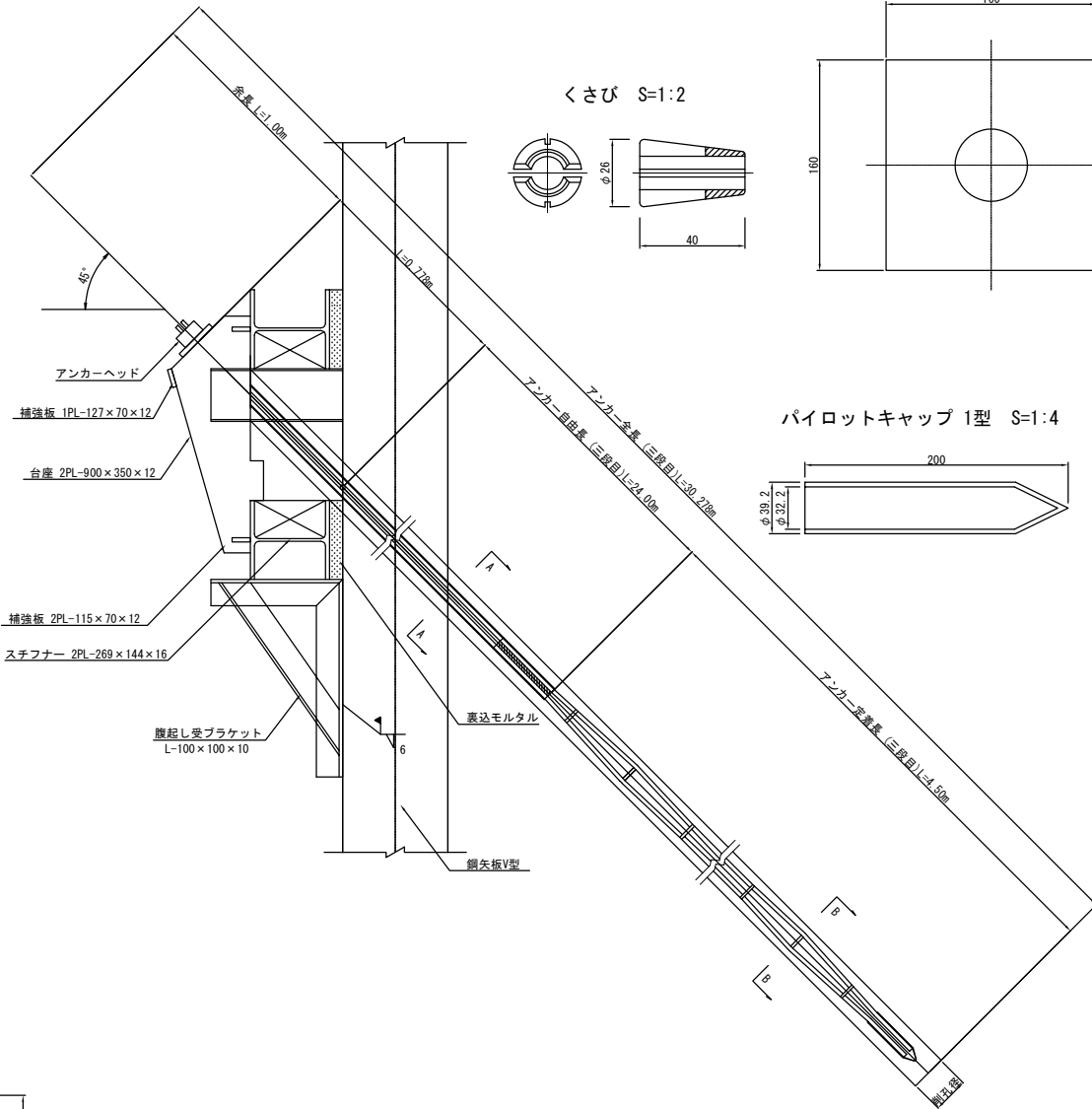
A-A断面図 S=1:4



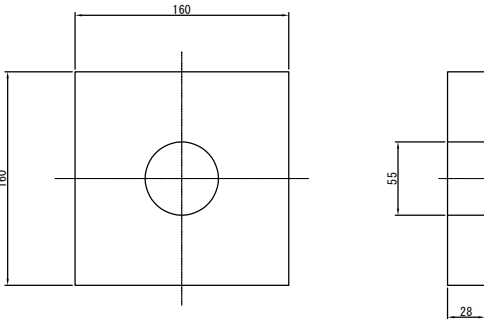
B-B断面図 S=1:4



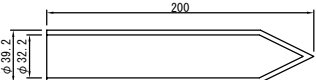
アンカー詳細図 S=1:20  
(三段目: 3×φ12.7 @2.00m)



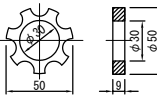
支圧板 S=1:4



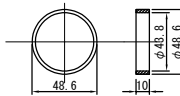
パイロットキャップ 1型 S=1:4



スペーサー 1型 S=1:4



スチールリング1型 S=1:4

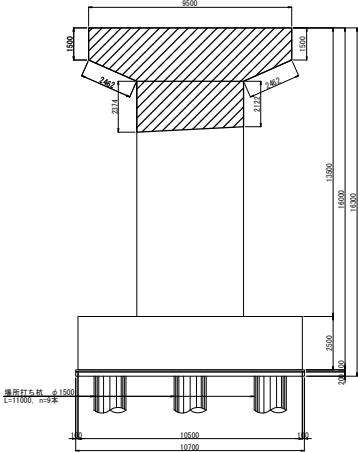


※土留めから地山側に打込むアンカー部材は残置とするが、鋼製台座や腹起しブラケット等は撤去を行う。

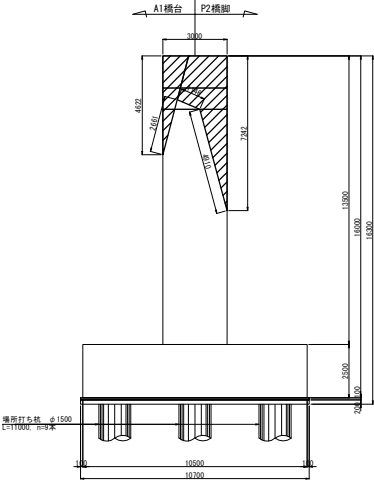
道東自動車道 トマムIC工事			
図面の種類	久我の沢川橋（下り線） A2橋台土留め工計画図（その7）		
縮尺	図示	図面番号	72 / 73
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

P1

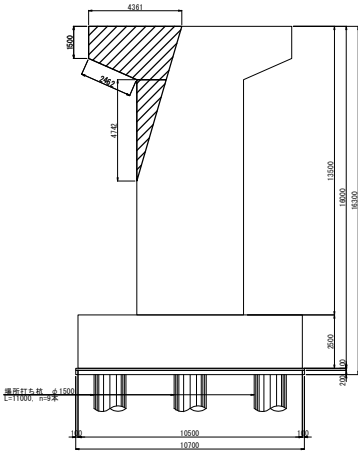
正面図（起点側）



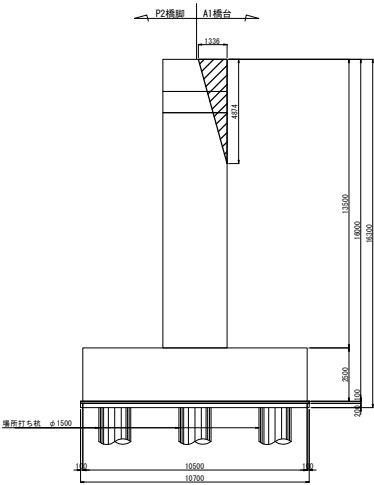
側面図



正面図（終点側）



側面図

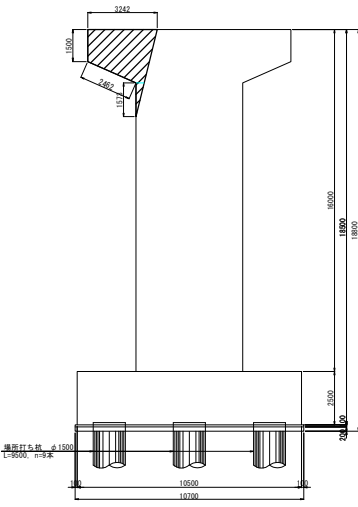


数量表

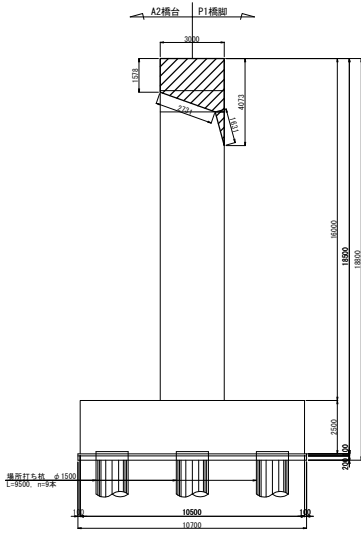
種 別	単位	柱部	梁部
はく落防止対策工 A	m <sup>2</sup>	18.89	45.25

P2

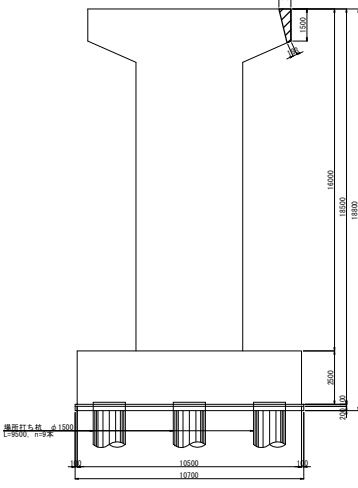
正面図（起点側）



側面図



正面図（終点側）



数量表

種 別	単位	柱部	梁部
はく落防止対策工 A	m <sup>2</sup>	0.64	13.11

道 東 自 動 車 道 ト マ ム イ シ 工 事			
久我の沢川橋（下り線） はく落防止対策工詳細図			
縮 尺	図示	図面番号	73 / 73
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		